

○市民討論会の開催に関するレクについて

非公開

日付	レク種別	参加者
令和 5 年 2 月 7 日	副市長	松雄副市長、折戸局長、上田所長、梅田主幹、荒井主幹、荒川主幹
令和 5 年 2 月 8 日	局長	折戸局長、上田所長、梅田主幹
令和 5 年 3 月 10 日	局長	折戸局長、上田所長、梅田主幹、荒井主幹、荒川主幹
令和 5 年 3 月 13 日	局長	折戸局長、上田所長、梅田主幹、荒井主幹、荒川主幹
令和 5 年 3 月 15 日	副市長	松雄副市長、折戸局長、上田所長、梅田主幹、荒井主幹、荒川主幹
令和 5 年 3 月 28 日	局長	折戸局長、上田所長、大島総務課長、梅田主幹、荒井主幹、荒川主幹
令和 5 年 3 月 29 日	副市長	松雄副市長、折戸局長、上田所長、荒井主幹、荒川主幹
令和 5 年 3 月 30 日	市長	河村市長、折戸局長、上田所長、梅田主幹、荒井主幹、荒川主幹
令和 5 年 4 月 4 日	局長	佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和 5 年 4 月 4 日	副市長	松雄副市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和 5 年 4 月 4 日	市長	河村市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和 5 年 4 月 5 日	局長	佐治局長、小鹿主幹
令和 5 年 4 月 6 日	副市長	松雄副市長、小鹿主幹
令和 5 年 4 月 6 日	市長	河村市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和 5 年 4 月 11 日	局長	佐治局長、上田所長、小鹿主幹
令和 5 年 4 月 18 日	局長	佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和 5 年 4 月 18 日	副市長	松雄副市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和 5 年 4 月 25 日	局長	佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹
令和 5 年 4 月 26 日	副市長	松雄副市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和 5 年 4 月 27 日	市長	河村市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和 5 年 5 月 12 日	局長	佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和 5 年 5 月 12 日	副市長	松雄副市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹
令和 5 年 5 月 15 日	副市長	松雄副市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹

令和5年5月16日	市長	河村市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和5年5月18日	市長	河村市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、荒川主幹
令和5年5月22日	局長	佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和5年5月23日	副市長	松雄副市長、上田所長、小鹿主幹
令和5年5月24日	市長	河村市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和5年5月25日	局長	佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹
令和5年5月26日	局長	佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和5年5月29日	副市長	松雄副市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和5年5月30日	市長	河村市長、松雄副市長、佐治局長、上田所長、遠藤総務課長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹
令和5年6月2日	局長	佐治局長、上田所長、小鹿主幹、山田主幹、荒川主幹

※当局職員と市長及び主管副市長のみ記載しております。

今後のバリアフリー対応における対外的な説明と考え方

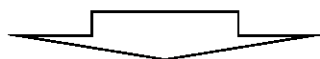
○令和5年2月議会（答弁案）

現段階では、確実にどこまで行けるかはお答えできませんが、まずは公募の最低要求水準であった大天守1階までをバリアフリーに対応するよう技術開発を進めるとともに慎重に検討を進め、史実に忠実な復元との調和をはかりながら、バリアフリー対応をしていきたいと考えております。



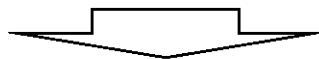
○令和4年度末のとりまとめ案

公募で選定した技術により、まずは大天守1階までをバリアフリーに対応した移動経路とする。選定した昇降設備の設置については、市民から容認と反対のそれぞれの意見が寄せられていることから、今後、技術開発を進め、広く利用者からの意見を聴取し、木造天守における適切なバリアフリー対応を図るものとする。



3月24日 全体整備検討会議

市民意見の聴取 → 市の対応方針の決定



○文化庁への提出時の考え方

公募で選定した技術および市民意見の聴取の結果を踏まえた、何階まで昇降装置を設置するのか等、本市のバリアフリーの方針を策定し、適切なバリアフリー対応を図るものとする。

名古屋城木造天守への昇降機設置への賛否まとめ

◇賛否まとめの基本的な考え方

- ・平成29年11月16日の天守閣部会（エレベーター不設置案を提出）以降の市民等からの意見
- ・令和4年12月5日の市長定例記者会見以降の市民等からの意見
（太枠内、12月1日～5日は市民等からの意見なし）
- ・大天守内部への昇降機設置についての賛成と反対を集計
- ・明確に賛成又は反対と記載されていないが、文章から意見を読み取れるものはそれぞれ計上

年度	昇降機設置への賛否	件	問合わせ方法	年度	昇降機設置への賛否	件	問合わせ方法
平成29	賛成	13	市民の声	令和3	賛成	0	—
	反対	50	市民の声		反対	7	市民の声
平成30	賛成	51	市民の声	令和4 11月末まで	賛成	3	市民の声
	反対	336	市民の声		反対	4	市民の声
令和元	賛成	14	市民の声				市長室広報課への手紙
			名古屋おしえてダイヤル				名古屋おしえてダイヤル
	反対	33	市民の声	令和4 12月～1月末	賛成	8	市民の声
			名古屋おしえてダイヤル				市民からの電話
令和2	賛成	1	市長事務所への手紙、メール		反対	20	市民の声
			市民の声				市長事務所への手紙
	反対	1	電話				市民からの電話

【集計表】

単位：件（％）

年度	賛成	反対	合計
平成29（11／16以降）	13（21%）	50（79%）	63
平成30	51（13%）	336（87%）	387
令和元（平成31）	14（30%）	33（70%）	47
令和2	1（50%）	1（50%）	2
令和3	0（0%）	7（100%）	7
令和4（11月末まで）	3（43%）	4（57%）	7
上記合計	82（16%）	431（84%）	513
令和4 12月～1月末	8（29%）	20（71%）	28
総計	90（17%）	451（83%）	541

名古屋城木造天守への昇降機設置への賛否まとめ（令和 4 年 1 2 月）

◇賛否まとめの基本的な考え方

- ・ 令和 4 年 12 月 5 日の市長定例記者会見以降の市民等からの意見（12 月 1 日～5 日は市民等からの意見なし）
- ・ 大天守内部への昇降機設置についての賛成と反対を集計
- ・ 明確に賛成又は反対と記載されていないが、文章から意見を読み取れるものはそれぞれ計上

年度	昇降機設置への賛否	集計	問合わせ方法	主な内容
令和 4 年度 1 2 月	賛成	8	市民の声	・ 再現したとしても本物ではない。バリアフリーに対応した観光施設として世界に向けて展開して欲しい ・ 名古屋城に行くのを楽しみにしていたが、市長は名古屋城に来るなと言っているのか。 ・ 足腰悪い者には見に行くことが難しい。観光施設なので設置してほしい。
			市民からの電話	・ 10 人～20 人乗りのエレベーターを設置していただきたい。 ・ 安全面を考えればエレベーターしかない。文化財指定から外せば良い。
	反対	20	市民の声	・ かつて名古屋城に来た人の感想のほとんどは「エレベーターがあってガッカリした」です。 ・ 別の場所に展望塔を作るか、バーチャルで見られる施設を作っていただきたい。緊急時の避難の際もその方が良いのではないか。 ・ 小学校 6 年生頃に名古屋城に登った時にエレベーターが有ってがっかりした。私は 2 階まででも反対。 ・ 図面があるのだからすべて当時のままで復元してほしい。本来なら昇降機すらいらないと思う。 ・ 仮に小型であろうと、1～2 階であろうと昇降機を取り付けければ唯の展望台です。 ・ VR で復元すれば、誰でも問題なく見学できる
			市長事務所への手紙	・ 木造で昔の姿にすることに文化財の価値があるのに、エレベーターをつけたら外観だけの偽物になってしまう。
			市民からの電話	・ 障害者は税制面でも優遇されている。史実に忠実に再現してもらいたい ・ 昇降機はやめて、博物館にメタバース等の技術を取り入れるなど工夫すれば良い。まずは木造復元してもらいたい。

【集計表】

時期	賛成	反対	合計
令和 4 年度 1 2 月～1 月末	8	20	28

参考

平成 29 年度以降すべての合計

時期	賛成	反対	合計
総計	90	448	537

○ 特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画に取りまとめるバリアフリーの方針について

取扱注意

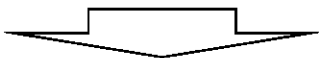
令和5年2月7日

課 題		案①		案②		案③	
		大天守1階までのバリアフリー案 (大天守1階より上層階も入城可)		市民対話を通じバリアフリー案を策定		大天守最上階までのバリアフリー案	
付 加 針 設 と 備 公 募	「名古屋城木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針」との整合性	×	・「可能な限り上層階まで昇ることができるよう目指す」としている付加設備の方針の変更あるいは撤回が必要	△	・案①や案③と同じ結果になることもあるが、市民の意見を反映した説明ができる	○	・今までの説明通りのためOK
	「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」の正当性	×	・「より上層階まで上がれること」の加点要求水準が無意味となり、公募実施の正当性を問われる	△	・案①や案③と同じ結果になることもあるが、市民の意見を反映した説明ができる	○	・今までの説明通りのためOK
整 備 基 本 計 画	天守を木造で復元する目的との整合性	△	・障害者等の来城者が2階以上へ上がれず、一部の方の理解促進が十分に図れない	△	・案①や案③と同じ結果になることもある	○	・全ての来城者が入城し、復元した天守を体感でき、天守の建築的特徴の理解や、名古屋城が築かれた時代的背景等
	令和4年度末までのとりまとめ	×	・今まで「可能な限り上層階まで昇ることができるよう目指す」と説明し理解を得てきたので、地元有識者との合意形成と障害者団体からの理解を得ることは極めて困難	△	・市民との対話の後にバリアフリー案を策定	○	・時間的に厳しいが、有識者会議で記載内容の方向性の了承を得ることは可能
	文化庁へ提出	×	・地元有識者との合意形成と障害者団体からの理解を得ることは極めて困難、提出は不可能	○	・整ってから提出	○	・今後の調整により、令和5年度に提出可能
	復元原案への影響度	△	・1階の床の一部の取り外し等が必要 ・昇降装置を取り外せば復元原案に戻せる	△	・設置階の床の一部の取り外し等が必要 ・昇降装置を取り外せば復元原案に戻せる	△	・1階～5階の床の一部の取り外し等が必要 ・昇降装置を取り外せば復元原案に戻せる
対 外 的 な 説 明	障害者団体	×	・障害者等が排除される計画となり差別を助長すると指摘される可能性が高い。より上層階を目指さない市の姿勢への理解を求めることは極めて困難	△	・案①や案③と同じ結果になることもあるが、市民の意見を反映したバリアフリー案の説明となる ・理解が得られるかはバリアフリー案による	○	・個別説明で多くの団体（12団体中9団体）から一定の理解を得ている ・今までの説明通りのためOK
	バリアフリー検討会議	×	・障害者等が排除される計画となり差別を助長すると指摘される可能性が高い。より上層階を目指さない市の姿勢への理解を求めることは極めて困難	△	・案①や案③と同じ結果になることもあるが、市民の意見を反映したバリアフリー案の説明となる ・理解が得られるかはバリアフリー案による	○	・今までの説明通りのためOK
	史実に忠実な復元を重視する市民	△	・地階～1階は昇降装置を設置するが、2階以上は史実に忠実な姿となる	△	・案①や案③と同じ結果になることもあるが、市民の意見を反映したバリアフリー案の説明となる ・理解が得られるかはバリアフリー案による	×	・全ての階に昇降装置を設置
	名古屋市会	×	・令和3年11月30日の本会議における市長答弁「より上層階、できれば最上階の5階までバリアフリー対応できる昇降技術を求めてまいります」と齟齬	○	・案①や案③と同じ結果になることもあるが、市民の意見を反映した説明ができる	○	・「何階まで行けるかは技術開発による」との議会答弁をしているが、最上階までの見込みの理解は得られる
予 算 と 収 支	予算 (昇降技術開発)	△	・「開発費用は最上階までを見込む」と答弁しているので、1階までの技術開発で市会が認めるか不透明 ・「可能な限り上層階まで昇ることができるよう目指す」と説明しているので、「何階まで想定しているのか」の答弁が極めて困難	△	・同左 ・令和5年度から開発が必要なことへの丁寧な説明が必要	○	・公募開始前に「開発費用の上限8,000万円は最上階までを見込む」と議会答弁
	収支計画 (総務省)	○	・今までの収支計画との相違ほとんどなし	△	・令和5年度に基本計画を提出できないため、総務省への丁寧な説明必要	○	・今までの収支計画との相違なし
訴 訟 リ ス ク	人権侵害	×	・2階以上のバリアフリーを行わないため、訴訟のリスクは大いにあり	△	・市民との対話の結果を受け、障害者団体へ丁寧な説明により訴訟リスク回避	△	・最上階までバリアフリー対応を目指す姿勢を示すが、バリアフリー法に準拠したものは設置できないことから、多少のリスクあり
	事業費の返還請求	×	・文化庁への提出ができず、木材の保管費等の返還請求訴訟のリスクあり ・付加設備の方針を変更・撤回するため、公募にかかる費用の返還請求訴訟のリスクあり	△	・文化庁への提出ができず、木材の保管費等の返還請求訴訟のリスクあり ・整備基本計画の提出まで時間が掛かることから、市民への丁寧な説明を行い訴訟リスク回避	○	・事業を進められるためリスクなし

今後のバリアフリー対応における対外的な説明と考え方

○令和4年度末のとりまとめ案

公募で選定した技術により、大天守1階まで昇降設備を設置する。また、市民から設置について容認と反対のそれぞれの意見が寄せられていることから、今後、昇降設備の技術開発を進めるとともに、広く市民等から意見を聴取し、木造天守におけるバリアフリー対応を図るものとする。



3月24日 全体整備検討会議

○令和5年度

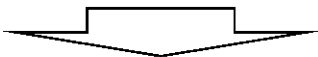
市民意見の聴取
(昇降設備の設置イメージ図などを情報提供)



市長からの指示書
((案) 昇降設備の設置は大天守1階までとするが、できる限り上層階に上られるよう、今後もバリアフリー対応を引き続き検討)



市の対応方針の決定
(何階まで昇降設備を設置するのか等)



バリアフリー検討会議

天守閣部会

全体整備検討会議

所管事務調査

文化庁へ提出

○ 特別史跡名古屋城跡木造天守整備基本計画に取りまとめるバリアフリーの方針について

令和5年2月8日

課題		案①		対応策
		大天守1階までのバリアフリー案 (大天守1階より上層階も入城可)		
付 加 設 備 の 募 金	「名古屋城木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針」との整合性	×	・「可能な限り上層階まで昇ることができるよう目指す」としている付加設備の方針の変更あるいは撤回が必要	・「昇降設備の設置は大天守1階までとするが、できる限り上層階に上がって欲しい気持ちに変わりはなく、今後もバリアフリーについて引き続き検討していく」姿勢とすれば、付加設備の方針の変更・撤回の必要はない。 ・市民意見を聴取した後に、市の方針を策定することとすれば、公募の正当性が担保でき、対外的な説明は可能。 ・上記のように、公募の正当性が担保できれば、公募にかかる費用の返還請求、求償のリスクは少ない。
	「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」の正当性	×	・「より上層階まで上げれること」の加点要求水準が無意味となり、公募実施の正当性を問われる	
対 外 説 明	名古屋市会	×	・令和3年11月30日の本会議における市長答弁「より上層階、できれば最上階の5階までバリアフリー対応できる昇降技術を求めてまいります」と齟齬	
予 算 支 出	予算 (昇降技術開発)	△	・「開発費用は最上階までを見込む」と答弁しているので、1階までの技術開発で市会が認めるか不透明 ・「可能な限り上層階まで昇ることができるよう目指す」と説明しているので、「何階まで想定しているのか」の答弁が極めて困難	
訴 訟 リ ス ク	事業費の返還請求	×	・付加設備の方針を変更・撤回するため、公募にかかる費用（約1億4,300万円）の返還請求訴訟のリスクあり。市長個人への求償可能性大	

文案

【変更前】

- なお、これまでバリアフリー環境を整備するための基本方針である「木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針」を定めているので、この考えに沿って、車いすの方が小天守-大天守地階から 1 階までは昇れるようにし、ありし日の名古屋城の一端を体感していただけるようにする。

【変更後】

- なお、これまでバリアフリー環境を整備するための基本方針である「木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針」を定め、「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」を実施し、昇降技術を選定した。
市長である私としては昇降設備の設置は大天守 1 階までとしたい。ただ、出来る限り上層階に上がって欲しい気持ちに変わりはなく、今後もバリアフリー対応について引き続き検討していく。

名古屋城木造復元 昇降技術に関する 市民意見の聴取 企画書

令和 5 年 3 月

1 趣旨、目的、手順、留意事項

■趣旨

名古屋城天守の木造復元にあたっては、歴史的建造物を現代に復元するにあたり「史実に忠実な復元とバリアフリーの両立」を目指し、今年度に「昇降技術の公募」を実施し、最優秀者を選定した。

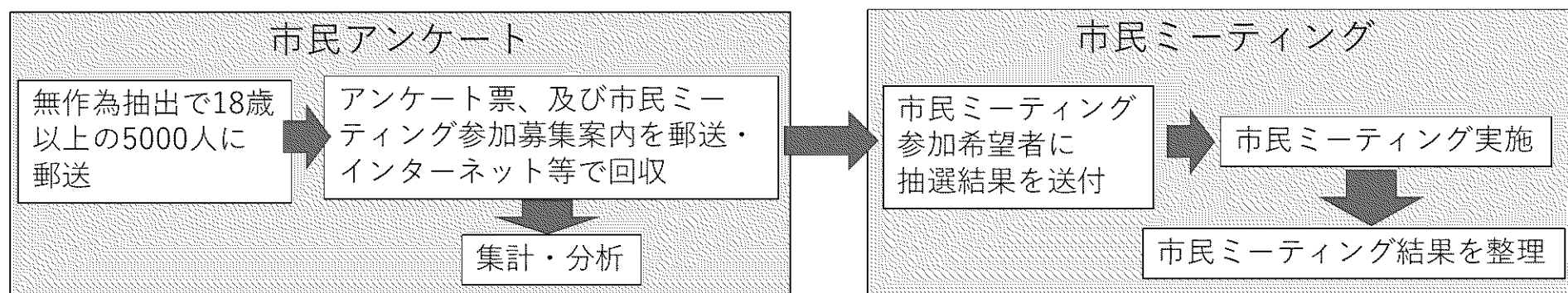
今後、名古屋城のバリアフリーの考え方などの情報を市民に知らせるとともに、名古屋城木造天守等におけるバリアフリーに関する意向を把握するため市民アンケートを実施する。また、市民の生の声を聴くために市民ミーティングを実施する。

■目的

歴史的建造物とはいえ現代に復元する以上は、バリアフリーへの対応は必要である。

バリアフリー対応は必要か否かの判断を多数決で決めるものではなく、障害者差別解消法などの法令に則った行政の対応が求められることから、アンケートによる〇×だけでなく、希望者によるミーティングも実施し、どうしたら「史実に忠実な復元とバリアフリーの両立」となるのか、いろいろな立場の市民からの意見を募り、その結果を踏まえて市の対応を決定する。

■手順



■留意事項

今回の市民アンケートの実施にあたっては、平成28年度に実施した天守閣整備にかかる2万人アンケートの手法を踏まえ、経済水道委員会への丁寧な説明が必須である。

2 市民アンケート

「昇降技術の公募」で選定した最優秀者の昇降技術の導入等について、無作為により抽出した5,000人の市民を対象としたアンケートを実施する。

<業務内容>

- ・ 調査票等の作成（事業の説明資料、アンケート票、市民ミーティング募集案内（次項関連））
- ・ 調査票等・封筒の印刷
- ・ 調査票等の封入、郵送
- ・ 調査票等の郵送回収、インターネットによる回収の併用
- ・ 調査結果の集計、集計表等の作成

3 市民ミーティング

これまで名古屋市にて広く行われてきた公募型のワークショップとは異なり、アンケート対象者として無作為抽出した市民に募集案内を送付して参加者を募集し、ワークショップ形式で市民ミーティングを実施する。

＜市民ミーティング（無作為抽出）の意義＞

- 通常の公募では集まらないような異なる意見での参加者を集められる。
- 未経験者など多様な参加により、多様な視点からの意見聴取や議論ができる。
- 関心の低い市民への周知の機会にもなり、意識啓発のよい機会となる。

＜業務内容＞

■事前準備

市民ミーティング参加希望者全員に抽選結果を、選定された人には事前に当日資料も併せて送付する。

■開催概要

実施日	平日午後、土日午後の2回	各回2時間程度
定員	各回50名程度	計100名程度
会場	市公館	
内容	木造天守閣復元事業の意義、史実に忠実な復元とバリアフリーについてなどの考え方を説明した後、昇降技術を含むバリアフリーについて意見交換	

4 全体スケジュール(案)

	5月	6月				7月				8月			
	21 31	1 10	11 21	21 30	1 10	11 20	21 31	1 10	11 20	21 30			
市民 アンケート	発送準備	発送	回収	集計	分析						報告書作成		
市民 ミーティング			アンケートと同時に 参加希望回答書回収	抽選	抽選結果 郵送	平日/休日 2回実施					報告書作成		

(参考)過去の事例

参考1 みちまち市民ミーティング（住宅都市局、2013年度）

無作為抽出市民ミーティングの実施を目的に実施。この時は、参加希望しない人にアンケートをとる方法を採用した。

	参加希望する方 (参加希望書)	参加希望しない方 (アンケート)	計
配布数	4,000		
回収数	107	495	602
回収率	2.68%	12.38%	15.05%

＜回収から市民ミーティング当日まで＞

参加希望する方107名から抽選して68名を選定（定員50人程度、当日欠席3割程度を見込んだ）
参加希望する方全員に抽選結果を、当選者には当日案内や資料も併せて送付。



市民ミーティング当日（平成25年11月30日（土））、55人参加

○ 令和5年度 市民意見の聴取等の今後の流れ（案）

区 分	内 容
令和4年度	3月 市民意見の聴取の準備 ・アンケート調査票の作成 ・無作為抽出（5,000人）
令和5年度	4月9日 市会議員選挙 ↓ バリアフリー検討会議WG 5月16日～18日 市会臨時会 5月下旬 所管事務調査 ↓ 全体整備検討会議・天守閣部会 市民意見の聴取 ・5月下旬 市民アンケート等送付 ・6月下旬 市民アンケート集計・分析 ・7月下旬 市民ミーティング（ワークショップ） ↓ バリアフリー検討会議 8月上旬 市長からの指示・方針決定 所管事務調査 ↓ 天守閣部会 全体整備検討会議 市民説明会 ↓ 文化庁へ提出

H28年 天守閣整備にかかる 2 万人アンケート

年月日	内容
H28.3.16	経済水道委員会 ・ 天守閣整備にかかる 2 万人アンケート対象者への送付物
↓	
H28.4.7	経済水道委員会 ・ 天守閣整備にかかる今後のスケジュール (アンケート発送を変更【4/11→5/2】)
↓	
H28.4.22	経済水道委員会 【添付資料】 ・ 2 万人アンケート 調査票 ・ 〃 説明資料 ・ 〃 説明資料「概要版」
↓	
H28.4.28	経済水道委員会 【添付資料】 ・ 2 万人アンケート 調査票 ・ 〃 説明資料 ・ 〃 説明資料「概要版」
↓	
H28.5.6～20	2 万人アンケートの調査
↓	
H28.6.1	経済水道委員会 ・ 2 万人アンケートの調査結果について
↓	
H28.6.22	経済水道委員会 ・ 2 万人アンケートに係る考察
↓	
H28.6.23	経済水道委員会 ・ 2 万人アンケートに記入された意見

16-1 名古屋市民2万人アンケートは、なぜ標本数が2万人なのか。

- 計画策定にあたっては、より多くの市民に意見を聞くことが重要であるため、総合計画策定時には2万人を対象としている。
- 全体の集計において、目標とした精度(標準誤差1%)を維持するためには、回答数1万人が必要であり、過去の実績から回収率の想定を50%としたため、アンケートを配布する対象者は2万人としている。
- また、施策の重要性や優先度を判断するうえでは、性別や区別などの動向も重要な情報である。
- 2万人に配布した場合、性別や区別などの詳細集計において、回答数の少ないグループ(例えば、前回実績では東、中、熱田区の男女別のグループ)でも100から200の回答数を確保することができ、目標とした精度(標準誤差10%)を維持することができている。
- 全体集計、詳細集計、どちらの集計においても、一定の精度を得るため、2万人は妥当である。

事項名 中長期的な市政の課題に関する検討調査について

○ なぜ、市民アンケートの対象を前回の2万人から1万人に減らしたのか。

○ 本市の総合計画の策定にあたっては、幅広く市民ニーズを把握し、計画に反映するよう努めてきたところであり、これまでも市民2万人を対象としたアンケートや市民ワークショップ、タウンミーティングなど、様々な手法により意見聴取を行ってまいりました。

○ 次の総合計画策定に向けた調査においても、前回と同様に、様々な手法を活用し、多様化する市民ニーズの把握に努めてまいりますが、今般の新型コロナウイルス感染症拡大による生活様式の変容やSNS・デジタル技術の浸透状況を踏まえると、調査方法についても、アンケートを始めとする、従来からの基本的な調査方法に加え、時代に合った新たな取組みも織り交ぜながら、多様な手法により、幅広い調査分析を行う必要があると考えております。

○ こうした認識のもと、市民アンケートについては、引き続き重要な調査方法として、他都市の例も参考にしながら、1万人を対象として着実に実施しつつ、(適切なシフトを図りながら、)アンケート以外の手法にも幅を広げ、SNS・デジタル技術といった新たなアプローチも新たに取り入れることにより、全体として、バランスよく、幅広い層から多様なニーズを汲み取ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

○ なお、市民アンケートについて、調査規模を2万人から1万人に変更を予定しますが、**他都市の状況**(横浜市、札幌市、さいたま市、広島市：対象1万人、総合計画関連)や標本調査としての誤差が一定の割合*に収まることを踏まえると、**全体の傾向を把握するうえでは、必要な精度が確保できるもの**と考えております。

※無作為抽出の場合の比率の標本誤差(回答結果の比率50%時)
2万人の場合：±1.0%、1万人の場合：±1.4%

○意見の聴取を目的とした市民アンケートについて

令和5年3月9日

■アンケートの対象人数を5,000人とした理由

- ・ 標本調査は、抽出された標本の調査結果推定値に基づいて母集団の真の値を推定することから、誤差（標本誤差）が発生する。
- ・ スポーツ市民局広聴課にヒアリングしたところ、実際の標本誤差は実際の回収率によって変わるが、世論調査の目標とする標本誤差は3%程度であるとのこと。
- ・ しかし、今回はより精度を高めるため、標本誤差を通常より少ない2%とした。
- ・ 名古屋市の人口約200万人に対して標本誤差を2%とするために必要となる標本数は、下表のとおり2,399人。
- ・ 他事例と同様に目標とする回収率を50%とすると、対象人数は $2,399 \div 0.5 = 4,798$ 人となるため、5,000人とした。

母集団 (N)	95%信頼区間の幅 (e)							
	0.10	0.05	0.04	0.03	0.02	0.01	0.005	0.001
100	50	80	86	92	97	99	100	100
200	66	132	151	169	185	196	199	200
300	73	169	201	235	267	291	298	300
400	78	197	241	292	343	385	396	400
500	81	218	274	341	414	476	494	500
1,000	88	278	376	517	707	906	975	999
2,000	92	323	462	697	1,092	1,656	1,902	1,996
3,000	94	341	501	788	1,334	2,287	2,783	2,991
4,000	94	351	523	843	1,501	2,825	3,623	3,984
5,000	95	357	537	880	1,623	3,289	4,425	4,975
10,000	96	370	567	965	1,937	4,900	7,935	9,897
20,000	96	377	583	1,014	2,144	6,489	13,153	19,593
30,000	96	380	589	1,031	2,224	7,276	16,846	29,092
40,000	96	381	592	1,040	2,266	7,745	19,597	38,401
50,000	96	382	594	1,045	2,292	8,057	21,725	47,526
100,000	96	383	597	1,056	2,345	8,763	27,755	90,570
200,000	96	384	599	1,062	2,373	9,164	32,227	165,530
300,000	97	384	600	1,064	2,382	9,307	34,056	228,595
400,000	97	384	600	1,065	2,387	9,379	35,050	282,388
500,000	97	384	600	1,065	2,390	9,424	35,676	328,815
1,000,000	97	385	600	1,066	2,396	9,513	36,995	489,901
2,000,000	97	385	601	1,067	2,399	9,559	37,693	648,832
3,000,000	97	385	601	1,067	2,400	9,574	37,931	727,503
4,000,000	97	385	601	1,067	2,400	9,581	38,051	774,454
5,000,000	97	385	601	1,067	2,400	9,586	38,124	805,651
10,000,000	97	385	601	1,067	2,401	9,595	38,269	876,246

（国立教育政策研究所社会教育実践センター「社会教育調査ハンドブック」平成23年より引用）

○他事例

区分	名古屋市次期総合計画成果指標に関するアンケート調査	名古屋市民1万人アンケート	市政アンケート	令和4年度第61回市政世論調査
調査の目的	名古屋市次期総合計画の成果指標として予定している指標のうち、市民の満足度や意識などに関する指標について、その現状値を調査し、策定のための資料とする。	市民アンケートを実施することで、市民が感じる課題や施策の方向性に対する期待などについて、客観的に、幅広く、全体の傾向を把握する。	施策についての課題・要望を把握し、これらを施策に生かすため、毎回無作為抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に市政アンケートを実施しております。	市政世論調査は、名古屋の住みやすさや市政についての評価・要望等を、毎年1回、市民の皆さまにお聞きするものです。
対象人数	4,000 人	10,000 人	2,000 人	2,000 人
調査対象	名古屋市に在住する市民 4,000 人 (外国人含む) (1) 満18歳以上 3,000 人 (2) 小学5年生～高校3年生にあたる年齢に該当する子ども 1,000 人	名古屋市に居住する 10,000 人 (外国人 327 人含む) ・18歳以上(大人) 8,000 人 (外国人 281 人含む) ・小学生5年生～高校3年生の年齢に該当する子ども 2,000 人 (外国人 46 人含む)	市内に居住する満18歳以上の市民 2,000 人(外国人を含む)	市内に居住する満18歳以上の市民 2,000 人(外国人を含む)
調査方法	住民基本台帳から無作為抽出	住民基本台帳から層化無作為抽出	住民基本台帳をフレームとする無作為抽出	住民基本台帳をフレームとする無作為抽出
調査期間	平成31年1月21日～2月14日 (25日間)	令和4年7月1日～7月22日 (22日間)	令和4年6月28日～7月12日 (15日間)	令和4年7月26日～8月9日 (15日間)
調査方法	郵送による配布・回収	配布は郵送法、回収は郵送方式及びWEB回答方式	調査票を郵送、回答は郵送又はインターネットを通じて回収	調査票を郵送、回答は郵送又はインターネットを通じて回収
目標とする回収率	50%	50%	50%	50%
目標とする標本誤差	5%	1.4%	3%	3%
(参考) 回収状況	(1) 大人 46.1% (2) 子ども 42.2% } 45.2%	・18歳以上(大人) 38.6% ・子ども 39.7%	有効回収率 43.0%	回収率 40.8%

名古屋城木造復元 昇降技術に関する 市民意見の聴取 企画書

令和 5 年 3 月

1 趣旨、目的、手順、留意事項

■趣旨

名古屋城天守の木造復元にあたっては、歴史的建造物を現代に復元するにあたり「史実に忠実な復元とバリアフリーの両立」を目指し、今年度に「昇降技術の公募」を実施し、最優秀者を選定した。

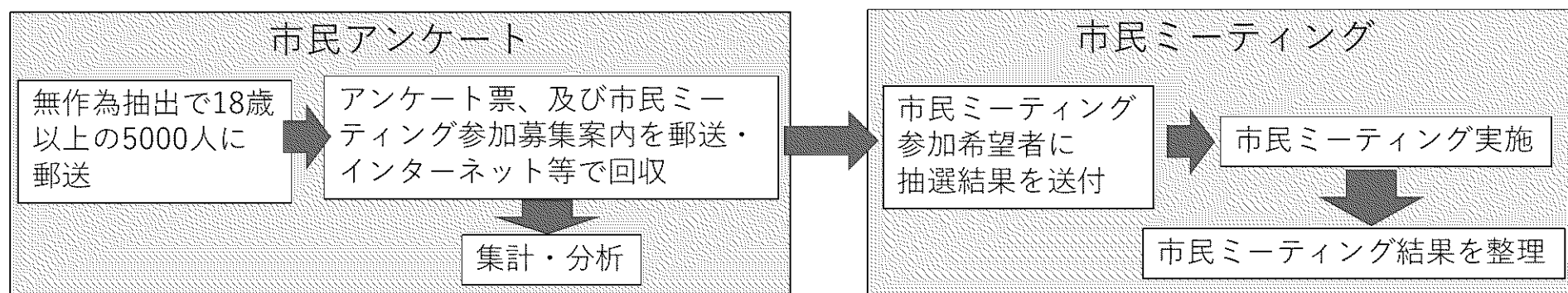
今後、名古屋城のバリアフリーの考え方などの情報を市民に知らせるとともに、名古屋城木造天守等におけるバリアフリーに関する意向を把握するため市民アンケートを実施する。また、市民の生の声を聴くために市民ミーティングを実施する。

■目的

歴史的建造物とはいえ現代に復元する以上は、バリアフリーへの対応は必要である。

バリアフリー対応は必要か否かの判断を多数決で決めるものではなく、障害者差別解消法などの法令に則った行政の対応が求められることから、アンケートによる〇×だけでなく、希望者によるミーティングも実施し、どうしたら「史実に忠実な復元とバリアフリーの両立」となるのか、いろいろな立場の市民からの意見を募り、その結果を踏まえて市の対応を決定する。

■手順



■留意事項

今回の市民アンケートの実施にあたっては、平成28年度に実施した天守閣整備にかかる2万人アンケートの手法を踏まえ、経済水道委員会への丁寧な説明が必須である。

2 市民アンケート

「昇降技術の公募」で選定した最優秀者の昇降技術の導入等について、無作為により抽出した5,000人の市民を対象としたアンケートを実施する。

<業務内容>

- ・ 調査票等の作成（事業の説明資料、アンケート票、市民ミーティング募集案内（次項関連））
- ・ 調査票等・封筒の印刷
- ・ 調査票等の封入、郵送
- ・ 調査票等の郵送回収、インターネットによる回収の併用
- ・ 調査結果の集計、集計表等の作成

3 市民ミーティング

これまで名古屋市にて広く行われてきた公募型のワークショップとは異なり、アンケート対象者として無作為抽出した市民に募集案内を送付して参加者を募集し、ワークショップ形式で市民ミーティングを実施する。

＜市民ミーティング（無作為抽出）の意義＞

- 通常の公募では集まらないような異なる意見での参加者を集められる。
- 未経験者など多様な参加により、多様な視点からの意見聴取や議論ができる。
- 関心の低い市民への周知の機会にもなり、意識啓発のよい機会となる。

＜業務内容＞

■事前準備

市民ミーティング参加希望者全員に抽選結果を、選定された人には事前に当日資料も併せて送付する。

■開催概要

実施日	平日午後、土日午後の2回	各回2時間程度
定員	各回50名程度	計100名程度
会場	市公館	
内容	木造天守閣復元事業の意義、史実に忠実な復元とバリアフリーについてなどの考え方を説明した後、昇降技術を含むバリアフリーについて意見交換	

4 全体スケジュール(案)

	3月	4月				5月				6月			
	21 31	1 10	11 20	21 30	1 10	11 20	21 31	1 10	11 20	21 30			
市民 アンケート	発送準備			発送	回収			集計・分析		報告書作成			
市民 ミーティング			アンケートと同時に 参加希望回答書回収				抽選	抽選結果 郵送	平日/休日 2回実施		報告書作成		

(参考)過去の事例

参考1 みちまち市民ミーティング（住宅都市局、2013年度）

無作為抽出市民ミーティングの実施を目的に実施。この時は、参加希望しない人にアンケートをとる方法を採用した。

	参加希望する方 （参加希望書）	参加希望しない方 （アンケート）	計
配布数	4,000		
回収数	107	495	602
回収率	2.68%	12.38%	15.05%

<回収から市民ミーティング当日まで>

参加希望する方107名から抽選して68名を選定（定員50人程度、当日欠席3割程度を見込んだ）
参加希望する方全員に抽選結果を、当選者には当日案内や資料も併せて送付。



市民ミーティング当日（平成25年11月30日（土））、55人参加

○ 令和5年度 市民意見の聴取等の今後の流れ（案）

区 分	内 容
令和4年度	3月 市民意見の聴取の準備 ・アンケート調査票の作成 ・無作為抽出（5,000人）
令和5年度	4月9日 市議会議員選挙
	↓ 議員説明 バリアフリー検討会議WG
	市民意見の聴取 ・4月中旬 市民アンケート等送付 ・5月上旬 市民アンケート集計・分析 ・5月下旬 市民ミーティング（ワークショップ）
	↓ 6月上旬 バリアフリー検討会議（市長出席） ・市民意見の聴取の結果の検証及び意見交換
	↓ 6月上旬 市長からの指示・方針決定
	6月上旬 所管事務調査 ・バリアフリーを含めた整備基本計画について
	↓ 全体整備検討会議
	市民説明会
	↓ 文化庁へ提出

H28年 天守閣整備にかかる 2 万人アンケート

年月日	内容
H28.3.16	経済水道委員会 ・ 天守閣整備にかかる 2 万人アンケート対象者への送付物
↓	
H28.4.7	経済水道委員会 ・ 天守閣整備にかかる今後のスケジュール (アンケート発送を変更【4/11→5/2】)
↓	
H28.4.22	経済水道委員会 【添付資料】 ・ 2 万人アンケート 調査票 ・ 〃 説明資料 ・ 〃 説明資料「概要版」
↓	
H28.4.28	経済水道委員会 【添付資料】 ・ 2 万人アンケート 調査票 ・ 〃 説明資料 ・ 〃 説明資料「概要版」
↓	
H28.5.6～20	2 万人アンケートの調査
↓	
H28.6.1	経済水道委員会 ・ 2 万人アンケートの調査結果について
↓	
H28.6.22	経済水道委員会 ・ 2 万人アンケートに係る考察
↓	
H28.6.23	経済水道委員会 ・ 2 万人アンケートに記入された意見

16-1 名古屋市民2万人アンケートは、なぜ標本数が2万人なのか。

- 計画策定にあたっては、より多くの市民に意見を聞くことが重要であるため、総合計画策定時には2万人を対象としている。
- 全体の集計において、目標とした精度(標準誤差1%)を維持するためには、回答数1万人が必要であり、過去の実績から回収率の想定を50%としたため、アンケートを配布する対象者は2万人としている。
- また、施策の重要性や優先度を判断するうえでは、性別や区別などの動向も重要な情報である。
- 2万人に配布した場合、性別や区別などの詳細集計において、回答数の少ないグループ(例えば、前回実績では東、中、熱田区の男女別のグループ)でも100から200の回答数を確保することができ、目標とした精度(標準誤差10%)を維持することができている。
- 全体集計、詳細集計、どちらの集計においても、一定の精度を得るため、2万人は妥当である。

事項名 中長期的な市政の課題に関する検討調査について

○ なぜ、市民アンケートの対象を前回の2万人から1万人に減らしたのか。

○ 本市の総合計画の策定にあたっては、幅広く市民ニーズを把握し、計画に反映するよう努めてきたところであり、これまでも市民2万人を対象としたアンケートや市民ワークショップ、タウンミーティングなど、様々な手法により意見聴取を行ってまいりました。

○ 次の総合計画策定に向けた調査においても、前回と同様に、様々な手法を活用し、多様化する市民ニーズの把握に努めてまいりますが、今般の新型コロナウイルス感染症拡大による生活様式の変容やSNS・デジタル技術の浸透状況を踏まえると、調査方法についても、アンケートを始めとする、従来からの基本的な調査方法に加え、時代に合った新たな取組みも織り交ぜながら、多様な手法により、幅広い調査分析を行う必要があると考えております。

○ こうした認識のもと、市民アンケートについては、引き続き重要な調査方法として、他都市の例も参考にしながら、1万人を対象として着実に実施しつつ、(適切なシフトを図りながら、)アンケート以外の手法にも幅を広げ、SNS・デジタル技術といった新たなアプローチも新たに取り入れることにより、全体として、バランスよく、幅広い層から多様なニーズを汲み取ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

○ なお、市民アンケートについて、調査規模を2万人から1万人に変更を予定しますが、**他都市の状況**(横浜市、札幌市、さいたま市、広島市：対象1万人、総合計画関連)や標本調査としての誤差が一定の割合*に収まることを踏まえると、**全体の傾向を把握するうえでは、必要な精度が確保できるもの**と考えております。

※無作為抽出の場合の比率の標本誤差(回答結果の比率50%時)
2万人の場合：±1.0%、1万人の場合：±1.4%

○意見の聴取を目的とした市民アンケートについて

令和5年3月9日

■アンケートの対象人数を5,000人とした理由

- ・ 標本調査は、抽出された標本の調査結果推定値に基づいて母集団の真の値を推定することから、誤差（標本誤差）が発生する。
- ・ スポーツ市民局広聴課にヒアリングしたところ、実際の標本誤差は実際の回収率によって変わるが、世論調査の目標とする標本誤差は3%程度であるとのこと。
- ・ しかし、今回はより精度を高めるため、標本誤差を通常より少ない2%とした。
- ・ 名古屋市の人口約200万人に対して標本誤差を2%とするために必要となる標本数は、下表のとおり2,399人。
- ・ 他事例と同様に目標とする回収率を50%とすると、対象人数は $2,399 \div 0.5 = 4,798$ 人となるため、5,000人とした。

母集団 (N)	95%信頼区間の幅 (e)							
	0.10	0.05	0.04	0.03	0.02	0.01	0.005	0.001
100	50	80	86	92	97	99	100	100
200	66	132	151	169	185	196	199	200
300	73	169	201	235	267	291	298	300
400	78	197	241	292	343	385	396	400
500	81	218	274	341	414	476	494	500
1,000	88	278	376	517	707	906	975	999
2,000	92	323	462	697	1,092	1,656	1,902	1,996
3,000	94	341	501	788	1,334	2,287	2,783	2,991
4,000	94	351	523	843	1,501	2,825	3,623	3,984
5,000	95	357	537	880	1,623	3,289	4,425	4,975
10,000	96	370	567	965	1,937	4,900	7,935	9,897
20,000	96	377	583	1,014	2,144	6,489	13,153	19,593
30,000	96	380	589	1,031	2,224	7,276	16,846	29,092
40,000	96	381	592	1,040	2,266	7,745	19,597	38,401
50,000	96	382	594	1,045	2,292	8,057	21,725	47,526
100,000	96	383	597	1,056	2,345	8,763	27,755	90,570
200,000	96	384	599	1,062	2,373	9,164	32,227	165,530
300,000	97	384	600	1,064	2,382	9,307	34,056	228,595
400,000	97	384	600	1,065	2,387	9,379	35,050	282,388
500,000	97	384	600	1,065	2,390	9,424	35,676	328,815
1,000,000	97	385	600	1,066	2,396	9,513	36,995	489,901
2,000,000	97	385	601	1,067	2,399	9,559	37,693	648,832
3,000,000	97	385	601	1,067	2,400	9,574	37,931	727,503
4,000,000	97	385	601	1,067	2,400	9,581	38,051	774,454
5,000,000	97	385	601	1,067	2,400	9,586	38,124	805,651
10,000,000	97	385	601	1,067	2,401	9,595	38,269	876,246

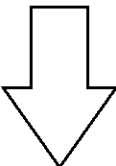
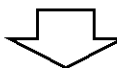
（国立教育政策研究所社会教育実践センター「社会教育調査ハンドブック」平成23年より引用）

○他事例

区分	名古屋市次期総合計画成果指標に関するアンケート調査	名古屋市民1万人アンケート	市政アンケート	令和4年度第61回市政世論調査
調査の目的	名古屋市次期総合計画の成果指標として予定している指標のうち、市民の満足度や意識などに関する指標について、その現状値を調査し、策定のための資料とする。	市民アンケートを実施することで、市民が感じる課題や施策の方向性に対する期待などについて、客観的に、幅広く、全体の傾向を把握する。	施策についての課題・要望を把握し、これらを施策に生かすため、毎回無作為抽出した18歳以上の市民2,000人を対象に市政アンケートを実施しております。	市政世論調査は、名古屋の住みやすさや市政についての評価・要望等を、毎年1回、市民の皆さまにお聞きするものです。
対象人数	4,000 人	10,000 人	2,000 人	2,000 人
調査対象	名古屋市に在住する市民 4,000 人 (外国人含む) (1) 満18歳以上 3,000 人 (2) 小学5年生～高校3年生にあたる年齢に該当する子ども 1,000 人	名古屋市に居住する 10,000 人 (外国人 327 人含む) ・18歳以上(大人) 8,000 人 (外国人 281 人含む) ・小学生5年生～高校3年生の年齢に該当する子ども 2,000 人 (外国人 46 人含む)	市内に居住する満18歳以上の市民 2,000 人(外国人を含む)	市内に居住する満18歳以上の市民 2,000 人(外国人を含む)
調査方法	住民基本台帳から無作為抽出	住民基本台帳から層化無作為抽出	住民基本台帳をフレームとする無作為抽出	住民基本台帳をフレームとする無作為抽出
調査期間	平成31年1月21日～2月14日 (25日間)	令和4年7月1日～7月22日 (22日間)	令和4年6月28日～7月12日 (15日間)	令和4年7月26日～8月9日 (15日間)
調査方法	郵送による配布・回収	配布は郵送法、回収は郵送方式及びWEB回答方式	調査票を郵送、回答は郵送又はインターネットを通じて回収	調査票を郵送、回答は郵送又はインターネットを通じて回収
目標とする回収率	50%	50%	50%	50%
目標とする標本誤差	5%	1.4%	3%	3%
(参考) 回収状況	(1) 大人 46.1% (2) 子ども 42.2% } 45.2%	・18歳以上(大人) 38.6% ・子ども 39.7%	有効回収率 43.0%	回収率 40.8%

○ 令和5年度 市民意見の聴取等の今後の流れ（案）

令和5年3月15日 副市長

区 分	内 容
令和4年度	3月 市民意見の聴取の準備 ・アンケート調査票の作成 ・無作為抽出（5,000人）
令和5年度	4月9日 市議会議員選挙  議員説明 バリアフリー検討会議WG 市民意見の聴取 ・4月中旬 市民アンケート等送付 ・5月上旬 市民アンケート集計・分析 ・5月下旬 市民ミーティング（ワークショップ）  6月上旬 バリアフリー検討会議（市長出席） ・市民意見の聴取の結果の検証及び意見交換  6月上旬 市長からの指示・方針決定 6月上旬 所管事務調査 ・バリアフリーを含めた整備基本計画について  全体整備検討会議 市民説明会  文化庁へ提出

名古屋城木造復元 昇降技術に関する 市民意見の聴取 企画書

令和 5 年 3 月

1 趣旨、目的、手順、留意事項

■趣旨

名古屋城天守の木造復元にあたっては、歴史的建造物を現代に復元するにあたり「史実に忠実な復元とバリアフリーの両立」を目指し、今年度に「昇降技術の公募」を実施し、最優秀者を選定した。

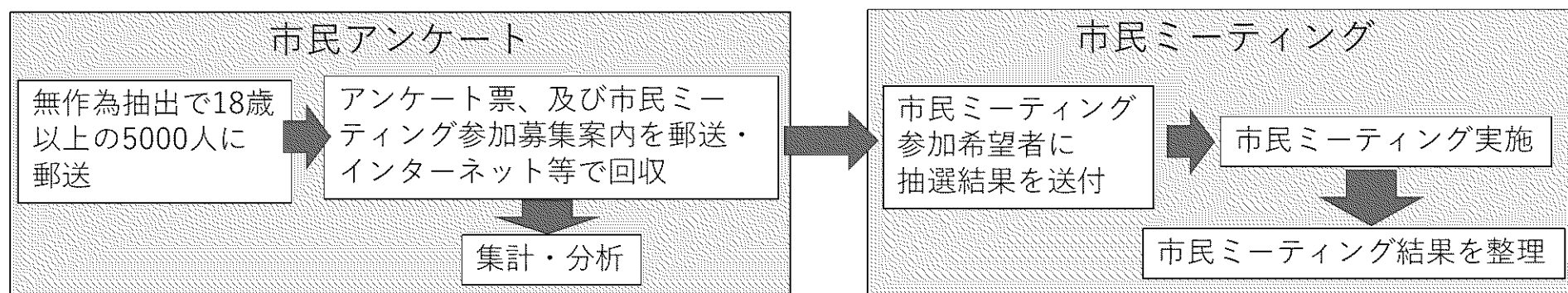
今後、名古屋城のバリアフリーの考え方などの情報を市民に知らせるとともに、名古屋城木造天守等におけるバリアフリーに関する意向を把握するため市民アンケートを実施する。また、市民の生の声を聴くために市民ミーティングを実施する。

■目的

歴史的建造物とはいえ現代に復元する以上は、バリアフリーへの対応は必要である。

バリアフリー対応は必要か否かの判断を多数決で決めるものではなく、障害者差別解消法などの法令に則った行政の対応が求められることから、アンケートによる〇×だけでなく、希望者によるミーティングも実施し、どうしたら「史実に忠実な復元とバリアフリーの両立」となるのか、いろいろな立場の市民からの意見を募り、その結果を踏まえて市の対応を決定する。

■手順



■留意事項

今回の市民アンケートの実施にあたっては、平成28年度に実施した天守閣整備にかかる2万人アンケートの手法を踏まえ、経済水道委員会への丁寧な説明が必須である。

2 市民アンケート

「昇降技術の公募」で選定した最優秀者の昇降技術の導入等について、無作為により抽出した5,000人の市民を対象としたアンケートを実施する。

<業務内容>

- ・ 調査票等の作成（事業の説明資料、アンケート票、市民ミーティング募集案内（次項関連））
- ・ 調査票等・封筒の印刷
- ・ 調査票等の封入、郵送
- ・ 調査票等の郵送回収、インターネットによる回収の併用
- ・ 調査結果の集計、集計表等の作成

3 市民ミーティング

これまで名古屋市にて広く行われてきた公募型のワークショップとは異なり、アンケート対象者として無作為抽出した市民に募集案内を送付して参加者を募集し、ワークショップ形式で市民ミーティングを実施する。

＜市民ミーティング（無作為抽出）の意義＞

- 通常の公募では集まらないような異なる意見での参加者を集められる。
- 未経験者など多様な参加により、多様な視点からの意見聴取や議論ができる。
- 関心の低い市民への周知の機会にもなり、意識啓発のよい機会となる。

＜業務内容＞

■事前準備

市民ミーティング参加希望者全員に抽選結果を、選定された人には事前に当日資料も併せて送付する。

■開催概要

実施日	平日午後、土日午後の2回	各回2時間程度
定員	各回50名程度	計100名程度
会場	市公館	
内容	木造天守閣復元事業の意義、史実に忠実な復元とバリアフリーについてなどの考え方を説明した後、昇降技術を含むバリアフリーについて意見交換	

4 全体スケジュール(案)

	3月	4月			5月			6月		
	2131	110	1120	2130	110	1120	2131	110	1120	2130
市民アンケート	発送準備		発送	回収			集計・分析		報告書作成	
市民ミーティング			アンケートと同時に参加希望回答書回収		抽選	抽選結果郵送	平日/休日2回実施		報告書作成	

(参考)過去の事例

参考1 みちまち市民ミーティング（住宅都市局、2013年度）

無作為抽出市民ミーティングの実施を目的に実施。この時は、参加希望しない人にアンケートをとる方法を採用した。

	参加希望する方 (参加希望書)	参加希望しない方 (アンケート)	計
配布数	4,000		
回収数	107	495	602
回収率	2.68%	12.38%	15.05%

＜回収から市民ミーティング当日まで＞

参加希望する方107名から抽選して68名を選定（定員50人程度、当日欠席3割程度を見込んだ）
参加希望する方全員に抽選結果を、当選者には当日案内や資料も併せて送付。



市民ミーティング当日（平成25年11月30日（土））、55人参加

市民意見の聴取のため調査票に記載する設問（案）について

○設問（案）

- 問 1 過去に、何回名古屋城を訪れましたか。
- 問 2 天守閣についてお聞きします。名古屋市が天守閣の木造復元を進めていることをご存じですか。
- 問 3 今まで、名古屋市が主催した名古屋城天守閣整備に対するタウンミーティングや市民説明会にご参加いただいたことがありますか。
- 問 4 天守閣が木造復元されたら最上階まで登りたいと思いますか。
(階段体験館の写真や、最上階までの階段の段数を見ながら回答)

以下の問い（問 5～7）は、説明資料を読んでいただいたうえ回答をお願いするもの。

- 問 5 歴史的建造物の内部に公募により選定した昇降技術を設置することについてどう思いますか。
- 問 6 公募により選定された昇降技術について、復元する木造天守の何階まで設置することがよいとお考えですか。(資料の設置イメージ図を見ながら回答)
- 問 7 問 6 で 5 階（最上階）までの設置を望まれない場合、5 階（最上階）までのバリアフリーとして他にどのような技術を望まれますか。

以下の問いは、名古屋城全体のバリアフリーについて回答をお願いするもの。

- 問 8 現在の園路等を含む名古屋城全体のバリアフリーについて、ご意見をお聞かせください。【自由記入欄】

以下の問い（問 9～12）は、一般的な質問として回答をお願いするもの。

問 9 あなたの性別をお答えください。【任意回答】

問 10 あなたの年代をお答えください。

問 11 身体障害や内部障害等の障害の有無についてお答えください。【任意回答】

問 12 あなたは外国籍ですか。【任意回答】

(イ) 大天守内部

柱・梁などの主架構を変更しない昇降技術を「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」(以下「公募」という。)により募り垂直昇降技術を選定した。今後、駆動装置の小型化や地震時の建物の変形による変位を吸収する減衰システムなど垂直昇降技術の開発を進めていく。公募の最低要求水準である大天守の地下1階から1階までについては、この垂直昇降技術によりバリアフリーに対応した移動経路とする。より上階については、引き続きバリアフリー対応の検討を進める。

a 垂直昇降技術の基本的な考え方

- ・②-U構造計画の目標性能(最大層間変形角)に追随する構造とするため、直上階までの昇降
- ・定員4名または車いす利用者1名と介助者1名が搭乗可能
- ・柱・梁などの主架構を変更せずに設置が可能であり、また将来、より良い別の手段ができた際には、取り外して復元原案に戻すことが可能

b 垂直昇降技術の概要

垂直昇降技術の概要を図-8.1.45に示す。垂直昇降技術を支えるフレーム(昇降路)は上階の主架構で荷重を支持し、下階部分は上階からの吊り下げ構造とすることで、地震時における天守主架構の変形の影響を小さくする。

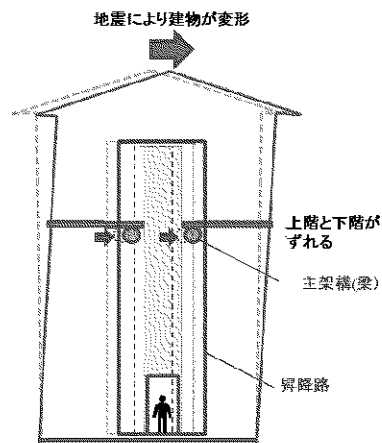


図-8.1.45 地震による建物の変形に対する垂直昇降技術の概念図

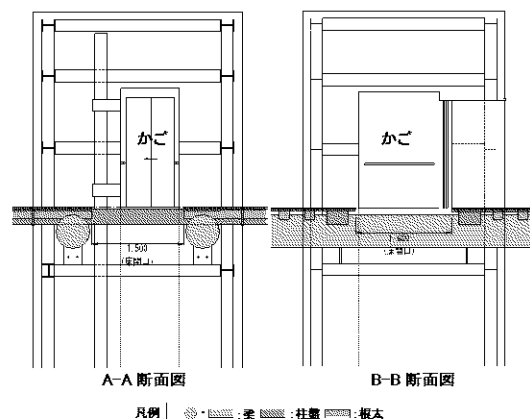


図-8.1.46 主架構と垂直昇降技術及び昇降路の関係(1階)

垂直昇降技術は図-8.1.46及び図-8.1.47に示すように主架構を跨いで昇降路を組み、下階床との間に減衰システムを設置する。

上階では垂直昇降技術と床のレベルは同一とし、下階は減衰システム高さ分の段差解消スロープを設置する。

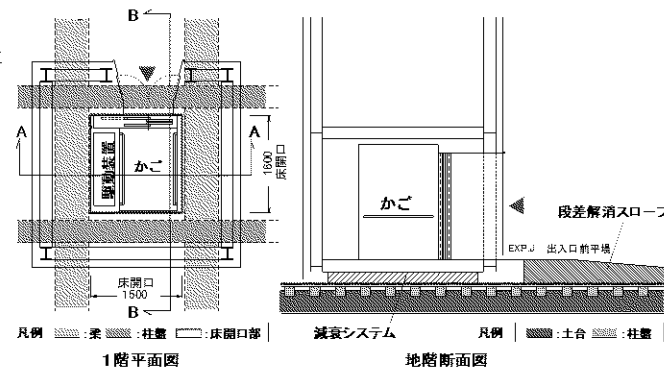


図-8.1.47 主架構と垂直昇降技術及び昇降路の関係(1階平面、地階断面)

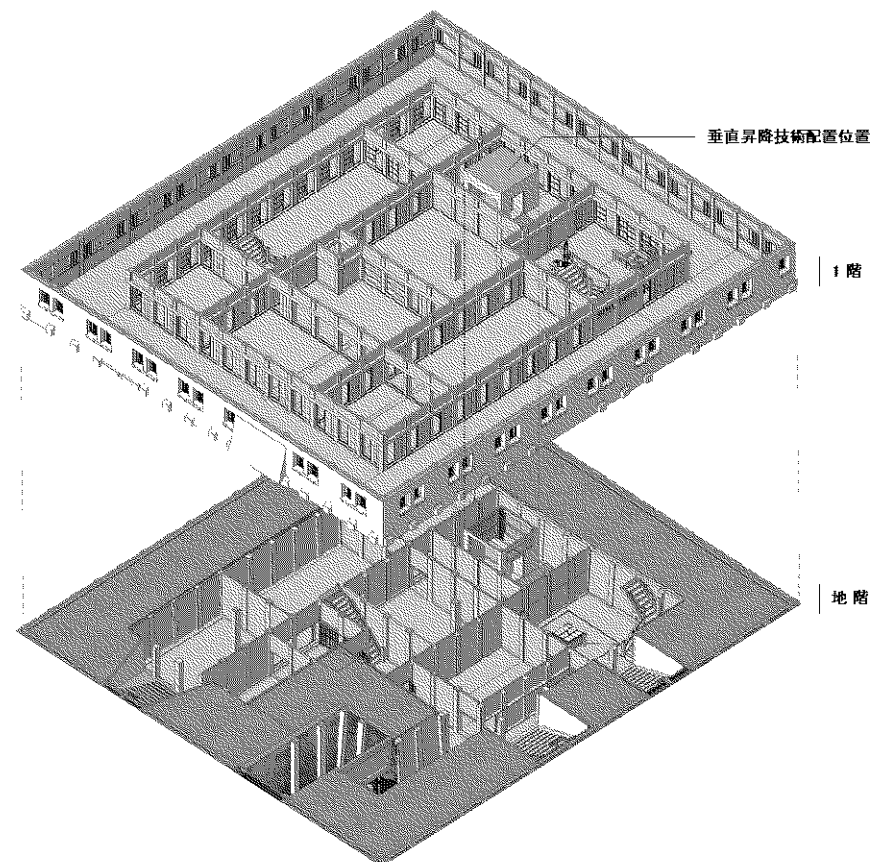


図-8.1.48 垂直昇降技術配置アイソメ図

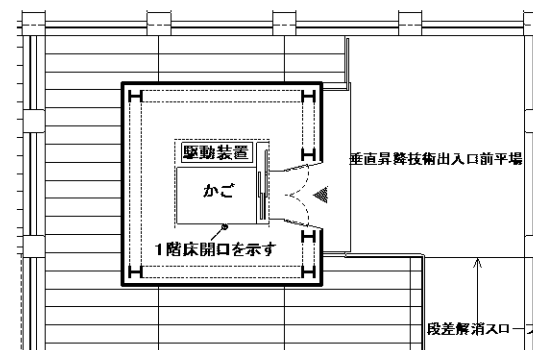


図-8.1.49 地階平面図

市民意見の聴取の実施方法について

令和5年3月

◎実施方法

- ・紙媒体（①）あるいはSNS（②）でアンケートを送付し、回答を返却してもらい集計・分析
- ・このアンケートと合わせて、市民討論会への参加可否も回答
- ・市民討論会を市長同席で実施
（具体的な実施方法は、木曽川水系連絡導水路事業で実施する市民討論会と合わせる）

① 紙媒体を郵送して実施

- ・市民アンケートを無作為抽出（5,000人）した市民に郵送で送付

☆現段階での課題

- ・無作為抽出して郵送する手続きについて、個人情報保護の関係から、スポーツ市民局住民課と協議が必要（法令に基づいた広聴でないとは実施不可とのこと）
⇒バリアフリー法の附帯決議（・・・高齢者、障害者等の参画のもと・・・）の“等”には、妊婦やけがをした人も含まれると解釈できる可能性があり、住民課との協議で実施可能性あり
また、4月9日の市議員選挙後しか無作為抽出ができないとの連絡あり

② SNS を利用して実施

- ・名古屋市公式LINEに登録している市民（約10万人）へLINEでアンケートを送付（広聴課より、早く手軽に聞き取りができるとのこと）

☆現段階での課題

- ・LINE アンケートにバリアフリーについての説明資料および市民討論会の参加可否資料を添付できるか広聴課へ確認中
⇒若年層からの回答は期待できるが、高齢者の登録数は多くないかもしれない
この場合は、令和5年1月に市長の事務所が実施した電話によるアンケートが60代以上が多かったため、この結果を使わせてもらってはどうか。

**名古屋城バリアフリーに関する
アンケートへのご協力のお願い**
調査票にご記入の上、5月　　日（　）までにご投函ください。

日ごろは、市政にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

名古屋城天守閣の整備におきましては、天守を木造復元する意義として、特別史跡名古屋城跡の本質的価値の向上とその理解の促進および魅力の向上を掲げており、「昭和実測図」をはじめ先人たちが遺してくれた豊富な史資料に基づき木造復元を進めています。調査研究に基づく「史実に忠実な復元」に最大限の意を用いつつ、バリアフリーへの対応をどうするかが課題となっていました。昨年度、「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」を実施し、最優秀者を決定したところで

す。

今回のアンケートは、復元する木造天守に最優秀者の昇降技術をどこまで設置するのか、また、名古屋城全体のバリアフリーに関して、市民のみなさまのご意見を頂戴し、その結果を踏まえて名古屋市の方針を決めていきたいと考えております。また、希望者のみなさまを対象に市民討論会を行い、ご意見を直接お伺いしたいと考えております。

趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

▼アンケートについてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

名古屋城事務所　　：〇〇

電話：(052) 231-2488　／ FAX：(052) 201-3646

問合せ時間：月曜日から金曜日の午前8時45分から午後5時30分まで（祝日を除く）

※FAX は常時受け付けておりますが、お電話でのお問い合わせにつきましては上記時間内とさせていただきますので、ご了承ください。

調 査 票

～ご記入にあたってのお願い～

- ◆アンケートは**必ず封筒の宛名のご本人がご回答ください**。
(ご本人が記入できない時は、身近な方がご本人から聞き取り、ご記入ください)
- ◆同封されている「名古屋城バリアフリーに関する説明資料」をご覧ください、ご記入ください。
- ◆調査票及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。
また、切手を貼る必要もございません。
- ◆回答結果は、統計的な数値として集計する以外には使用しませんので、ご自身の率直なお考えやご意見をご記入ください。
- ◆ご記入いただきました**調査票**を同封の返信用封筒に入れ、
5月 日()までに、郵便ポストにご投函ください。

問1 過去に、何回名古屋城を訪れましたか？(1つに○)

- | | |
|------------------|----------|
| 1 1回 | 2 2回 |
| 3 3回以上(年____回程度) | 4 訪れていない |

問2 天守についてお聞きします。名古屋市が天守の木造復元を進めていることをご存じですか？(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 内容もよく知っている | 2 進めていることは知っている |
| 3 知らなかった | 4 興味がない |

問3 今まで、名古屋市が主催した名古屋城天守閣整備に関するタウンミーティングや市民説明会にご参加いただいたことがありますか？(1つに○)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 毎年参加している | 2 1回以上参加したことがある |
| 3 参加したことがない | |

以下の問4～8は、説明資料を読んでいただいたうえでご回答ください

問4 天守が木造復元されたら最上階まで登りたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 ぜひ登りたい | 2 どちらかといえば登りたい |
| 3 どちらかといえば登りたいと思わない | 4 登りたいと思わない |
| 5 (身体的理由などで) 登れない | |

問5 歴史的建造物の内部に公募により選定した最優秀者の昇降技術を設置することについてどう思いますか。資料1 1ページを見ながらご回答ください。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 設置することに賛成 | 2 設置することに反対 |
| 3 どちらでもない | |

問6 問5で1(設置することに賛成)と回答した人におうかがいします。公募により選定された最優秀者の昇降技術について、復元する木造天守の何階まで設置することがよいとお考えですか。資料1 3ページを見ながらご回答ください。(1つに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 1階まで(城から外が見える) | 2 2階まで(天守最長の松梁がある) |
| 3 3階まで(破風の間がある) | 4 4階まで(破風の間がある) |
| 5 5階まで(最上階) | 6 わからない・その他 |

問7 問5および問6のご回答にかかわらず、5階(最上階)までのバリアフリーとして、他にどのような方法を望まれますか。(自由回答)

--

問8 現在の園路等を含む名古屋城全体のバリアフリーについて、ご意見をお聞かせください。(自由回答)

--

あなたご自身について

問 9 あなたの年代をお答えください。(1 つに○)

- | | | | | |
|-------|---------|----------|-------|-------|
| 1 10代 | 2 20代 | 3 30代 | 4 40代 | 5 50代 |
| 6 60代 | 7 70代以上 | 8 答えたくない | | |

問 10 障害等の有無についてお答えください。(複数回答可)

- | | | |
|---------------------|-----------------|-----------|
| 1 特にない | 2 肢体不自由(車いすを使用) | |
| 3 肢体不自由(歩行困難・杖使用など) | | |
| 4 視覚障害 | 5 聴覚障害 | 6 言語障害 |
| 7 内部障害 | 8 知的障害 | 9 精神障害 |
| 10 発達障害 | 11 高次脳機能障害 | 12 難病 |
| 13 その他() | | 14 答えたくない |

問 11 インバウンド(外国人観光客)の方への名古屋城のサービスに反映するため、あなたの国籍についてお答えください。(1 つに○)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 日本国籍である | 2 外国籍である(国籍:) |
| 3 答えたくない | |

【名古屋城について、ご意見等ご自由にお書きください】

ありがとうございました。

ご記入いただきました本冊子を同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

市民討論会に参加を希望される方へ

名古屋城バリアフリーに関する市民討論会

日時：令和5年5月27日（土） 00:00～00:00（予定）
 場所：（仮）名古屋国際センターホール（別棟）（名古屋市中村区那古野1丁目）
 内容：名古屋城バリアフリーに関する資料および市民アンケートの説明をした上で討論会を実施
 定員：100名程度

上記のように市民討論会を開催します。参加ご希望の方は、下の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、アンケート調査票と一緒に同封の返信用封筒にて、**5月 日（ ）【消印有効】**までにご投函ください。

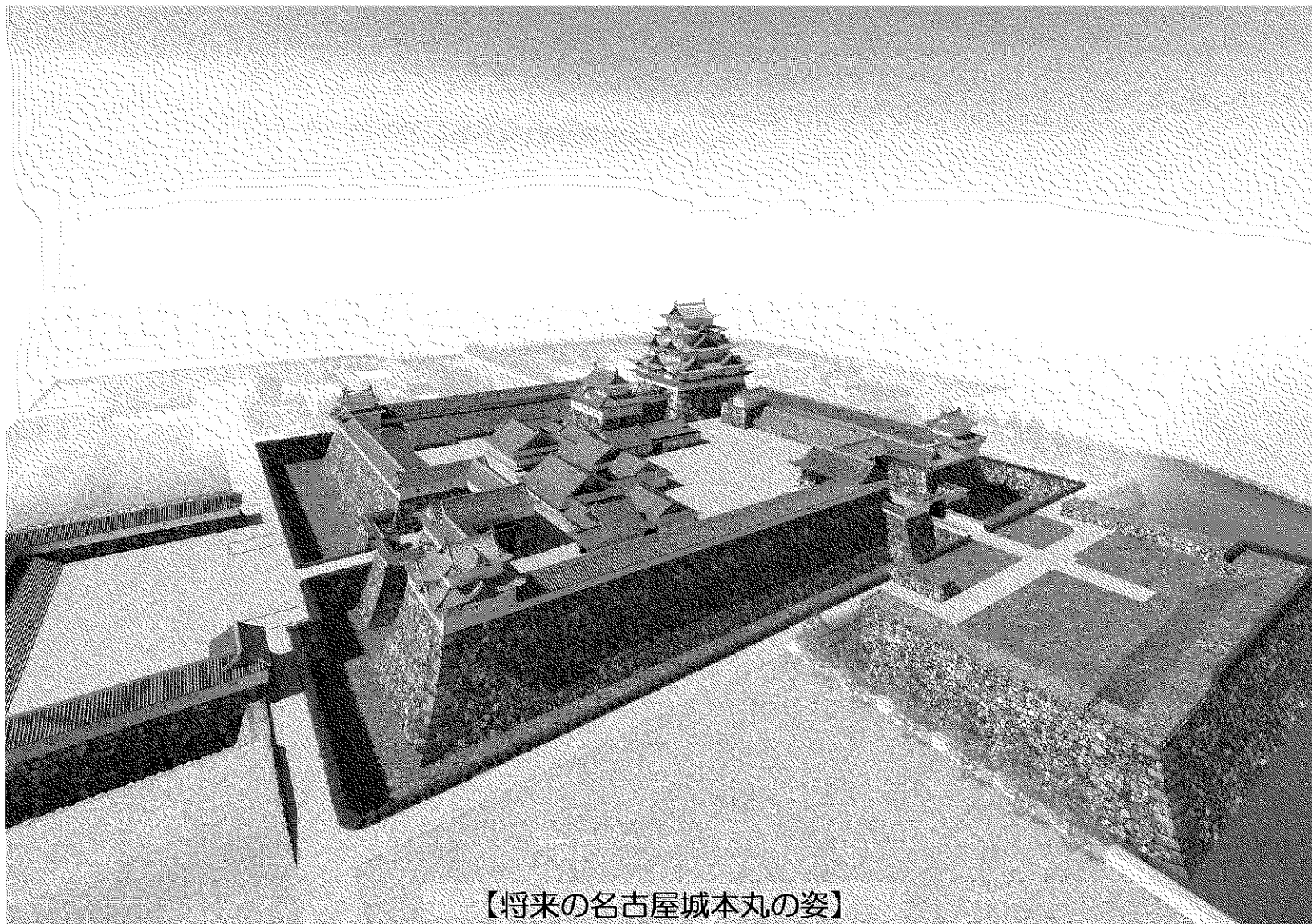
参加申込書を返信いただいた方が定員を超過した場合は、抽選させていただきます。抽選の結果は参加申込書をいただいた方全員にご連絡いたします。当日参加いただける方には、プログラムや会場案内などの資料も同封させていただきます。ぜひ、ご参加ください。

参加申込書

(ふりがな) おなまえ		
ご住所 (郵便物が届くよう 番地、建物名・号室など 全てご記入ください)	〒 区 名古屋市 区	
ご職業	1 会社員・公務員（フルタイム） 3 アルバイト・パート 5 学生 7 その他（ ）	2 自営・自由業 4 家事専業 6 無職
参加動機		
これまでに市民参加型の会議に参加されたことがありますか。	1 名古屋城に関連した会議に参加したことがある 参加した時のテーマ（ ） 2 名古屋城関連以外の会議に参加したことがある 参加した時のテーマ（ ） 3 今回がはじめて 4 わからない	
参加にあたり、主催者に配慮してほしいことがございましたら、ご記入ください。（任意）		

「名古屋城バリアフリーに関する説明資料」

【5000人アンケート用】



【将来の名古屋城本丸の姿】

目次

1. 趣旨
2. 名古屋城天守木造復元の概要
 - ・ガラス乾板写真の往時の姿と将来の完成予想図
 - ・残された豊富な史資料
 - ・名古屋城天守の歩みと木造復元の進捗
 - ・現天守閣と復元天守の違い
 - ・復元天守の階段
3. 昇降技術の概要
 - ・昇降技術に関する公募の概要
 - ・最優秀者の技術紹介
4. 木造天守でのバリアフリー対応
 - ・内苑（地上）から大天守地階まで
5. 木造天守へ設置した場合の観覧計画
 - ・大天守1階までの場合
 - ・大天守5階までの想定
6. 名古屋城内のバリアフリーの現状

1. 趣旨

名古屋城天守は、1612年に完成し1930年（昭和5年）に城郭建築として旧国宝第1号に指定されましたが、1945年（昭和20年）に戦災により焼失しました。その後、1959年に現在の鉄骨鉄筋コンクリート造で再建されましたが、半世紀以上が経過し、コンクリートの劣化や設備の老朽化、耐震性の確保等様々な問題が顕在化しています。

天守を木造により復元する名古屋城天守閣整備事業は、このような現天守閣の課題を解決するだけでなく、先人が残してくれた豊富な史資料を基に往時の姿に復元できることから、再度「国宝」になることを目指し、名古屋市民の誇りと言える名古屋城天守を実現していきたいと考えております。

その一方で、バリアフリーへの対応をどのように行っていくかは大きな課題であることから、2018年(平成30年)に本市が公表した「木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針」に基づき検討を進めてまいりました。昨年度(令和4年度)「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」を実施し、木造の柱・梁に影響を与えない、かつ、取り外し可能な技術を国際的に募集し最優秀者を決定したところです。

今回のアンケートは選定された最優秀者の昇降技術の詳細と木造天守に設置された場合にどのようなになるのか等の情報をお知らせし、みなさまのご意見をお伺いするものです。

趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

2. 名古屋城天守木造復元の概要

- ・ ガラス乾板写真の往時の姿と将来の完成予想図



(ガラス乾板写真)

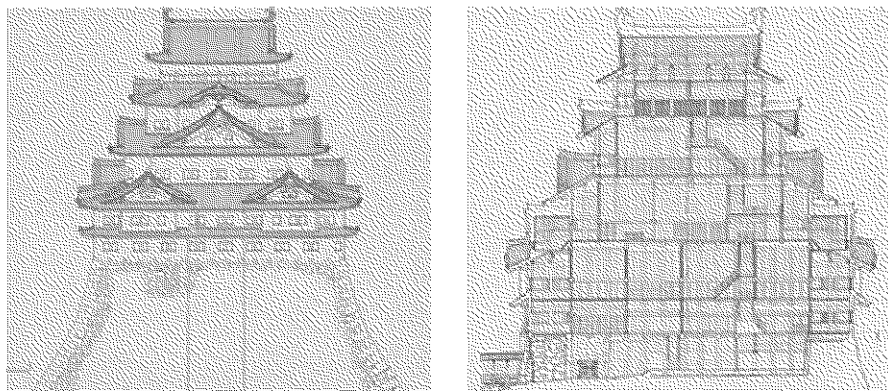
300年以上存続し旧国宝第1号
に指定された名古屋城天守の姿



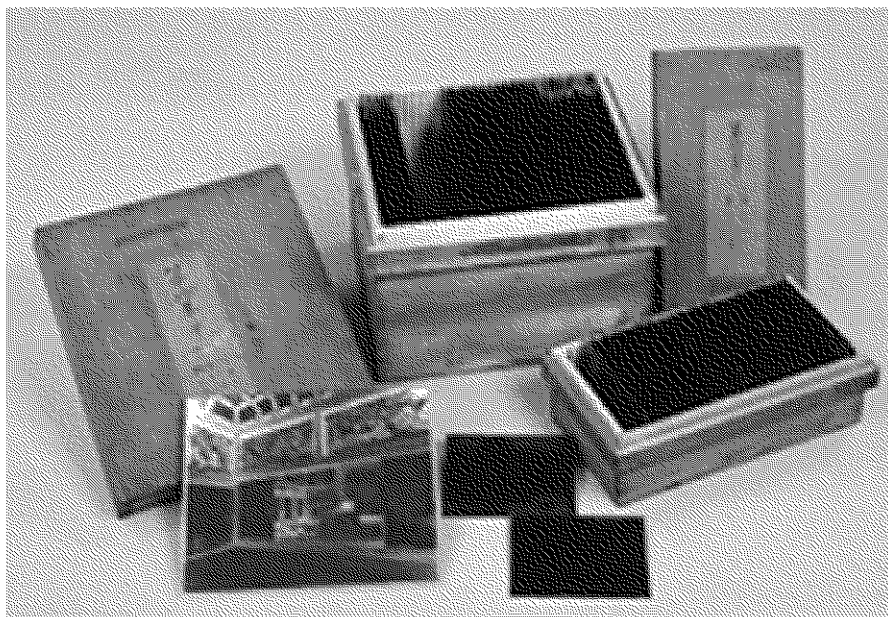
(竹中工務店作成完成予想図)

豊富な史資料と最新の技術により
木造復元する名古屋城天守の姿

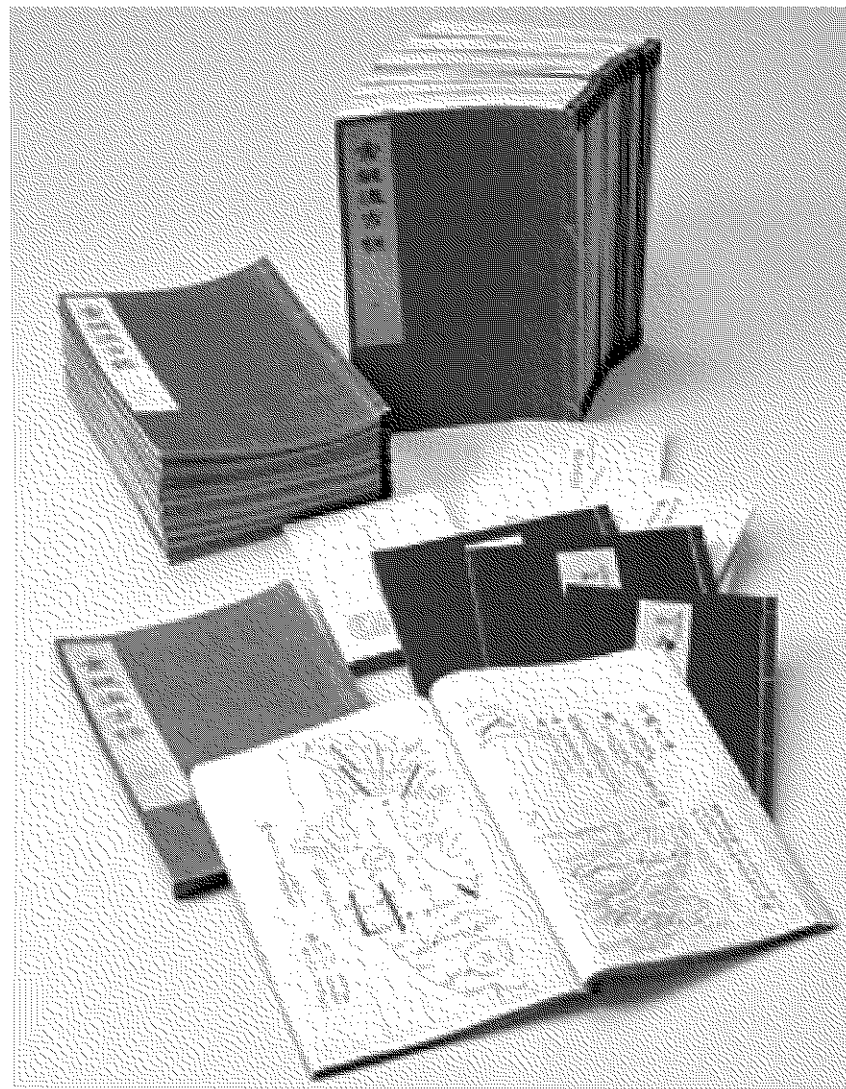
- 残された豊富な史資料



昭和実測図



ガラス乾板写真



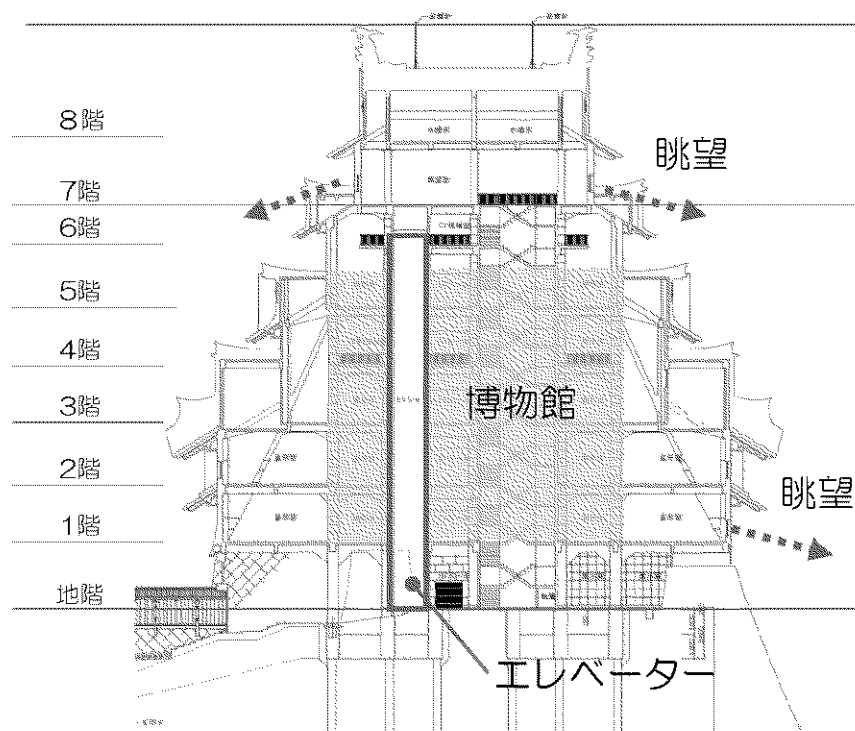
金城温古録

- 名古屋城天守の歩みと木造復元事業の進捗

時 期		内 容
慶長15年	1610年	徳川家康の命により築城に着手
慶長17年	1612年	天守が完成
明治 5年	1872年	陸軍省の所管となる
明治26年	1893年	宮内省に移管され名古屋離宮となる
昭和 5年	1930年	宮内省から名古屋市に名古屋城を下賜 天守等が城郭として国宝第1号に指定（旧国宝）
昭和 7年	1932年	名古屋城の実測調査開始（昭和27年に完成）
昭和20年	1945年	第二次大戦中の空襲により焼失
昭和34年	1959年	鉄筋コンクリート造天守閣再建
平成21年	2009年	本丸御殿復元に着手
平成27年	2015年	名古屋城天守閣整備事業公募型プロポーザル実施
平成29年	2017年	名古屋城天守閣整備事業着手
平成30年	2018年	本丸御殿が完成 現天守閣が耐震性能不足にて入場禁止
令和4年	2022年	名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募実施

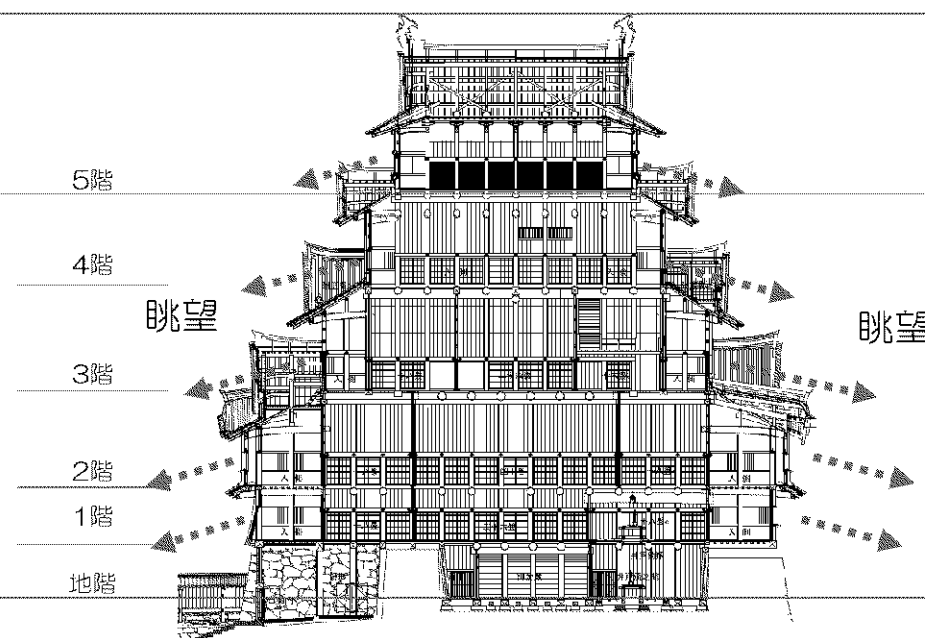
- 現天守閣と復元天守の違い

現天守閣
(鉄骨鉄筋コンクリート造)



- 内部は博物館
- 眺望は1階北側、東側と7階から
- 地階から5階までエレベーター設置

復元天守
(木造)



- 往時の姿を復元した内部空間
- 1～5階のすべての階から眺望

- ・復元天守の階段

地階から5階（最上階）まで階段の段数126段



「名古屋城木造天守閣階段体験館」
に設置されている実物大模型の階段
（木造天守の1階から2階の階段）



焼失した大天守の最上階の階段
（ガラス乾板写真）

3. 昇降技術の概要

• 昇降技術に関する公募の概要

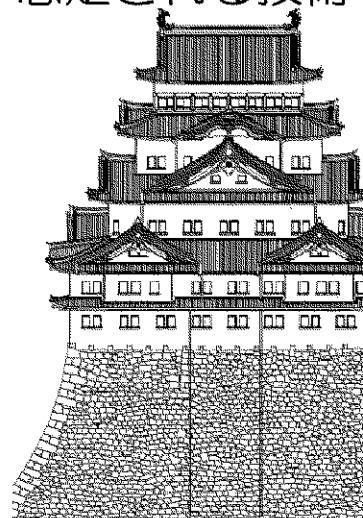
背景

- 名古屋城現天守閣は1959年再建以来老朽化など課題が顕在化
- 「名古屋城天守閣復元事業」で史実に忠実な復元により名古屋城の本質的価値の理解促進、観光面の魅力向上が可能
- 障害のある人もない人も共に文化財を楽しめるバリアフリーが重要

目的

- 史実に忠実に復元する木造天守に誰もが昇降できるように、昇降技術を世界中から募り実用化する
- 史実に忠実な復元とバリアフリーの両立を目指し、先進的なバリアフリー技術を名古屋から発信・展開する

想定される技術



5階	技術例： •大天守の内部を垂直に昇降する技術 •大天守の階段を直接昇降する技術 •外部から直接大天守1階以上に入城できる技術 等幅広く技術を募集
4階	
3階	
2階	
1階	
地階	地上から大天守地階までのバリアフリーは 木造天守復元の設計・施工者にて対応予定
地上	

3. 昇降技術の概要

• 昇降技術に関する公募の概要

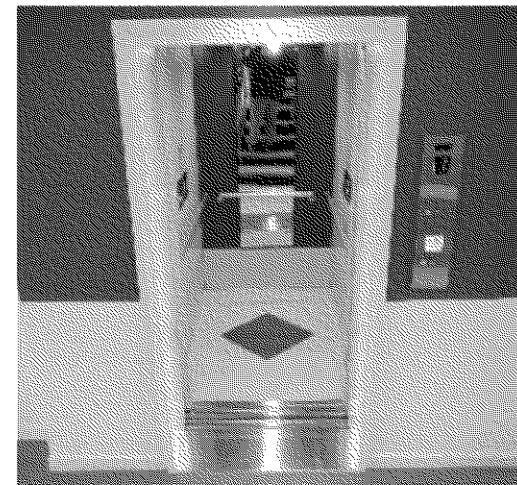
主な要求水準

区 分		主 な 内 容
バリアフリー	最低要求水準	• 少なくとも大天守1階に昇降ができること
	加点要求水準	• 利用対象者の範囲が広いこと • 誰もが簡単に使えること • 可能な限り健常者の移動と同じような時間で移動できること • 多人数による反復した利用が可能であること • 可能な限り健常者の移動経路を妨げず、共存した経路であること • 大天守のより上層階まで上がれること • 怖い思いをしないで利用できること • 他人の助けを借りることなく昇降ができること
史実に忠実	最低要求水準	• 柱や梁などの主架構を変更しないこと • 取り外すことにより、史実に忠実な状態に戻すことができる設置手法とすること
	加点要求水準	• 可能な限り木造天守の外観や内観をそこなわないこと • 木造天守に使用されている木材を保護すること

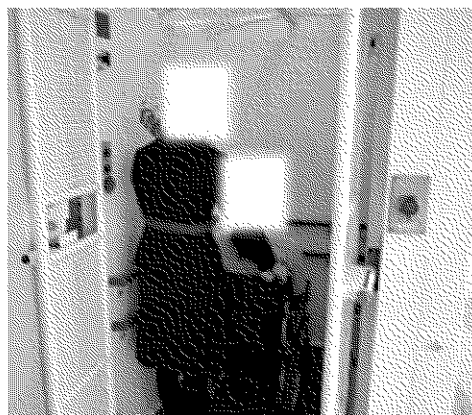
• 最優秀者の技術紹介

最優秀者 ———
株式会社MHIエアロスペースプロダクション

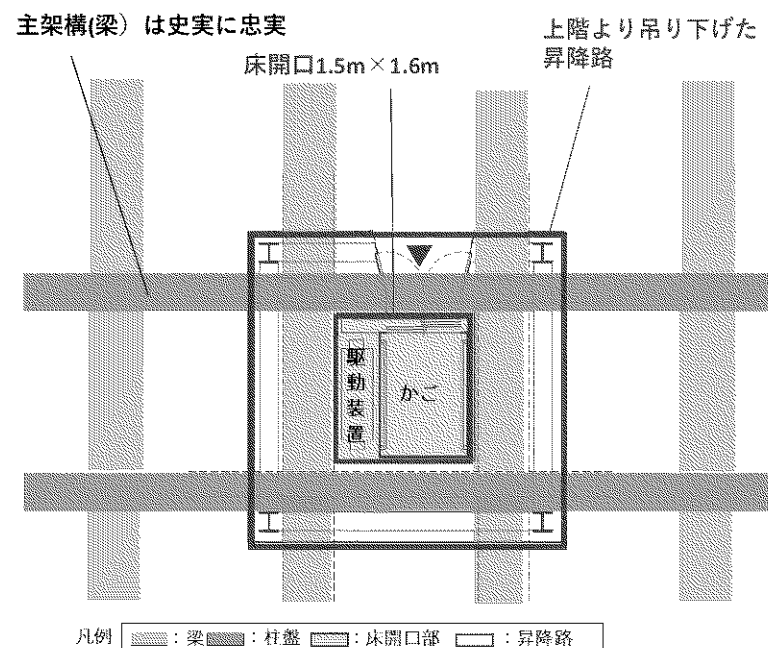
- 1階ずつ昇降する技術
- 復元する木造天守の地震時等に大きく揺れるという課題に対応可能
- 定員4名または車いす利用者1名と介助者1名が搭乗可能
- 木造の柱・梁を取り除かずに設置可能
- 取り外して、床板を取り付けるだけで元の姿に戻すことが可能
- 船舶に使用している技術を応用し、名古屋城天守に設置できるよう開発



船舶への導入実績



航空機搭乗機材への導入実績



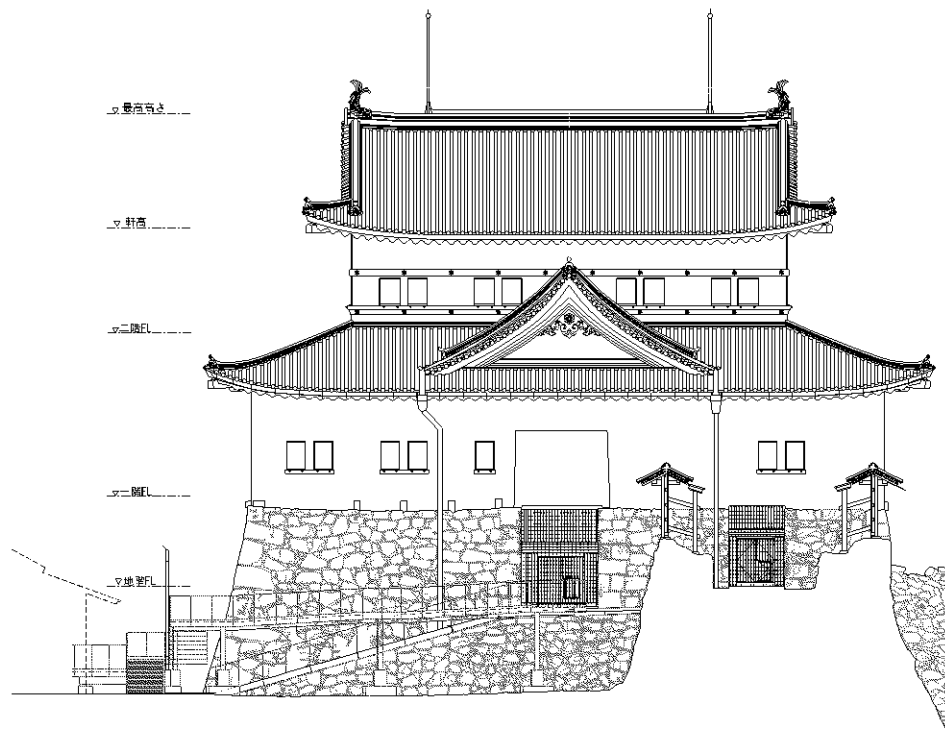
昇降装置の設置案

4. 木造天守でのバリアフリー対応

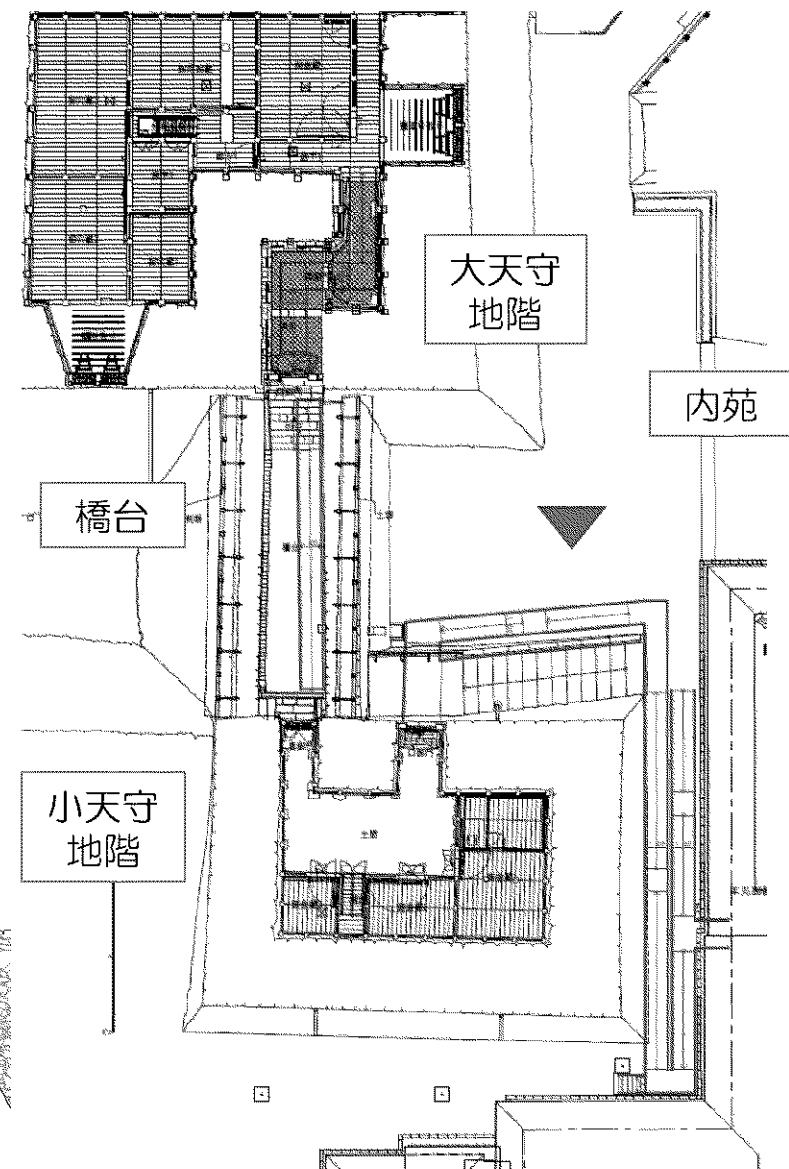
- ・内苑（地上）から大天守地階まで

内苑（地上）より小天守地階を通り、橋台から大天守地階までスロープ設置

（完成公開時の利用のしやすさや、大天守側の景観への影響など、多方面から検討したうえでの案）



小天守を北面より見る （ ▼ より見る）



内苑から大天守地階までのスロープ

5. 木造天守へ設置した場合の観覧計画 ・大天守1階までの場合

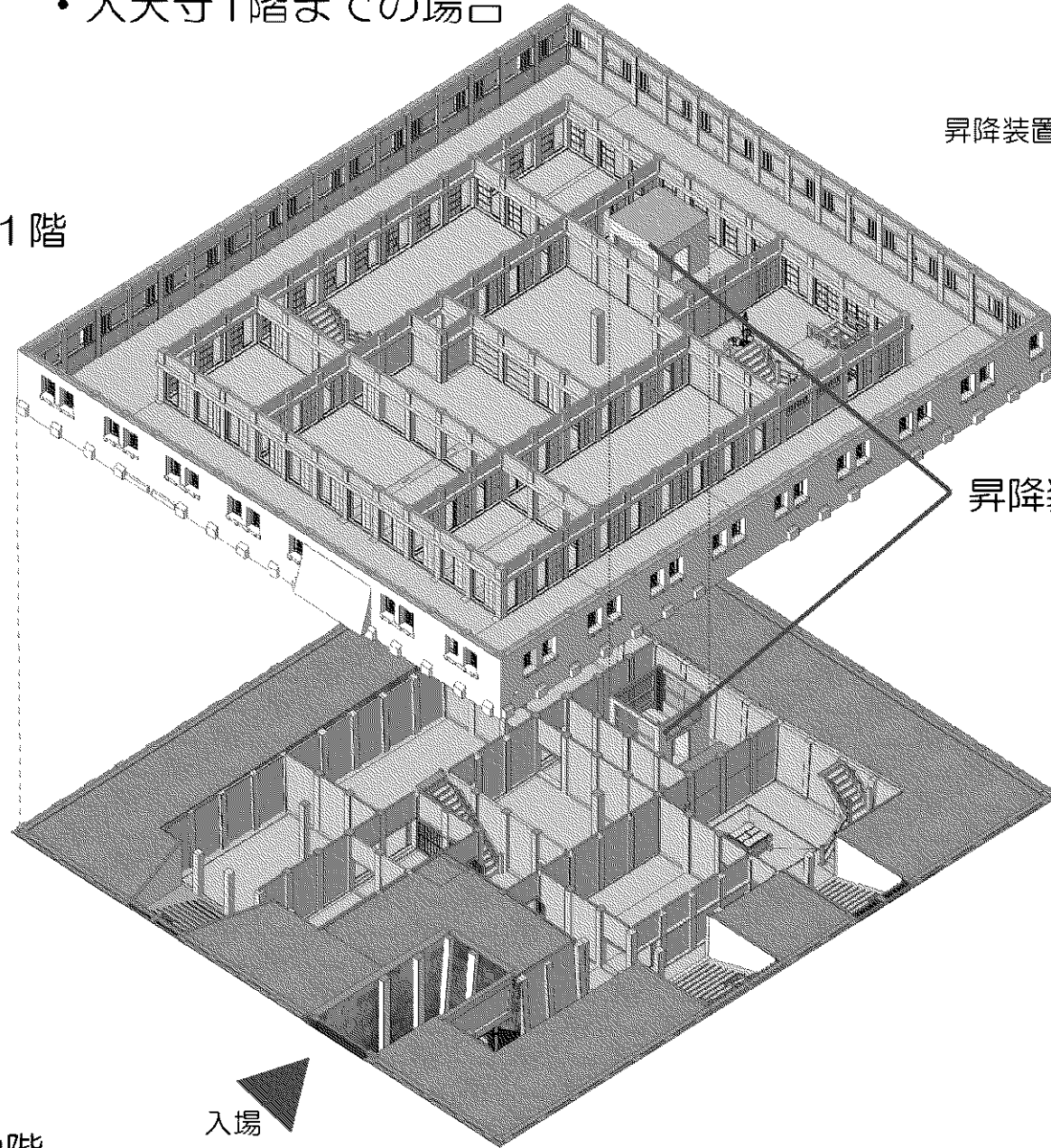
昇降装置のイメージは現時点での想定となります。

1階

昇降装置

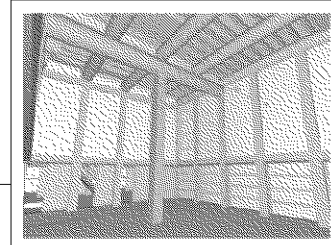
地階

入場

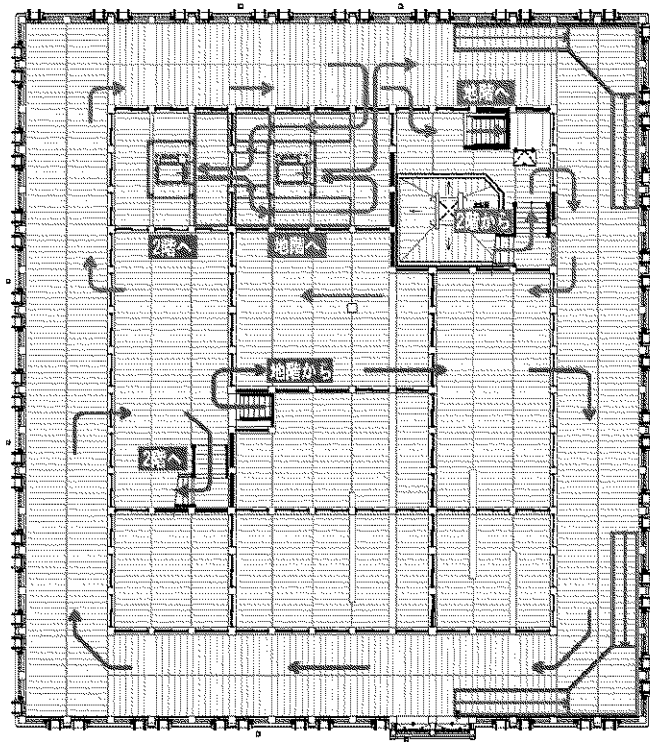


- 大天守5階までの想定

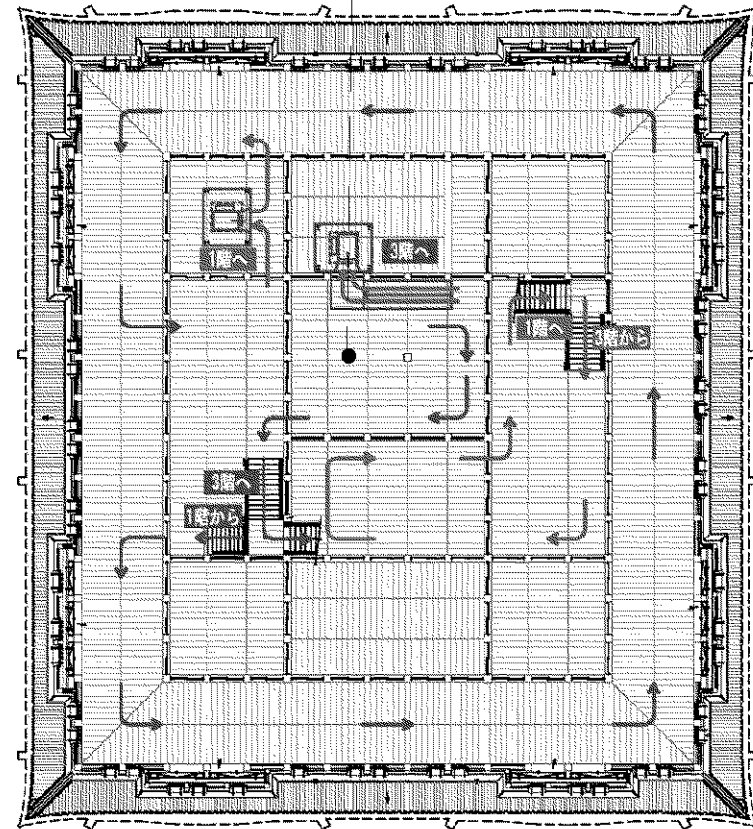
昇降装置のイメージは現時点での想定となります。



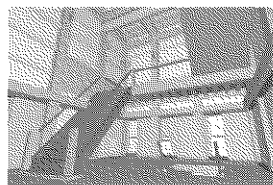
天守最長の松梁



1階 観覧計画

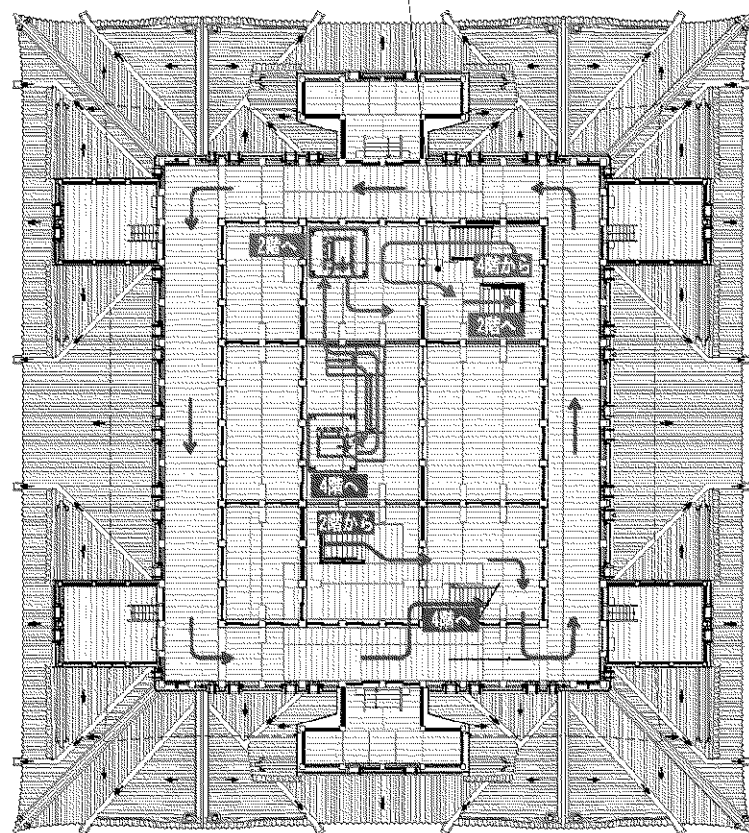


2階 観覧計画

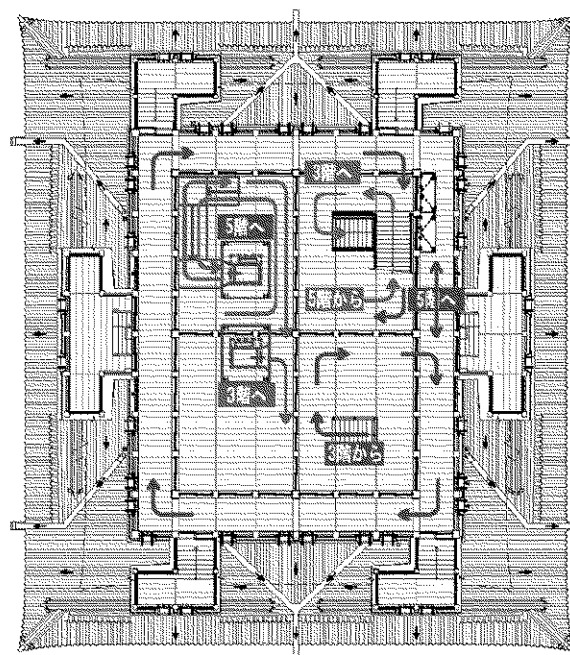


表階段

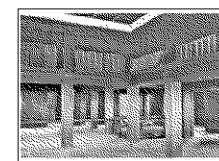
昇降装置のイメージは現時点での想定となります。



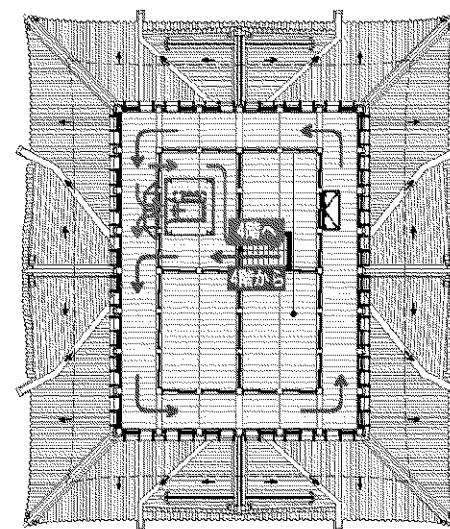
3階 観覧計画



4階 観覧計画



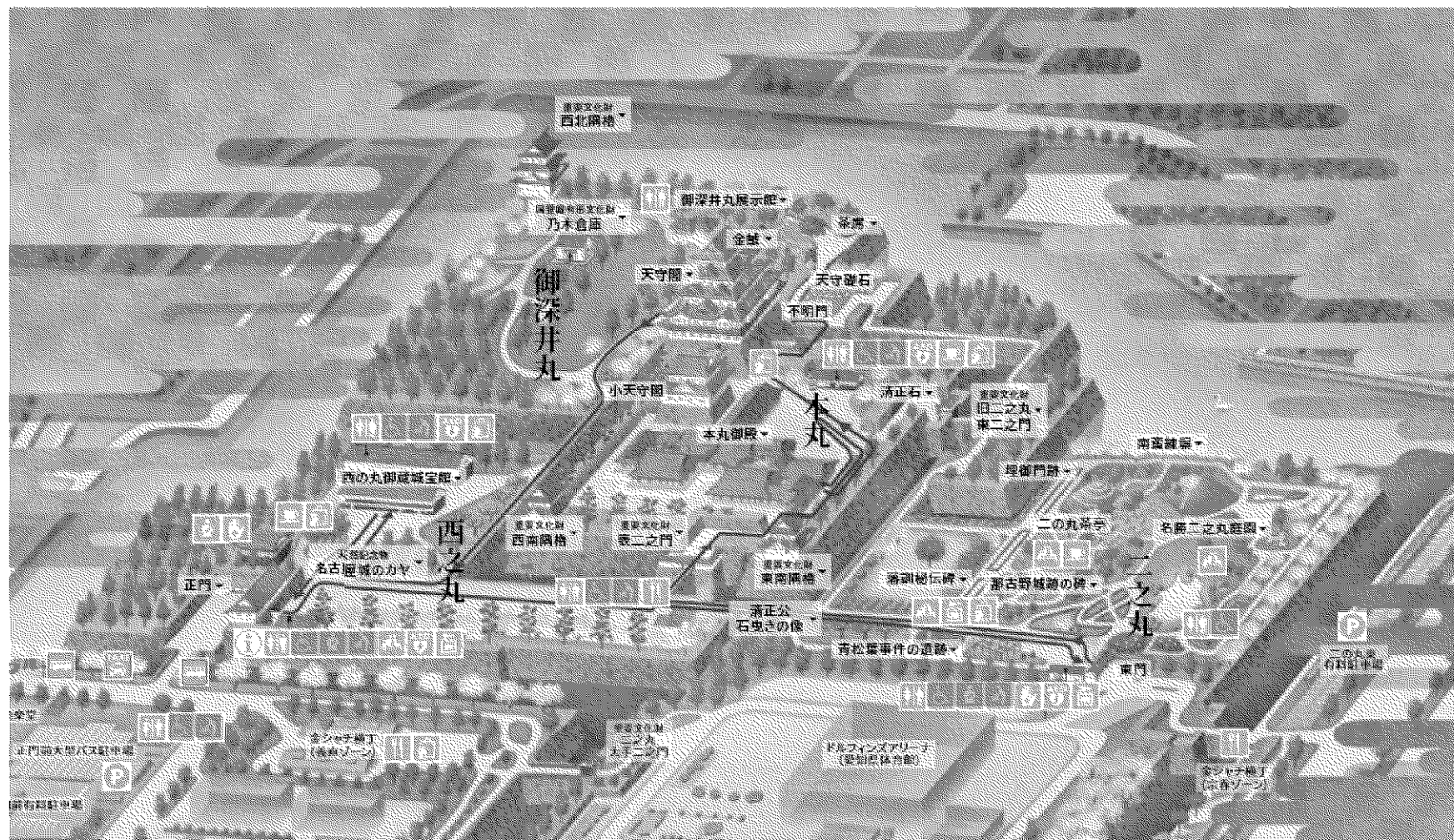
二之間



5階 観覧計画

6. 名古屋城内のバリアフリーの現状

名古屋城内では、バリアフリー対応トイレの設置や本丸御殿にスロープを設置するなどバリアフリーに配慮した計画を進めています。城内のバリアフリーの状況を整理し、バリアフリーのルートやトイレを記したマップを作成しています。



← バリアフリーの観覧ルート

□ バリアフリー対応トイレ

令和 5 年 3 月 1 日

各局室区広聴担当課長 様

スポーツ市民局市民生活部広聴課長

名古屋市公式 L I N E におけるアンケート配信について（照会）

日頃から、名古屋市公式 L I N E の運用にご協力いただきありがとうございます。

令和 5 年度上半期分の名古屋市公式 L I N E におけるアンケート配信につきまして、以下のとおり照会します。

1 配信期間

令和 5 年 4 月～令和 5 年 9 月

2 照会事項

名古屋市公式 L I N E を利用したアンケートの配信希望

＜名古屋市公式 L I N E アンケートの概要＞

区 分	内 容
テ ー マ	名古屋市が実施する事業に関するもの
配 信 日 程	毎週水曜日 12 時 5 分 (リサーチ期間 次週の火曜日 23 時 59 分まで)
回 答 者 数	約 1,900 人 (令和 4 年 4 月～令和 5 年 1 月実施分の平均)
設 問 数	最大 7 問 (属性除く)
回 答 形 式	単一回答、複数回答、自由回答から自由に設定可能

3 回答方法

別紙 1 の回答様式に記入の上、電子メールでご回答ください。

宛先：スポーツ市民局広聴課広聴係 a3139@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

※該当がない場合は回答不要です。

4 回答期限

令和5年3月17日（金）

5 その他

- ・アンケートのスケジュール確定後、別途通知させていただきます。
※照会後にアンケートの実施が必要になった場合は広聴課にご相談ください。
- ・今回照会文からアンケート配信にかかる取り扱いを一部変更しています。
必ず別紙2の配信依頼票内の記載例をご確認いただき、取り扱いに沿ったアンケートを作成いただける場合のみ、ご回答ください。
- ・情報配信につきましては、随時依頼を受け付けています。イントラネットの広聴課ページ（<http://www.intra.city.nagoya.jp/shimin/koucho/>）に、名古屋市公式LINEに関する記事を掲載していますので、内容を確認のうえ、ご相談ください。

<参考>名古屋市公式LINEの概要

区 分	内 容
趣 旨	幅広い市民の方に、市政に関心をもってもらい、広聴に親しみ、意見発信をしやすい環境づくりを行う。
開 設 日	平成26年7月
友だち登録者数	104,000人（令和5年2月末現在）
内 容	・市政へのお問い合わせ対応（チャットボット） ・アンケートの配信 ・その他市政に関する情報配信 など

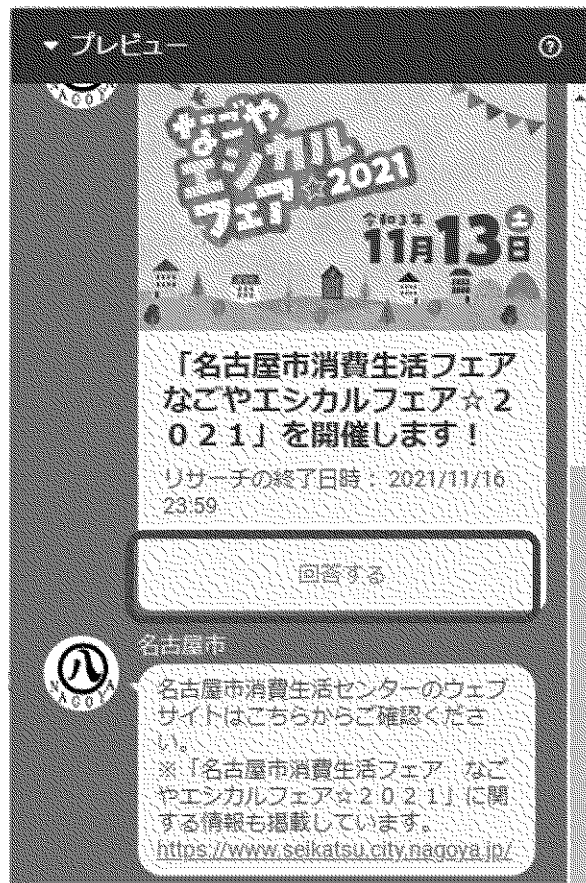
担当：広聴課 加藤、相川 内線 3139

E-mail: a3139@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

【参考資料②】名古屋市公式LINE配信イメージ

アンケート配信

【トーク画面】



【アンケート画面】

A screenshot of a survey form within the LINE chat interface. The header bar is the same as the previous image. The main content area has a light blue background with a pattern. At the top, there's a small illustration of a person wearing glasses and a bow tie, next to the text: 「名古屋市消費生活フェア なごやエシカルフェア☆2021」を開催します！. Below this, it says 'リサーチの終了日時 2021/11/16 23:59'. The form is divided into sections: '実施期間' (Implementation Period) with the date '2021/11/10 12:00 ~ 2021/11/16 23:59', '概要' (Overview) with a paragraph about the event, '回答者へのお礼' (Thank you to respondents) with a paragraph about a gift, and a disclaimer at the bottom. At the very bottom, there's a large button labeled '同意して参加する' (I agree and participate).

タップでアンケート開始

タップでアンケート画面へ

年齢層、お住まいのエリア等を確認できます。

【アンケート画面（属性確認）】

▼ プレビュー

Q1 必須
あなたの年齢を教えてください。

選択してください。

選択してください。
～10歳代
20歳代
30歳代
40歳代
50歳代
60歳代
70歳代～

3/7

▼ プレビュー

Q2 必須
お住まいのエリアを教えてください。

選択してください。

選択してください。
名古屋市内
名古屋市外（愛知県内）
名古屋市外（愛知県外）

4/7

アンケートの形式はそれぞれの設問について単一回答、複数回答、自由回答から選択可能です

【アンケート画面】

単一回答

▼ プレビュー ①

Q3 必須

あなたは、「エシカル消費」という言葉を聞いたことがありますか。

☐ 聞いたことがある

☐ 聞いたことはない

5/7

複数回答

▼ プレビュー ①

Q4 必須

「エシカル消費」は、人や社会、環境に配慮した消費行動のことです。普段の生活の中で、あなたが実践している行動は何ですか。

☐ エコバックの利用

☐ エコマーク商品など、環境負荷の少ない商品の購入

☐ フェアトレード製品の購入

☐ 寄付付き商品（売上金の一部が寄付される商品）の購入

☐ 地元で生産された食品や製品の購入

☐ 食品ロス（本来食べられるのに捨てられてしまう食品）の削減

☐ 福祉作業所製品の購入

☐ 被災地や風評被害で困っている地域の食品や製品の購入

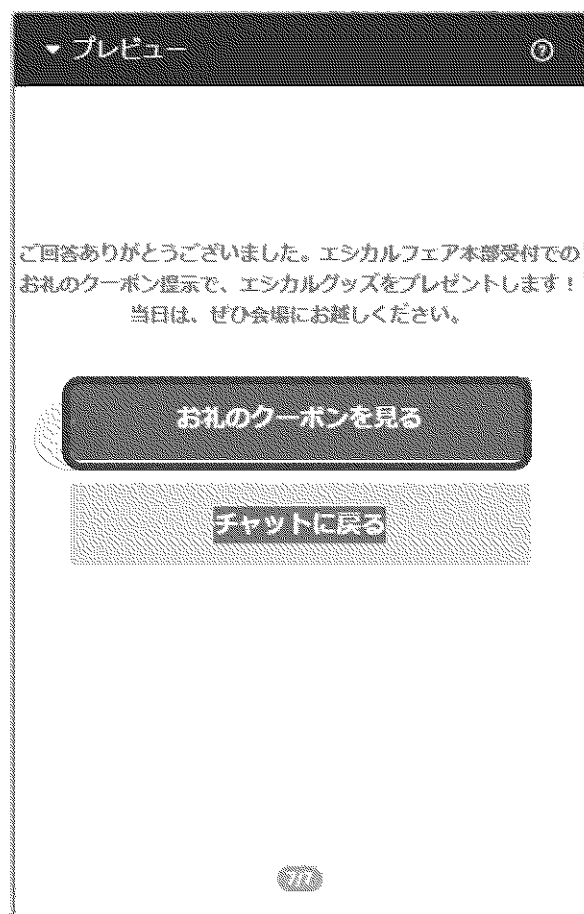
☐ 新型コロナウイルス感染症など社会情勢による影響を受けている事業者や生産者による商品の購入

☐ 特にない

5/7

クーポン機能を使用してアンケート回答特典を付けることも可能です。

【アンケート画面（クーポン）】



タップでクーポン表示

【クーポン画面】



LINEアンケート配信予定

実施日		テーマ	所管		担当者			担当	調整結果
月	日		局・室	課・係	名前	アドレス	電話番号		
4	5	クルーズ名古屋について	住宅都市局	名港開発振興課企画係	福澤	a2784@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp	3975		
	12	名古屋市議会議員選挙・愛知県議会議員選挙について	選挙管理委員会事務局	庶務係(啓発担当)	神谷	a3316@senkyokanri.city.nagoya.lg.jp	3316		
	19	雨水タンク、浸透雨水ますの設置助成について	環境局	地域環境対策課	清水、木村	a2675@kankyokvoku.city.nagoya.lg.jp	2675		
	26	地域防災活動におけるニーズについて	防災危機管理局	地域防災室地域防災係	丹羽	a3591@bosaikikikanri.city.nagoya.lg.jp	3591		
5	3	水防月間について	防災危機管理局	危機対策室危機対策係	望月	a3526@bosaikikikanri.city.nagoya.lg.jp	3526		
	10	なごやの農業について	緑政土木局	都市農業課農政係	西澤	a2461@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp	2463		
	17	水道週間について	上下水道局	広報サービス課	中村	cs@jogesuido.city.nagoya.lg.jp	3608		
	24	日光川公園の再整備について	緑政土木局	緑地利活用課	岩田	a2808@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp	2489		
	31	空き家問題について	スポーツ市民局	地域振興課地域コミュニティ係	川崎	a3130@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp	3126		
6	7	環境基本計画について	環境局	環境企画課環境企画係	南谷	a2661@kankyokvoku.city.nagoya.lg.jp	2661		
	14	南海トラフ地震臨時情報について	防災危機管理局	危機管理企画室企画係	黒田	a3523@bosaikikikanri.city.nagoya.lg.jp	3523		
	21	男女共同参画週間について	スポーツ市民局	男女平等参画推進室	宅間	a2233@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp	2234		
	28	児童虐待防止推進月間	子ども青少年局	子ども福祉課子ども福祉係	松本	a3979@kodomoseishonen.city.nagoya.lg.jp	3979		
7	5	大曽根地下施設について	住宅都市局	市街地整備課区画整理係	渡邊	a2765@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp	2757		
	12	なごやのおいしい水道水について	上下水道局	広報サービス課	中村	cs@jogesuido.city.nagoya.lg.jp	3608		
	19								
	26								
8	2								
	9	名古屋市多文化共生推進月間について	観光文化交流局	国際交流課推進係	堀部	a3061@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp			
	16								
	23								
	30								
9	6	災害時用チャットボット訓練について	スポーツ市民局	広聴課	羽田				
	13								
	20								
	27								

○ 令和5年度 市民意見の聴取等の今後の流れ（案）
 【紙媒体を郵送して実施した場合】

令和5年3月29日 副市長

区 分	内 容
令和4年度	3月 市民意見の聴取の準備 ・アンケート調査票の作成
令和5年度	4月6日 無作為抽出（5,000人）
	4月9日 市会議員選挙
	↓ 議員説明
	↓ バリアフリー検討会議WG
	市民意見の聴取 ・4月中旬 市民アンケート等送付 ・5月上旬 市民アンケート集計・分析 ・5月下旬 市民ミーティング
	↓ 6月上旬 バリアフリー検討会議（市長出席） ・市民意見の聴取の結果の検証及び意見交換
	↓ 6月上旬 市長からの指示・方針決定
	6月上旬 所管事務調査 ・バリアフリーを含めた整備基本計画について
	↓ 全体整備検討会議
	市民説明会 ↓ 文化庁へ提出

**名古屋城バリアフリーに関する
アンケートへのご協力のお願い**
調査票にご記入の上、5月　　日（　）までにご投函ください。

日ごろは、市政にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

名古屋城天守閣の整備におきましては、天守を木造復元する意義として、特別史跡名古屋城跡の本質的価値の向上とその理解の促進および魅力の向上を掲げており、「昭和実測図」をはじめ先人たちが遺してくれた豊富な史資料に基づき木造復元を進めています。調査研究に基づく「史実に忠実な復元」に最大限の意を用いつつ、バリアフリーへの対応をどうするかが課題となっていました。昨年度、「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」を実施し、最優秀者を決定したところで

す。

今回のアンケートは、復元する木造天守に最優秀者の昇降技術をどこまで設置するのか、また、名古屋城全体のバリアフリーに関して、市民のみなさまのご意見を頂戴し、その結果を踏まえて名古屋市の方針を決めていきたいと考えております。また、希望者のみなさまを対象に市民討論会を行い、ご意見を直接お伺いしたいと考えております。

趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

▼アンケートについてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

名古屋城事務所　　：〇〇

電話：(052) 231-2488　／ FAX：(052) 201-3646

問合せ時間：月曜日から金曜日の午前8時45分から午後5時30分まで（祝日を除く）

※FAX は常時受け付けておりますが、お電話でのお問い合わせにつきましては上記時間内とさせていただきますので、ご了承ください。

アンケート調査票

～ご記入にあたってのお願い～

- ◆アンケート調査票は**必ず封筒の宛名のご本人がご回答ください**。
(ご本人が記入できない時は、身近な方がご本人から聞き取り、ご記入ください)
- ◆同封されている「名古屋城バリアフリーに関する説明資料」をご覧ください、ご記入ください。
- ◆調査票及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。
また、切手を貼る必要もございません。
- ◆回答結果は、統計的な数値として集計する以外には使用しませんので、ご自身の率直なお考えやご意見をご記入ください。
- ◆ご記入いただきました**アンケート調査票**を同封の返信用封筒に入れ、
5月 日()【消印有効】までに、郵便ポストにご投函ください。

問1 過去に、何回名古屋城を訪れましたか？(1つに○)

- | | |
|------------------|----------|
| 1 1回 | 2 2回 |
| 3 3回以上(年____回程度) | 4 訪れていない |

問2 天守についてお聞きます。名古屋市が天守の木造復元を進めていることをご存じですか？(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 内容もよく知っている | 2 進めていることは知っている |
| 3 知らなかった | 4 興味がない |

問3 今まで、名古屋市が主催した名古屋城天守閣整備に関するタウンミーティングや市民説明会にご参加いただいたことがありますか？(1つに○)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 毎年参加している | 2 1回以上参加したことがある |
| 3 参加したことがない | |

以下の問4～8は、説明資料を読んでいただいたうえでご回答ください

問4 天守が木造復元されたら最上階まで登りたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 ぜひ登りたい | 2 どちらかといえば登りたい |
| 3 どちらかといえば登りたいと思わない | 4 登りたいと思わない |
| 5 (身体的理由などで) 登れない | |

問5 復元する木造天守の内部に公募により選定した最優秀者の昇降技術を設置することについてどう思いますか。資料1 1ページを見ながらご回答ください。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 設置することに賛成 | 2 設置することに反対 |
| 3 どちらでもない | |

問6 問5で1(設置することに賛成)と回答した人におうかがいします。公募により選定された最優秀者の昇降技術について、復元する木造天守の何階まで設置することがよいとお考えですか。資料1 3ページを見ながらご回答ください。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 1階まで | 2 2階まで |
| 3 3階まで | 4 4階まで |
| 5 5階まで(最上階) | 6 わからない・その他 |

問7 問5および問6のご回答にかかわらず、5階(最上階)までのバリアフリーとして、他にどのような方法を望まれますか。(自由回答)

--

問8 現在の園路等を含む名古屋城全体のバリアフリーについて、ご意見をお聞かせください。(自由回答)

--

あなたご自身について

問 9 あなたの年代をお答えください。(1 つに○)

- | | | | | |
|-------|---------|----------|-------|-------|
| 1 10代 | 2 20代 | 3 30代 | 4 40代 | 5 50代 |
| 6 60代 | 7 70代以上 | 8 答えたくない | | |

問 10 差し支えなければ、障害等の有無についてお答えください。(複数回答可)

- | | | |
|---------------------|-----------------|-----------|
| 1 特にない | 2 肢体不自由(車いすを使用) | |
| 3 肢体不自由(歩行困難・杖使用など) | | |
| 4 視覚障害 | 5 聴覚障害 | 6 言語障害 |
| 7 内部障害 | 8 知的障害 | 9 精神障害 |
| 10 発達障害 | 11 高次脳機能障害 | 12 難病 |
| 13 その他() | | 14 答えたくない |

問 11 ご家族に就学前のお子様はいらっしゃいますか。(1 つに○)

- | | | |
|------|-------|----------|
| 1 いる | 2 いない | 3 答えたくない |
|------|-------|----------|

【名古屋城について、ご意見等ご自由にお書きください】

ありがとうございました。

ご記入いただきました本冊子を同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

また、市民討論会への参加を希望される方は、参加申込書も返信用封筒に入れてください。

市民討論会に参加を希望される方へ

名古屋城バリアフリーに関する市民討論会

日時：令和5年5月27日（土） 00:00～00:00（予定）
 場所：（仮）名古屋国際センターホール（別棟）（名古屋市中村区那古野1丁目）
 内容：名古屋城バリアフリーに関する資料および市民アンケートの説明をした上で討論会を実施
 定員：100名程度

上記のように市民討論会を開催します。参加ご希望の方は、下の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、アンケート調査票と一緒に同封の返信用封筒にて、**5月 日（ ）【消印有効】**までにご投函ください。

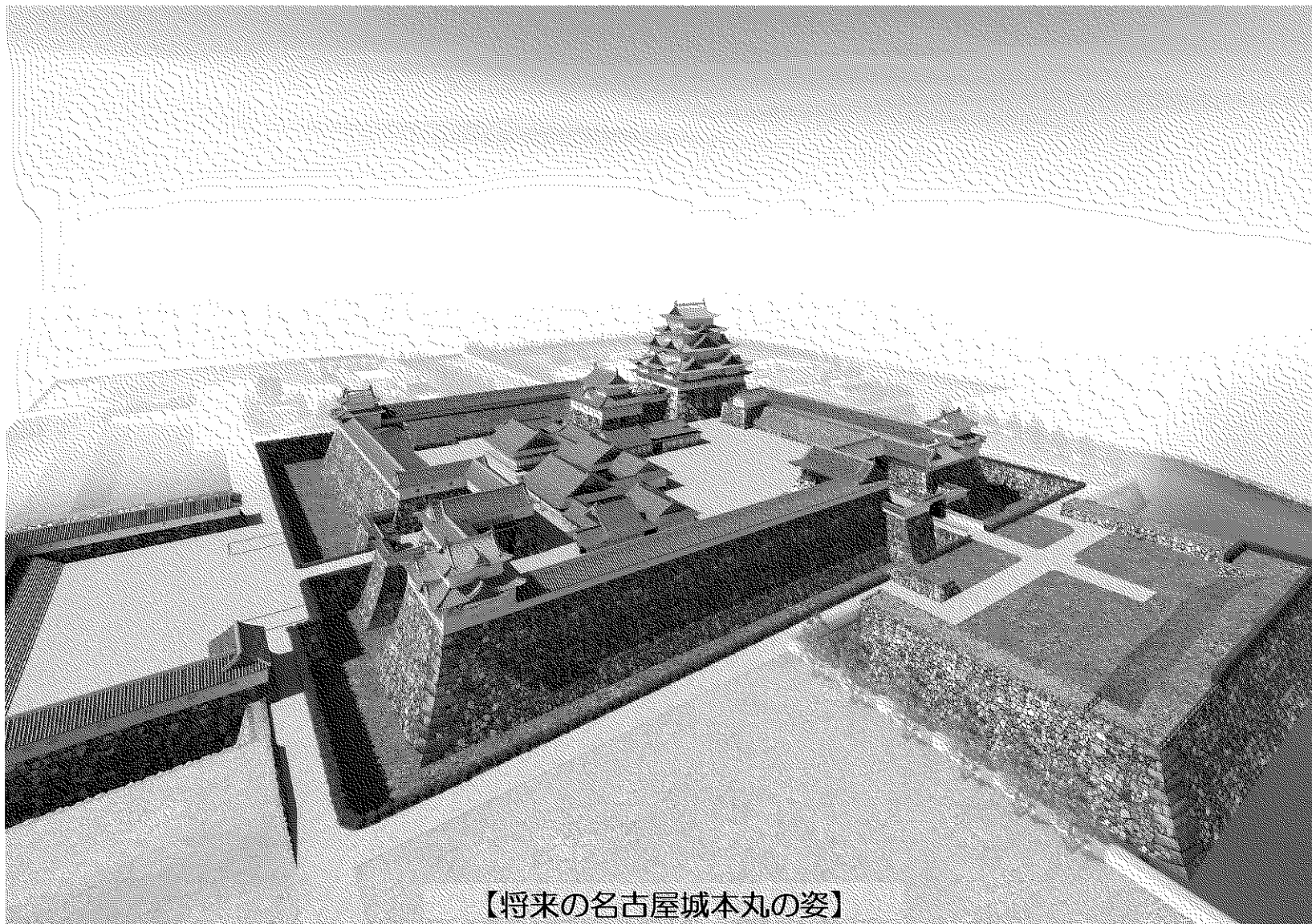
参加申込書を返信いただいた方が定員を超過した場合は、抽選させていただきます。抽選の結果は参加申込書をいただいた方全員にご連絡いたします。当日参加いただける方には、プログラムや会場案内などの資料も同封させていただきます。ぜひ、ご参加ください。

参加申込書

(ふりがな) おなまえ		
ご住所 (郵便物が届くよう 番地、建物名・号室など 全てご記入ください)	〒 ー 区 名古屋市 区	
ご職業	1 会社員・公務員（フルタイム） 3 アルバイト・パート 5 学生 7 その他（ ）	2 自営・自由業 4 家事専業 6 無職
参加動機		
これまでに市民参加型の会議に参加されたことがありますか。	1 名古屋城に関連した会議に参加したことがある 参加した時のテーマ（ ） 2 名古屋城関連以外の会議に参加したことがある 参加した時のテーマ（ ） 3 今回がはじめて 4 わからない	
参加にあたり、主催者に配慮してほしいことがございましたら、ご記入ください。（任意）		

「名古屋城バリアフリーに関する説明資料」

【5000人アンケート用】



【将来の名古屋城本丸の姿】

目次

1. 趣旨
2. 名古屋城天守木造復元の概要
 - ・ガラス乾板写真の往時の姿と将来の完成予想図
 - ・残された豊富な史資料
 - ・名古屋城天守の歩みと木造復元の進捗
 - ・現天守閣と復元天守の違い
 - ・復元天守の階段
3. 昇降技術の概要
 - ・昇降技術に関する公募の概要
 - ・最優秀者の技術紹介
4. 木造天守でのバリアフリー対応
 - ・内苑（地上）から大天守地階まで
5. 木造天守へ設置した場合の観覧計画
 - ・大天守1階までの場合
 - ・大天守5階までの想定
6. 名古屋城内のバリアフリーの現状

1. 趣旨

名古屋城天守は、1612 年に完成し1930 年（昭和5 年）に城郭建築として旧国宝第1 号に指定されましたが、1945 年（昭和20 年）に戦災により焼失しました。その後、1959 年に現在の鉄骨鉄筋コンクリート造で再建されましたが、半世紀以上が経過し、コンクリートの劣化や設備の老朽化、耐震性の確保等様々な問題が顕在化しています。

天守を木造により復元する名古屋城天守閣整備事業は、このような現天守閣の課題を解決するだけでなく、先人が残してくれた豊富な史資料を基に往時の姿に復元できることから、再度「国宝」になることを目指し、名古屋市民の誇りと言える名古屋城天守を実現していきたいと考えております。

その一方で、バリアフリーへの対応をどのように行っていくかは大きな課題であることから、2018年(平成30年)に本市が公表した「木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針」に基づき検討を進めてまいりました。昨年度(令和4年度)「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」を実施し、木造の柱・梁に影響を与えない、かつ、取り外し可能な技術を国際的に募集し最優秀者を決定したところです。

今回のアンケートは選定された最優秀者の昇降技術の詳細と木造天守に設置された場合にどのようなになるのか等の情報をお知らせし、みなさまのご意見をお伺いするものです。

趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

2. 名古屋城天守木造復元の概要

- ・ ガラス乾板写真の往時の姿と将来の完成予想図



(ガラス乾板写真)

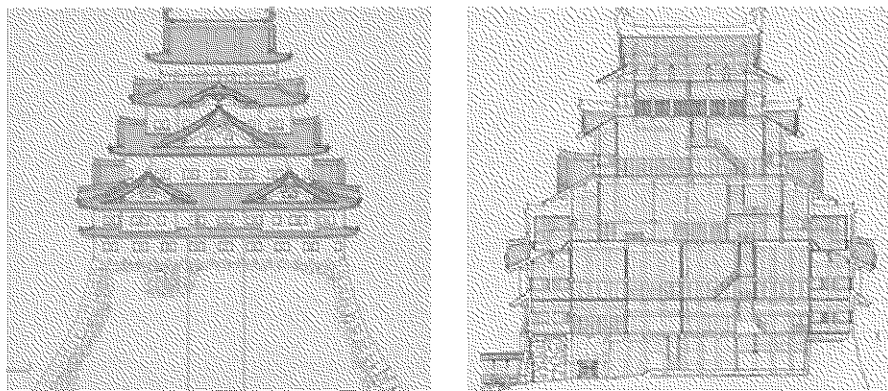
300年以上存続し旧国宝第1号
に指定された名古屋城天守の姿



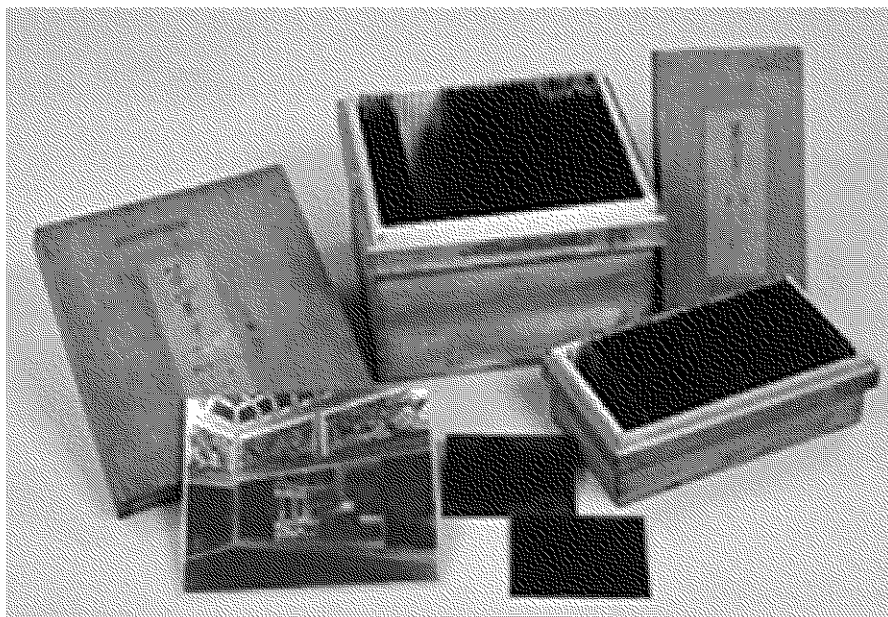
(竹中工務店作成完成予想図)

豊富な史資料と最新の技術により
木造復元する名古屋城天守の姿

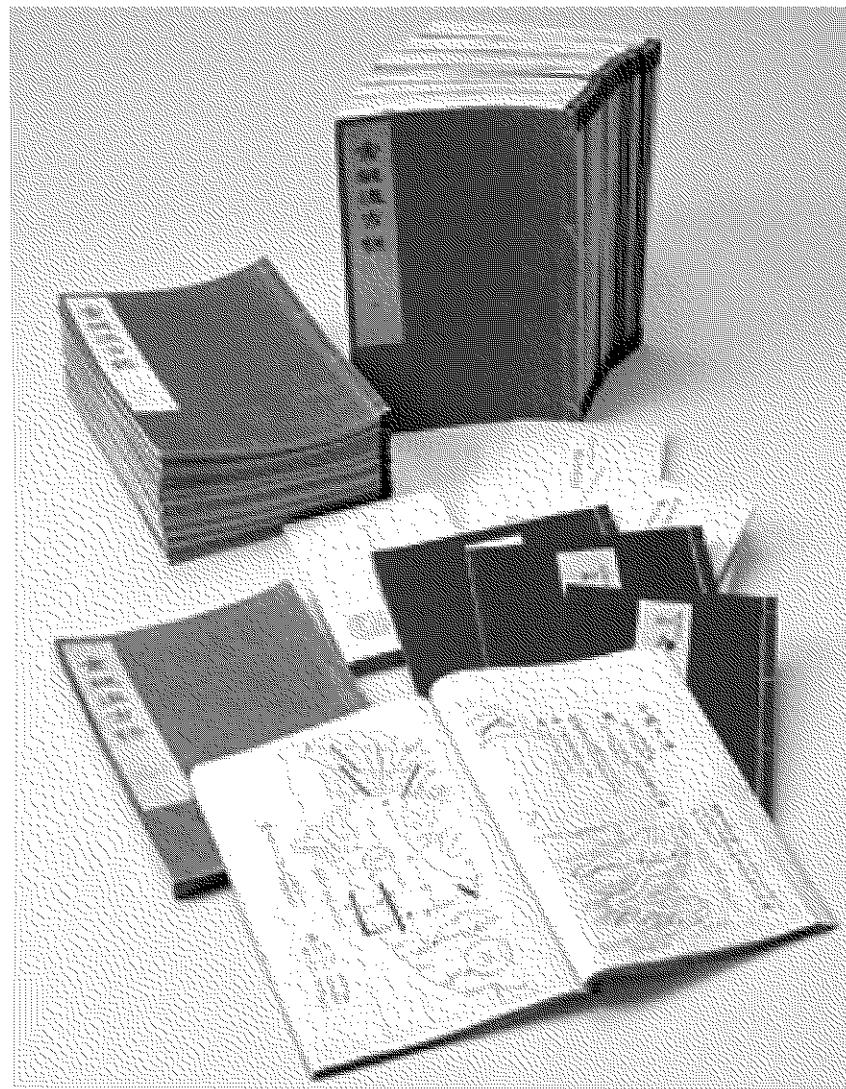
- 残された豊富な史資料



昭和実測図



ガラス乾板写真



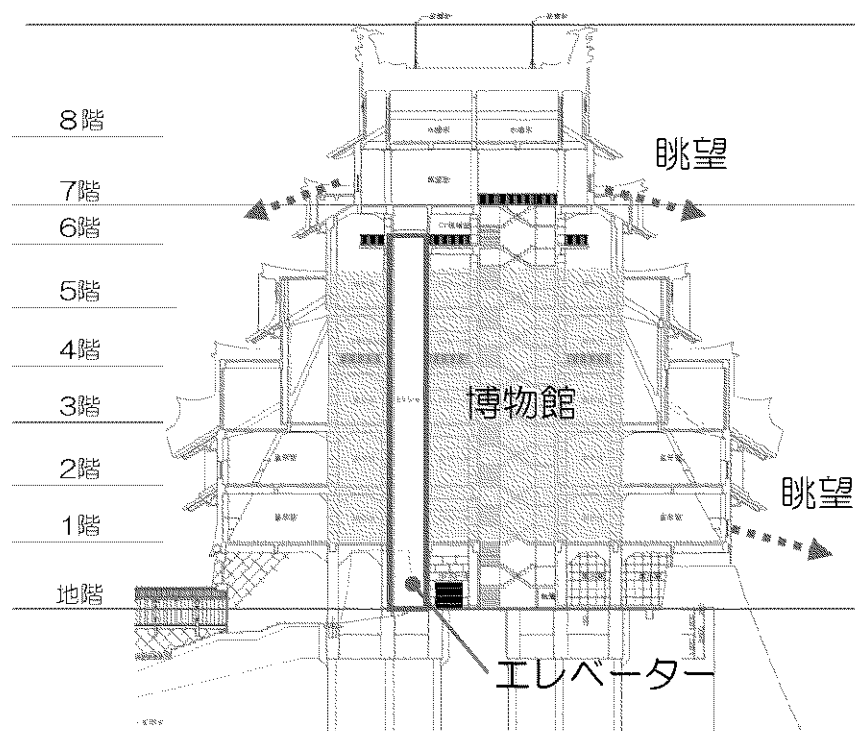
金城温古録

- ・名古屋城天守の歩みと木造復元事業の進捗

時 期		内 容
慶長15年	1610年	徳川家康の命により築城に着手
慶長17年	1612年	天守が完成
明治 5年	1872年	陸軍省の所管となる
明治26年	1893年	宮内省に移管され名古屋離宮となる
昭和 5年	1930年	宮内省から名古屋市に名古屋城を下賜 天守等が城郭として国宝第1号に指定（旧国宝）
昭和 7年	1932年	名古屋城の実測調査開始（昭和27年に完成）
昭和20年	1945年	第二次大戦中の空襲により焼失
昭和34年	1959年	鉄筋コンクリート造天守閣再建
平成21年	2009年	本丸御殿復元に着手
平成27年	2015年	名古屋城天守閣整備事業公募型プロポーザル実施
平成29年	2017年	名古屋城天守閣整備事業着手
平成30年	2018年	本丸御殿が完成 現天守閣が耐震性能不足にて入場禁止
令和4年	2022年	名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募実施

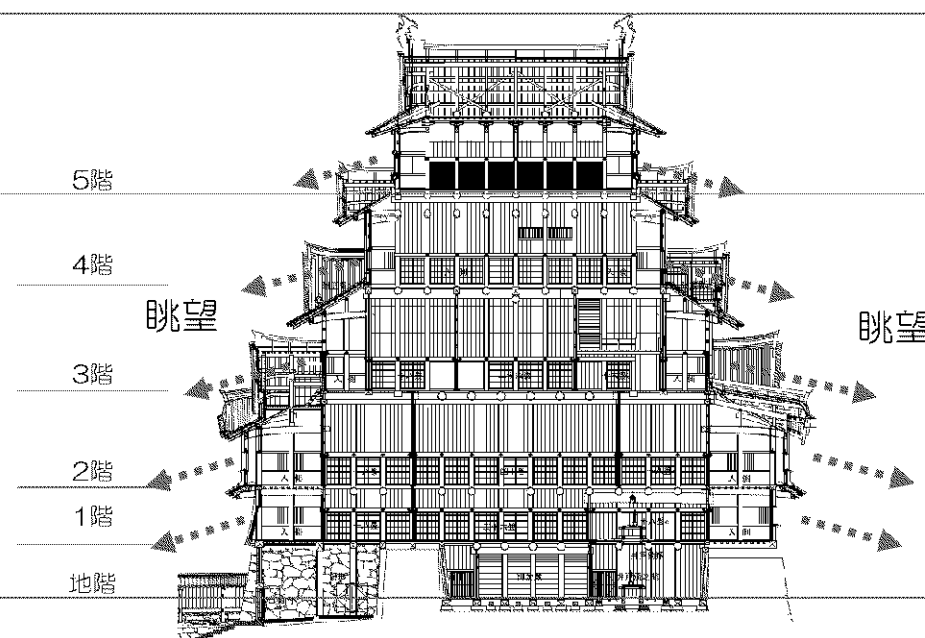
- 現天守閣と復元天守の違い

現天守閣
(鉄骨鉄筋コンクリート造)



- 内部は博物館
- 眺望は1階北側、東側と7階から
- 地階から5階までエレベーター設置

復元天守
(木造)



- 往時の姿を復元した内部空間
- 1～5階のすべての階から眺望

- ・復元天守の階段

地階から5階（最上階）まで階段の段数126段



「名古屋城木造天守閣階段体験館」
に設置されている実物大模型の階段
（木造天守の1階から2階の階段）



焼失した大天守の最上階の階段
（ガラス乾板写真）

3. 昇降技術の概要

• 昇降技術に関する公募の概要

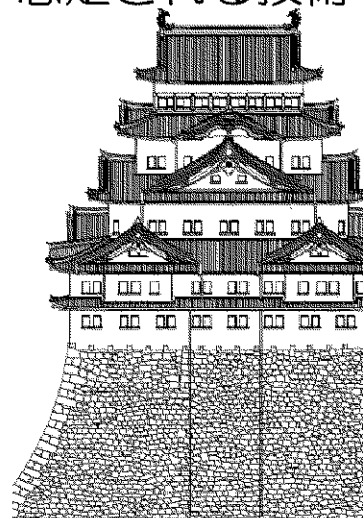
背景

- 名古屋城現天守閣は1959年再建以来老朽化など課題が顕在化
- 「名古屋城天守閣復元事業」で史実に忠実な復元により名古屋城の本質的価値の理解促進、観光面の魅力向上が可能
- 障害のある人もない人も共に文化財を楽しめるバリアフリーが重要

目的

- 史実に忠実に復元する木造天守に誰もが昇降できるように、昇降技術を世界中から募り実用化する
- 史実に忠実な復元とバリアフリーの両立を目指し、先進的なバリアフリー技術を名古屋から発信・展開する

想定される技術



5階	技術例： •大天守の内部を垂直に昇降する技術 •大天守の階段を直接昇降する技術 •外部から直接大天守1階以上に入城できる技術 等幅広く技術を募集
4階	
3階	
2階	
1階	
地階	地上から大天守地階までのバリアフリーは 木造天守復元の設計・施工者にて対応予定
地上	

3. 昇降技術の概要

• 昇降技術に関する公募の概要

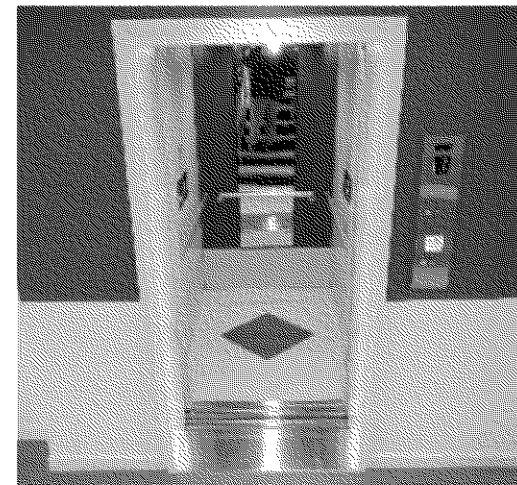
主な要求水準

区 分		主 な 内 容
バリアフリー	最低要求水準	• 少なくとも大天守1階に昇降ができること
	加点要求水準	• 利用対象者の範囲が広いこと • 誰もが簡単に使えること • 可能な限り健常者の移動と同じような時間で移動できること • 多人数による反復した利用が可能であること • 可能な限り健常者の移動経路を妨げず、共存した経路であること • 大天守のより上層階まで上がれること • 怖い思いをしないで利用できること • 他人の助けを借りることなく昇降ができること
史実に忠実	最低要求水準	• 柱や梁などの主架構を変更しないこと • 取り外すことにより、史実に忠実な状態に戻すことができる設置手法とすること
	加点要求水準	• 可能な限り木造天守の外観や内観をそこなわないこと • 木造天守に使用されている木材を保護すること

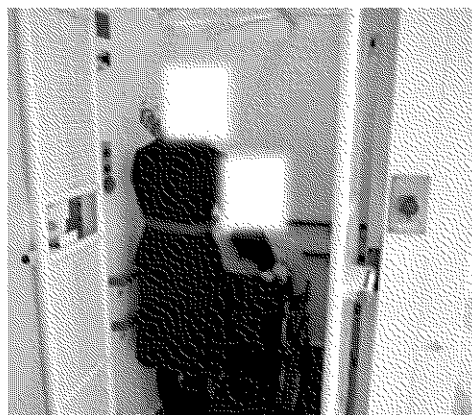
• 最優秀者の技術紹介

最優秀者 ———
株式会社MHIエアロスペースプロダクション

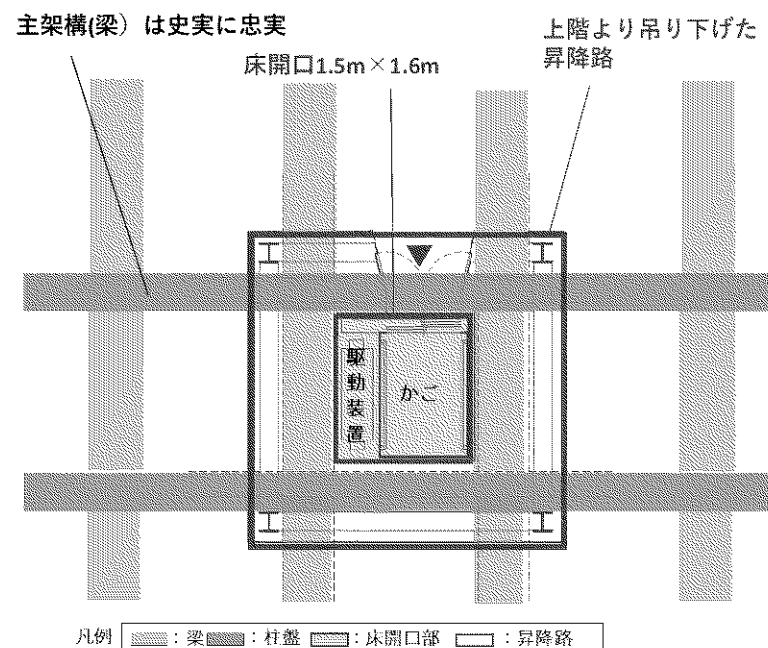
- 1階ずつ昇降する技術
- 復元する木造天守の地震時等に大きく揺れるという課題に対応可能
- 定員4名または車いす利用者1名と介助者1名が搭乗可能
- 木造の柱・梁を取り除かずに設置可能
- 取り外して、床板を取り付けるだけで元の姿に戻すことが可能
- 船舶に使用している技術を応用し、名古屋城天守に設置できるよう開発



船舶への導入実績



航空機搭乗機材への導入実績



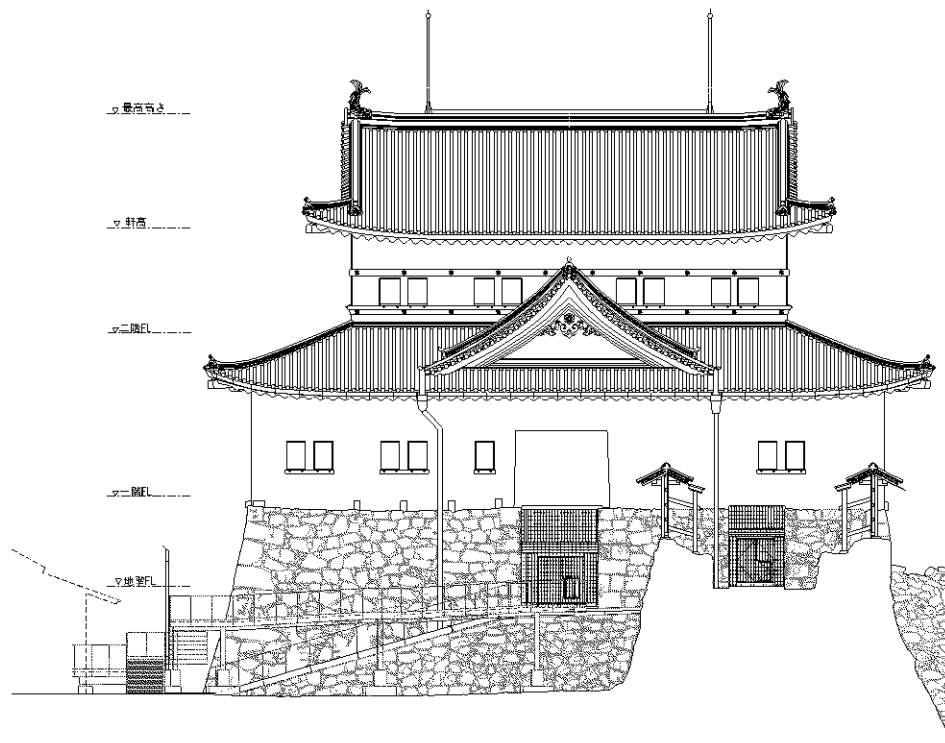
昇降装置の設置案

4. 木造天守でのバリアフリー対応

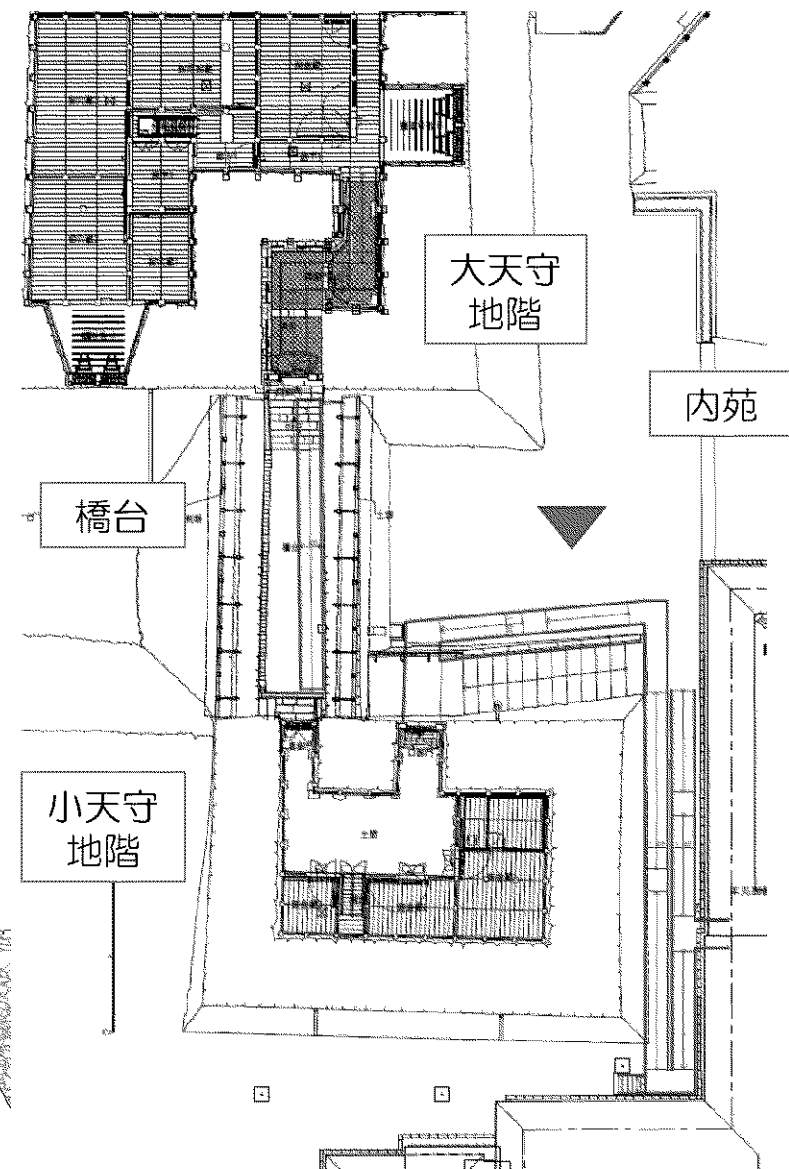
- ・内苑（地上）から大天守地階まで

内苑（地上）より小天守地階を通り、橋台から大天守地階までスロープ設置

（完成公開時の利用のしやすさや、大天守側の景観への影響など、多方面から検討したうえでの案）



小天守を北面より見る （ ▼ より見る）



内苑から大天守地階までのスロープ

5. 木造天守へ設置した場合の観覧計画 ・大天守1階までの場合

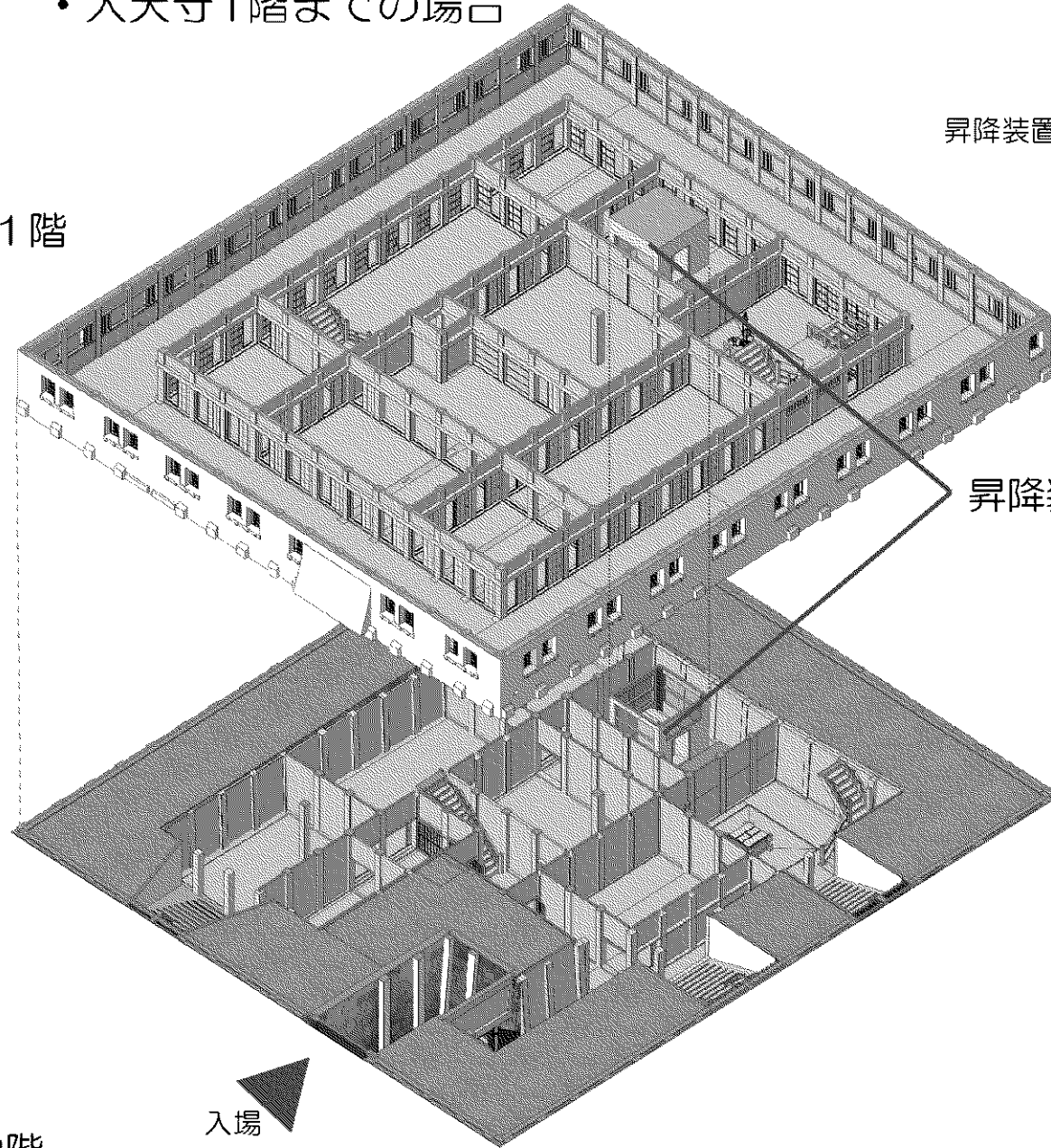
昇降装置のイメージは現時点での想定となります。

1階

昇降装置

地階

入場



「名古屋城バリアフリーに関する説明資料」 (参考資料) 【5000人アンケート用】



【将来の名古屋城本丸の姿】

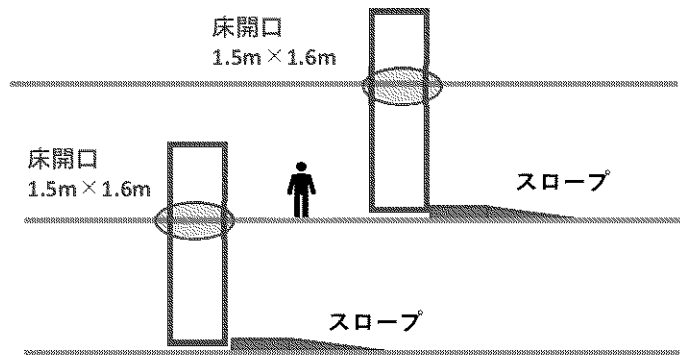
目次

1. 最優秀者の技術紹介
2. 内苑（地上）から大天守地階までのバリアフリー対応（再掲）
3. 大天守内部の観覧ルート
 - ・大天守地階
 - ・大天守1階、2階
 - ・大天守3階、4階、5階
4. 名古屋城内のバリアフリーの現状

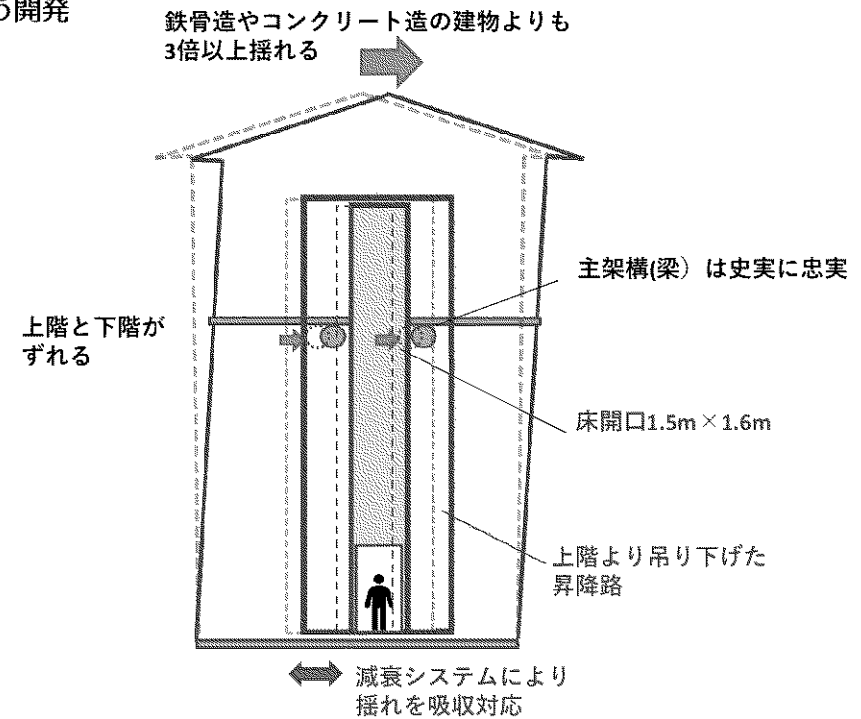
1. 最優秀者の技術紹介

最優秀者
株式会社MHIエアロスペースプロダクション

- 1階ずつ昇降する技術
- 復元する木造天守の地震時等に大きく揺れるという課題に対応可能
- 定員4名または車いす利用者1名と介助者1名が搭乗可能
- 木造の柱・梁を取り除かずに設置可能
- 取り外して、床板を取り付けるだけで元の姿に戻すことが可能
- 船舶に使用している技術を応用し、名古屋城天守に設置できるよう開発



1階ずつ昇降する技術の考え

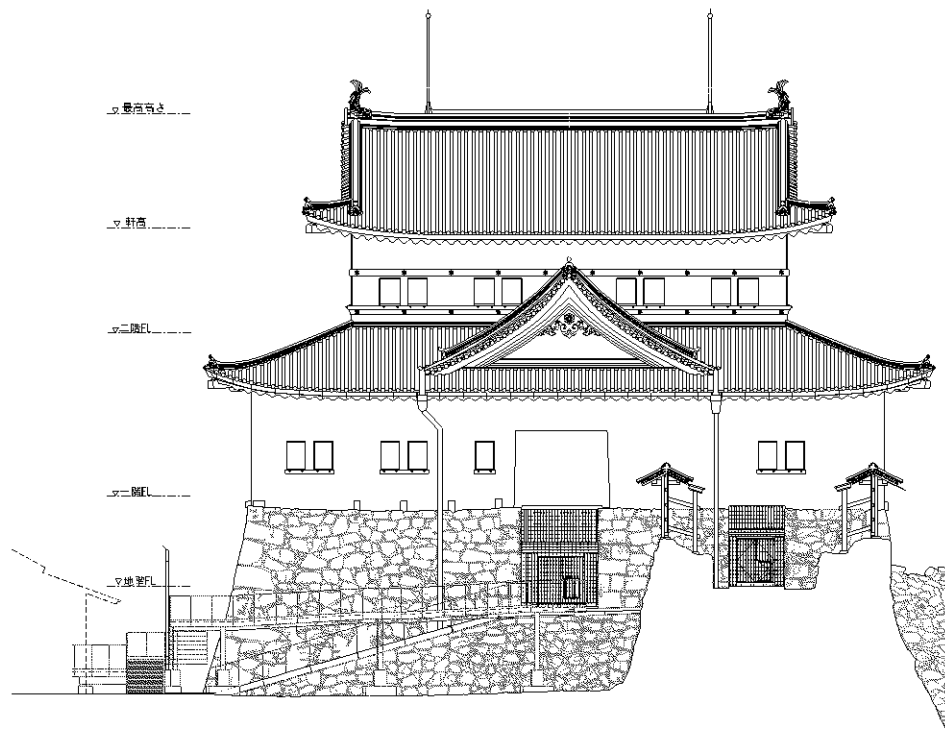


地震による木造天守の変形への対応

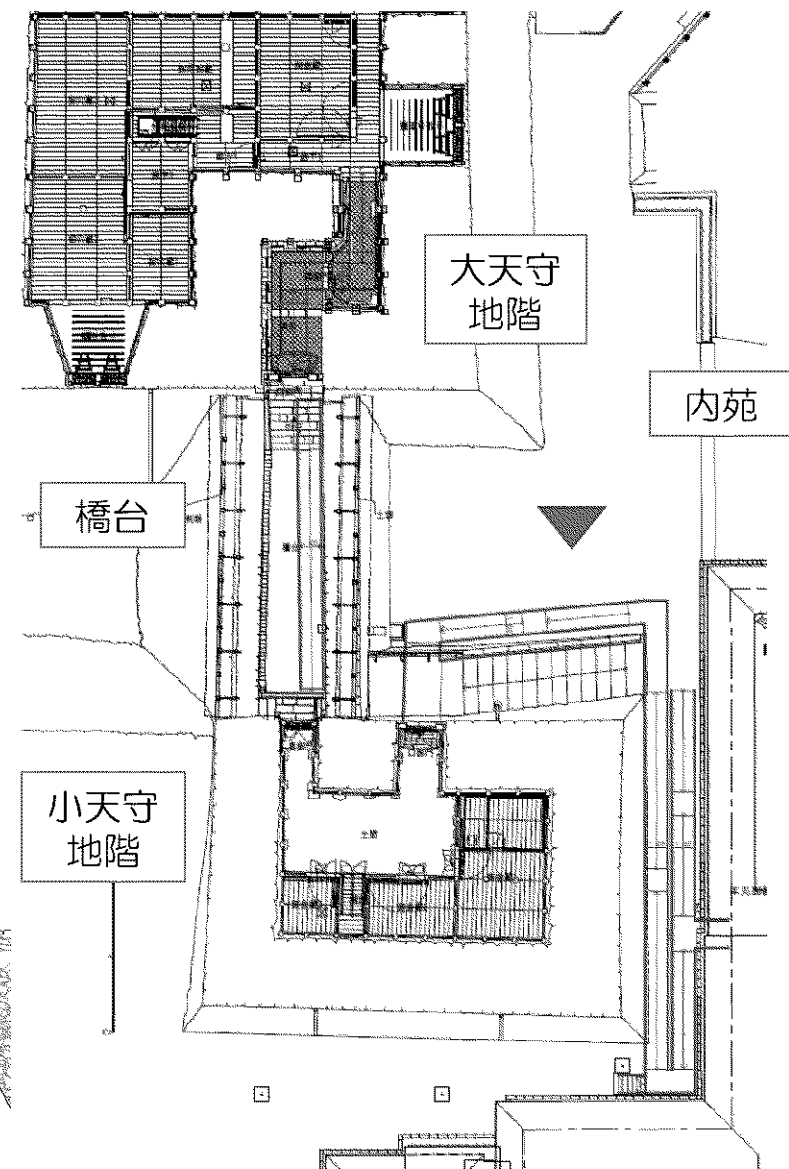
2. 内苑（地上）から大天守地階までのバリアフリー対応（再掲）

内苑（地上）より小天守地階を通り、橋台から大天守地階までスロープ設置

（完成公開時の利用のしやすさや、大天守側の景観への影響など、多方面から検討したうえでの案）



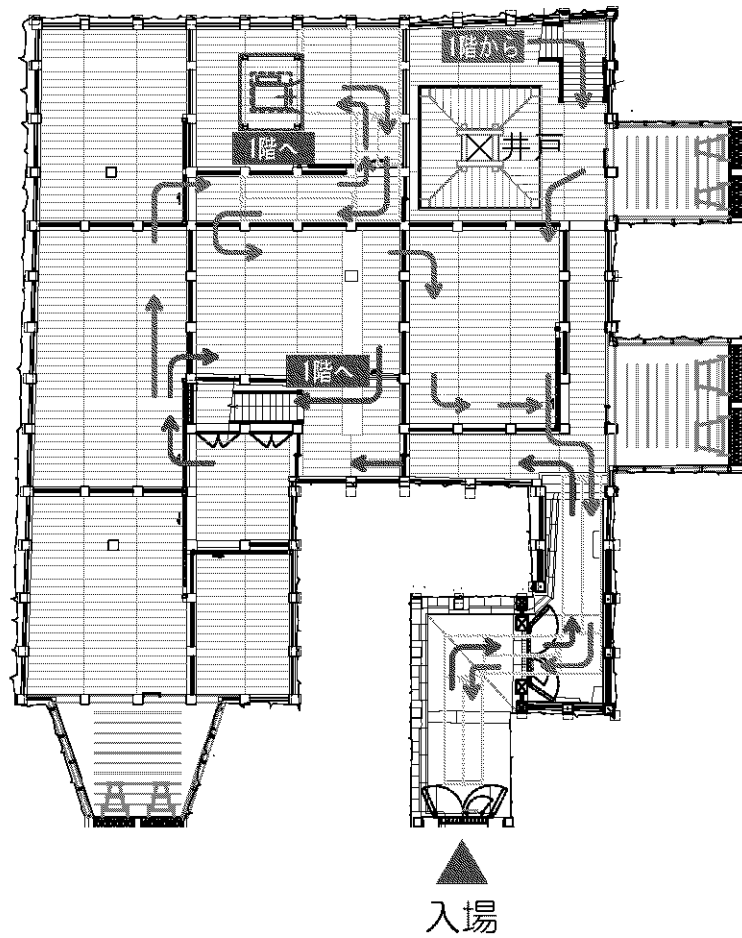
小天守を北面より見る （ ▼ より見る）



内苑から大天守地階までのスロープ

3. 大天守内部の観覧ルート

- ・大天守地階



凡例

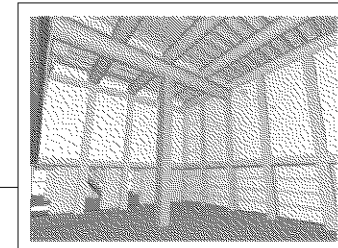
- 一般利用動線（登り）
- - - 一般利用動線（降り）
- 昇降設備利用動線

地階 観覧計画

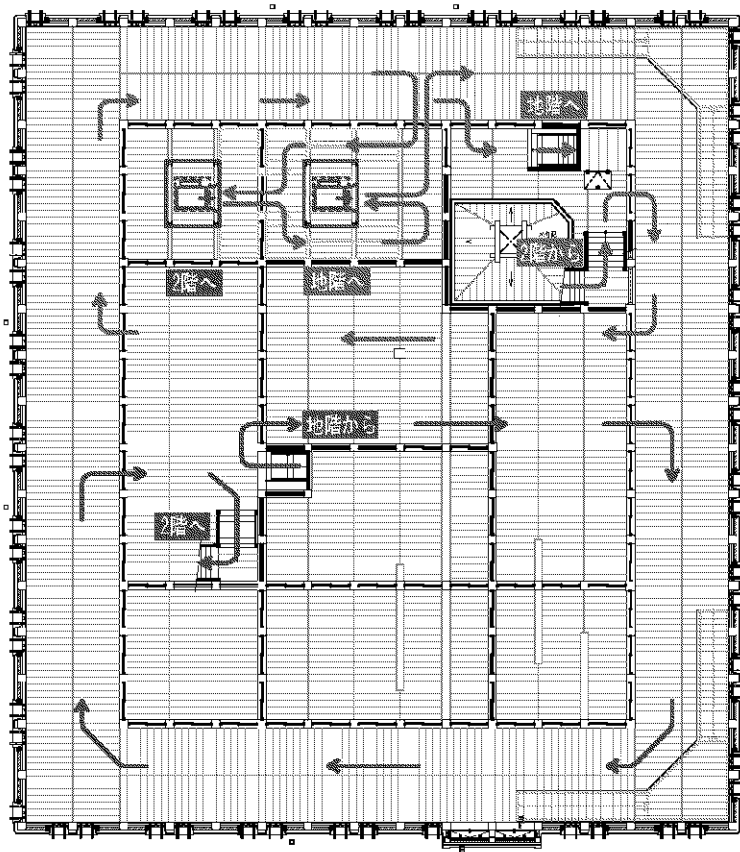
3. 大天守内部の観覧ルート

- ・大天守1階、2階

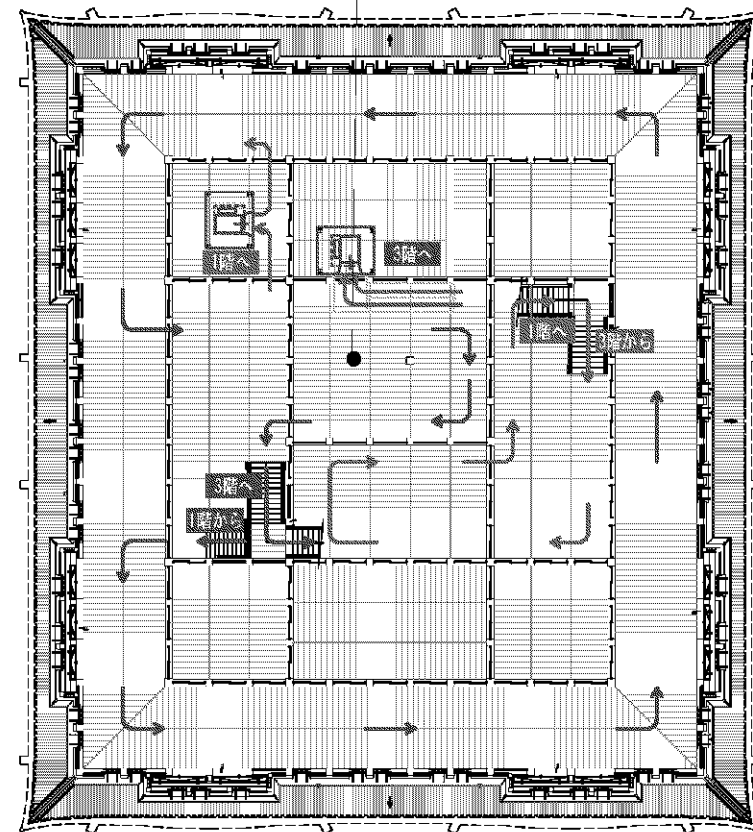
昇降装置のイメージは現時点での想定となります。



天守最長の松梁



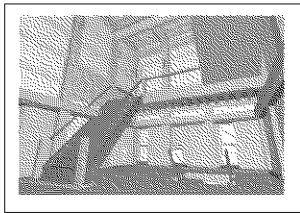
1階 観覧計画



2階 観覧計画

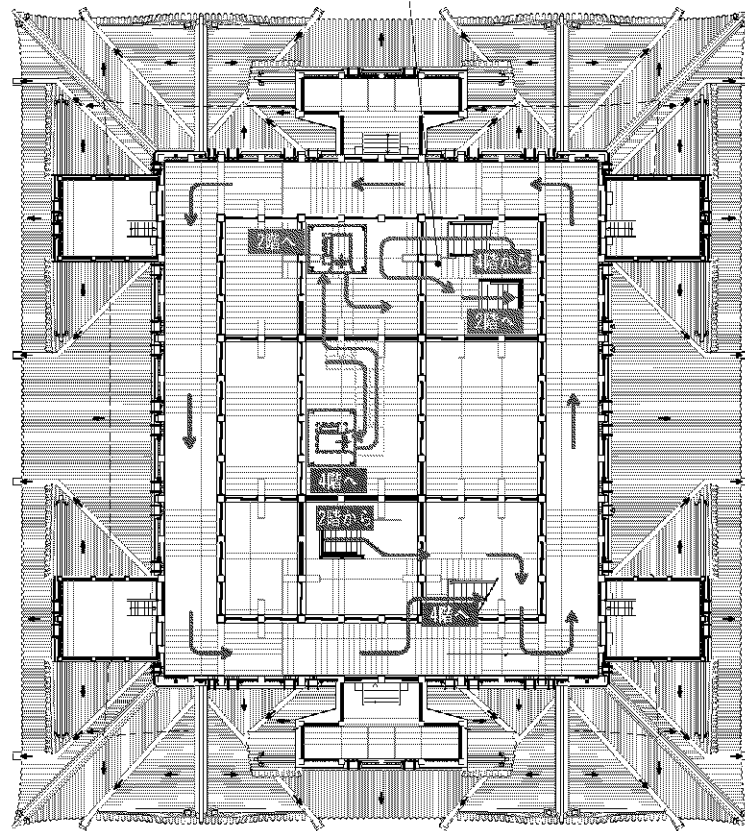
3. 大天守内部の観覧ルート

- ・大天守3階、4階、5階

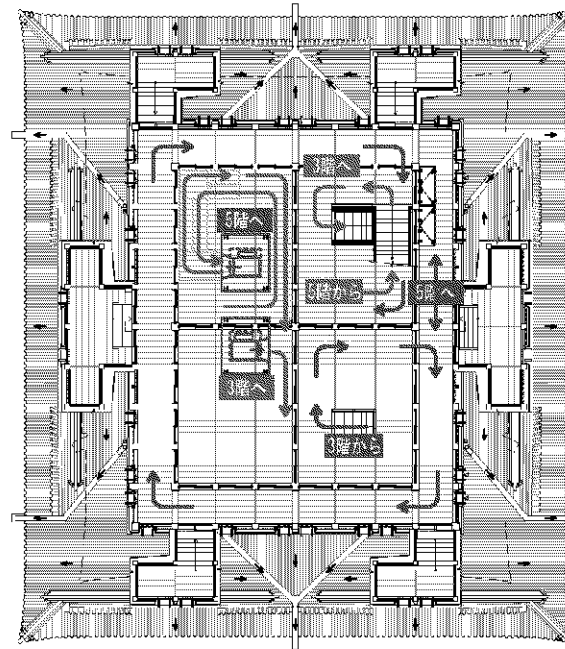


表階段

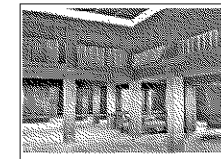
昇降装置のイメージは現時点での想定となります。



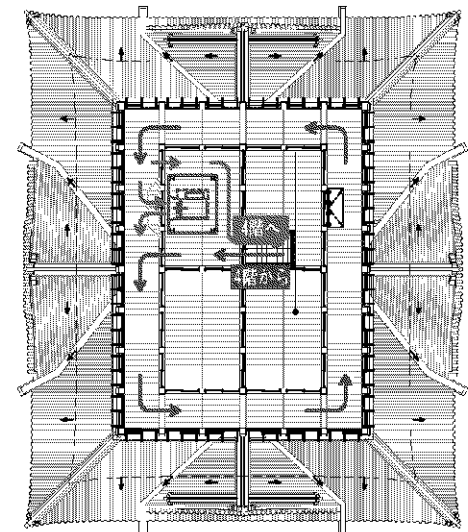
3階 観覧計画



4階 観覧計画



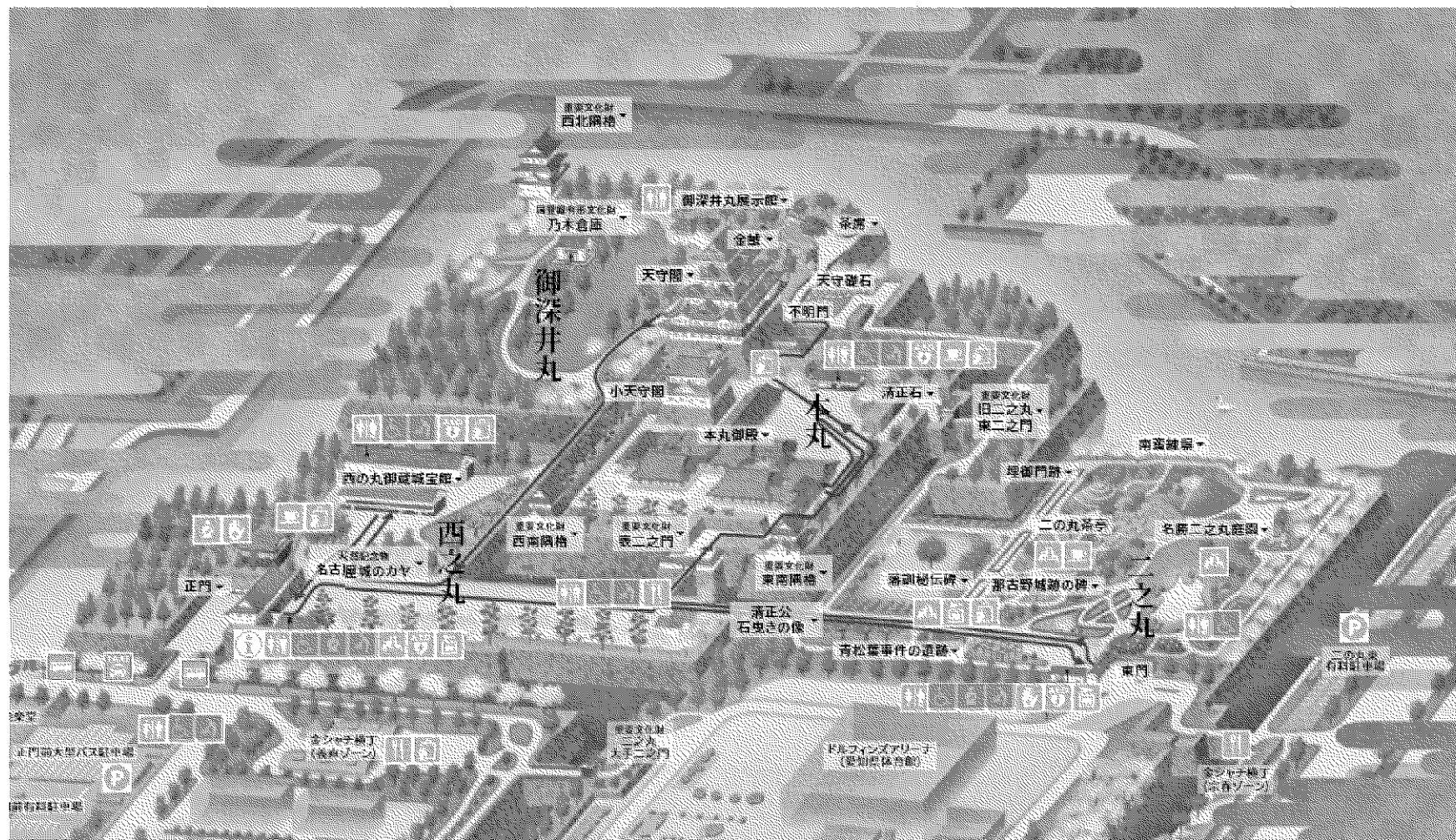
二之間



5階 観覧計画

4. 名古屋城内のバリアフリーの現状

名古屋城内では、バリアフリー対応トイレの設置や本丸御殿にスロープを設置するなどバリアフリーに配慮した計画を進めています。城内のバリアフリーの状況を整理し、バリアフリーのルートやトイレを記したマップを作成しています。



← バリアフリーの観覧ルート

バリアフリー対応トイレ

○ 令和5年度 市民意見の聴取等の今後の流れ（案）

令和5年3月30日 市長

区 分	内 容
令和4年度	3月 市民意見の聴取の準備 ・アンケート調査票の作成
令和5年度	4月6日 無作為抽出（5,000人）
	4月9日 市会議員選挙
	↓ 議員説明 バリアフリー検討会議WG
	市民意見の聴取 ・4月中旬 市民アンケート等送付 ・5月上旬 市民アンケート集計・分析 ・5月下旬 市民討論会（市長出席）
	↓
	6月上旬 バリアフリー検討会議（市長出席） ・市民意見の聴取の結果の検証及び意見交換
	↓
	6月上旬 市長からの指示・方針決定
	6月上旬 所管事務調査 ・バリアフリーを含めた整備基本計画について
	↓ 全体整備検討会議
	市民等への説明
	↓
	文化庁へ提出

**名古屋城バリアフリーに関する
アンケートへのご協力のお願い**
調査票にご記入の上、5月　　日（　）までにご投函ください。

日ごろは、市政にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

名古屋城天守閣の整備におきましては、天守を木造復元する意義として、特別史跡名古屋城跡の本質的価値の向上とその理解の促進および魅力の向上を掲げており、「金^{きん}城^{じょう}温^{おん}古^こ録^{ろく}」、「ガラ^{かん}ス^{ばん}乾^{しゃ}板^{しん}写真^{しん}」、「昭^{しょう}和^わ実^じ測^{そく}図^ず」など先人たちが残してくれた豊富な史資料に基づき木造復元を進めています。調査研究に基づく「史実に忠実な復元」に最大限配慮しながら、バリアフリーへの対応をどうするかが課題となっていました。昨年度、「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」を実施し、最優秀者を決定したところです。

今回のアンケートは、復元する木造天守に最優秀者の昇降技術をどこまで設置するのか、また、名古屋城全体のバリアフリーに関して、市民のみなさまのご意見を頂戴し、その結果を踏まえて名古屋市の方針を決めていきたいと考えております。また、希望者のみなさまを対象に市民討論会を行い、ご意見を直接お伺いしたいと考えております。

趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

▼アンケートについてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所　担当：加治屋、坂田

電話：(052) 231-2488　／ FAX：(052) 201-3646

問合せ時間：月曜日から金曜日の午前8時45分から午後5時30分まで（祝日を除く）

※FAX は常時受け付けておりますが、お電話でのお問い合わせにつきましては上記時間内とさせていただきますので、ご了承ください。

アンケート調査票

～ご記入にあたってのお願い～

- ◆アンケート調査票は**必ず封筒の宛名のご本人がご回答ください**。
(ご本人が記入できない時は、身近な方がご本人から聞き取り、ご記入ください)
- ◆同封されている「名古屋城バリアフリーに関する説明資料」をご覧ください、ご記入ください。
- ◆調査票及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。
また、切手を貼る必要もございません。
- ◆回答結果は、統計的な数値として集計する以外には使用しませんので、ご自身の率直なお考えやご意見をご記入ください。
- ◆ご記入いただきました**アンケート調査票**を同封の返信用封筒に入れ、
5月 日()【消印有効】までに、郵便ポストにご投函ください。

問1 過去に、何回名古屋城を訪れましたか？(1つに○)

- | | |
|------------------|----------|
| 1 1回 | 2 2回 |
| 3 3回以上(年____回程度) | 4 訪れていない |

問2 天守についてお聞きします。名古屋市が天守の木造復元を進めていることをご存じですか？(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 内容もよく知っている | 2 進めていることは知っている |
| 3 知らなかった | 4 興味がない |

問3 今まで、名古屋市が主催した名古屋城天守閣整備に関するタウンミーティングや市民説明会にご参加いただいたことがありますか？(1つに○)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1 毎年参加している | 2 1回以上参加したことがある |
| 3 参加したことがない | |

以下の問4～8は、説明資料を読んでいただいたうえでご回答ください

問4 天守が木造復元されたら最上階まで登りたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 ぜひ登りたい | 2 どちらかといえば登りたい |
| 3 どちらかといえば登りたいと思わない | 4 登りたいと思わない |
| 5 (身体的理由などで) 登れない | |

問5 復元する木造天守の内部に公募により選定した最優秀者の昇降技術を設置することについてどう思いますか。資料1 1ページを見ながらご回答ください。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 設置することに賛成 | 2 設置することに反対 |
| 3 どちらでもない | |

問6 問5で1(設置することに賛成)と回答した人におうかがいします。公募により選定された最優秀者の昇降技術について、復元する木造天守の何階まで設置することがよいとお考えですか。資料1 3ページを見ながらご回答ください。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 1階まで | 2 2階まで |
| 3 3階まで | 4 4階まで |
| 5 5階まで(最上階) | 6 わからない・その他 |

問7 問5および問6のご回答にかかわらず、5階(最上階)までのバリアフリーとして、他にどのような方法を望まれますか。(自由回答)

--

問8 現在の園路等を含む名古屋城全体のバリアフリーについて、ご意見をお聞かせください。(自由回答)

--

あなたご自身について

問 9 あなたの年代をお答えください。(1 つに○)

- | | | | | |
|-------|---------|----------|-------|-------|
| 1 10代 | 2 20代 | 3 30代 | 4 40代 | 5 50代 |
| 6 60代 | 7 70代以上 | 8 答えたくない | | |

問 10 差し支えなければ、障害等の有無についてお答えください。(複数回答可)

- | | | |
|---------------------|-----------------|-----------|
| 1 特にない | 2 肢体不自由(車いすを使用) | |
| 3 肢体不自由(歩行困難・杖使用など) | | |
| 4 視覚障害 | 5 聴覚障害 | 6 言語障害 |
| 7 内部障害 | 8 知的障害 | 9 精神障害 |
| 10 発達障害 | 11 高次脳機能障害 | 12 難病 |
| 13 その他() | | 14 答えたくない |

問 11 ご家族に就学前のお子様はいらっしゃいますか。(1 つに○)

- | | | |
|------|-------|----------|
| 1 いる | 2 いない | 3 答えたくない |
|------|-------|----------|

【名古屋城について、ご意見等ご自由にお書きください】

ありがとうございました。

ご記入いただきました本冊子を同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。

また、市民討論会への参加を希望される方は、参加申込書も返信用封筒に入れてください。

市民討論会に参加を希望される方へ

名古屋城バリアフリーに関する市民討論会

日時：令和5年5月27日（土） 13:30～15:30（予定）
場所：（仮）名古屋国際センターホール（別棟）（名古屋市中村区那古野1丁目）
内容：名古屋城バリアフリーに関する資料および市民アンケートの説明をした上で
討論会を実施
定員：100名程度

上記のように市民討論会を開催します。参加ご希望の方は、下の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、アンケート調査票と一緒に同封の返信用封筒にて、**5月 日（ ）【消印有効】**までにご投函ください。

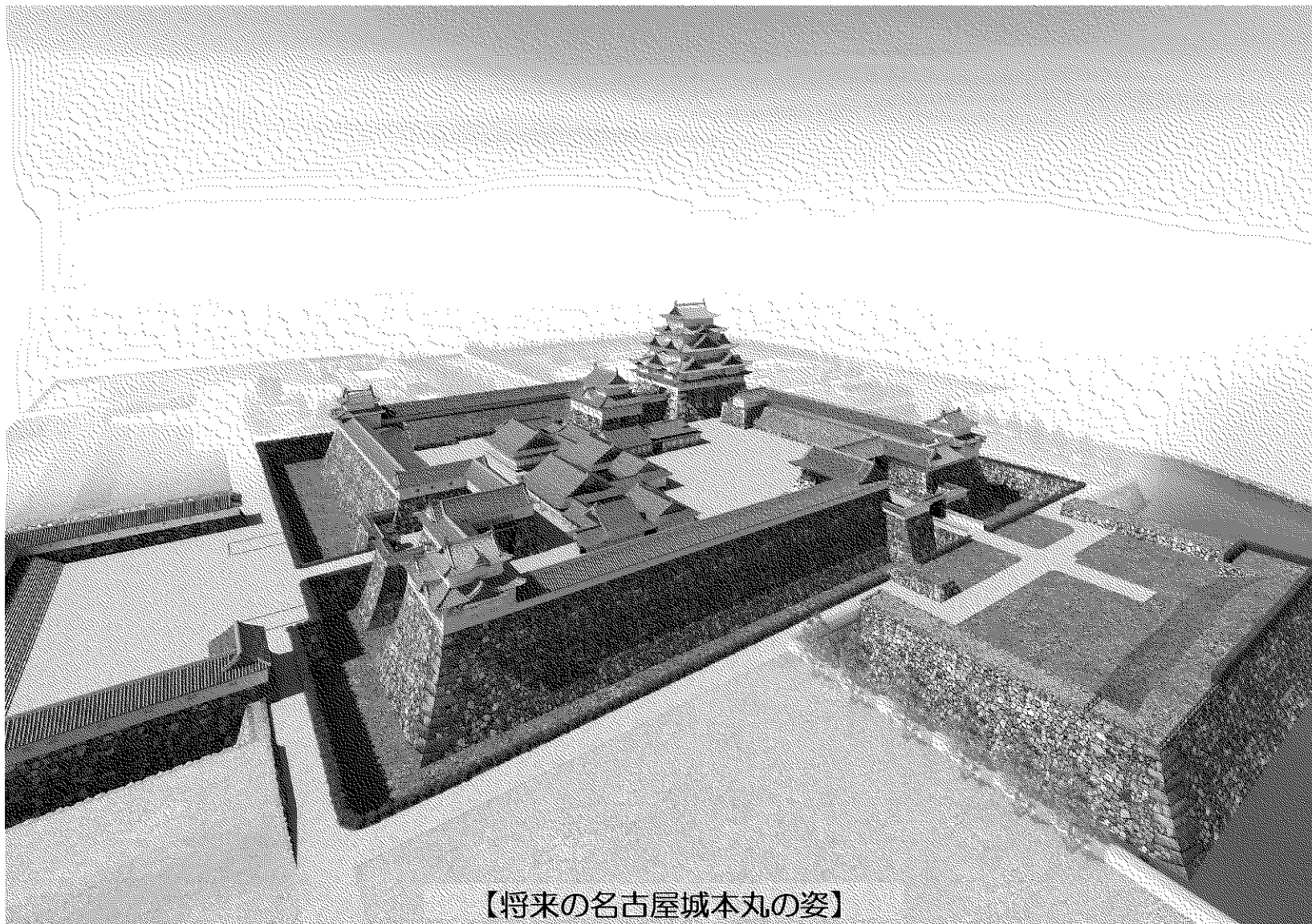
参加申込書を返信いただいた方が定員を超過した場合は、抽選させていただきます。抽選の結果は参加申込書をいただいた方全員にご連絡いたします。当日参加いただける方には、プログラムや会場案内などの資料も同封させていただきます。ぜひ、ご参加ください。

参加申込書

(ふりがな) おなまえ	
ご住所 (郵便物が届くよう 番地、建物名・号室など 全てご記入ください)	〒 ー 名古屋市 区
参加動機	
これまでに市民参加型の会議に参加されたことがありますか。	1 名古屋城に関連した会議に参加したことがある 参加した時のテーマ () 2 名古屋城関連以外の会議に参加したことがある 参加した時のテーマ () 3 今回がはじめて 4 わからない
参加にあたり、主催者に配慮してほしいことがございましたら、ご記入ください。(任意)	

「名古屋城バリアフリーに関する説明資料」

【アンケート調査用】



【将来の名古屋城本丸の姿】

目次

1. 趣旨
2. 名古屋城天守木造復元の概要
 - ・ ガラス乾板写真の往時の姿と完成予想図
 - ・ 残された豊富な史資料
 - ・ 名古屋城天守の歩み
 - ・ 現在の天守閣と復元する天守の違い
 - ・ 復元する天守の階段
3. 昇降技術の概要
 - ・ 昇降技術に関する公募の概要
 - ・ 導入する昇降技術の紹介
4. 復元する木造天守への昇降技術設置イメージ
 - ・ 大天守地階から大天守1階

1. 趣旨

名古屋城天守は、1612 年（慶長17年）に完成し1930 年（昭和5年）に城郭建築として**旧国宝第1号**に指定されましたが、1945 年（昭和20 年）に戦災により焼失しました。その後、1959 年（昭和34年）に現在の鉄骨鉄筋コンクリート造で再建されましたが、半世紀以上が経過し、コンクリートの劣化や設備の老朽化、耐震性の確保等様々な問題が顕在化しています。

天守を木造により復元する名古屋城天守閣整備事業は、このような現天守閣の課題を解決するだけでなく、**先人が残してくれた豊富な史資料を基に往時の姿に復元**できることから、**再度「国宝」**になることを目指し、**名古屋市民の誇り**と言える名古屋城天守を実現していきたいと考えております。

その一方で、バリアフリーへの対応をどのように行っていくかは大きな課題であることから、2018年(平成30年)に本市が公表した「木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針」に基づき検討を進めてまいりました。昨年度（令和4年度）「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募」を実施し、**木造の柱・梁に影響を与えない、かつ、取り外し可能**な技術を国際的に募集し最優秀者を決定したところです。

今回のアンケートは選定された最優秀者の昇降技術の詳細と木造天守に設置された場合にどのようなになるのか等の情報をお知らせし、みなさまのご意見をお伺いするものです。

趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

2. 名古屋城天守木造復元の概要

- ・ ガラス乾板写真の往時の姿と完成予想図



(ガラス乾板写真)

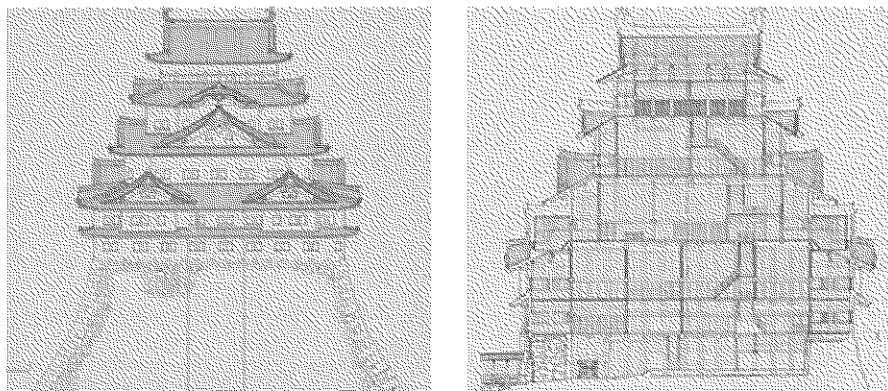
300年以上存続し**旧国宝第1号**
に指定された名古屋城天守の姿



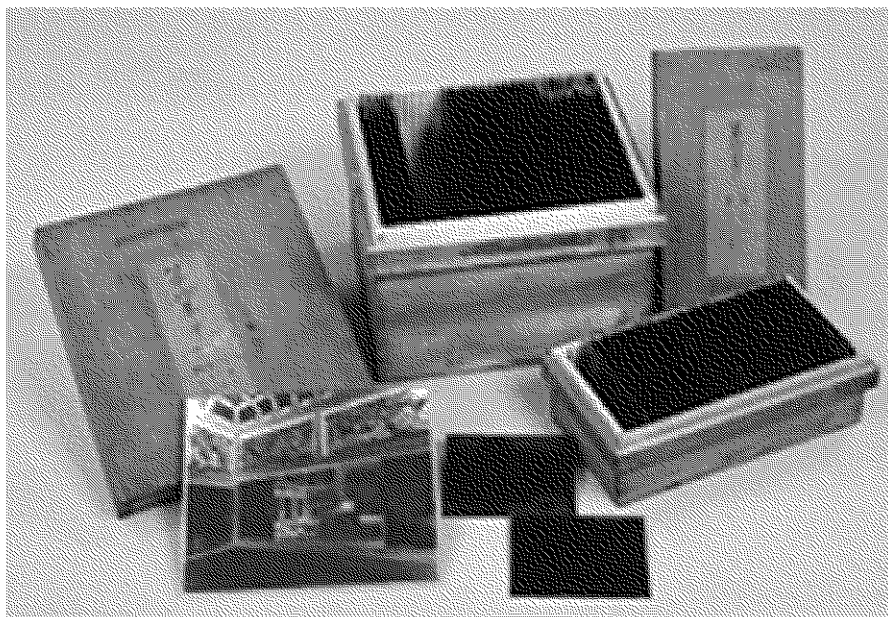
(竹中工務店作成完成予想図)

豊富な史資料と最新の技術により
史実に忠実な木造復元

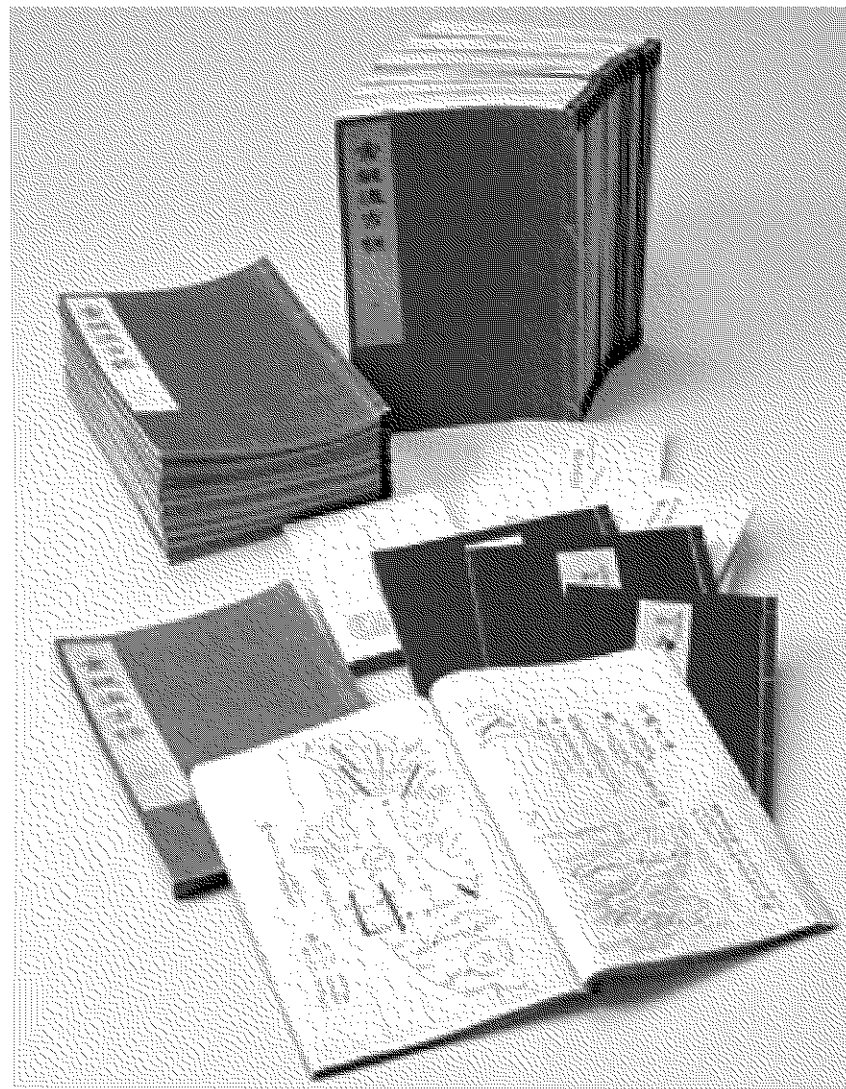
- 残された豊富な史資料



昭和実測図



ガラス乾板写真



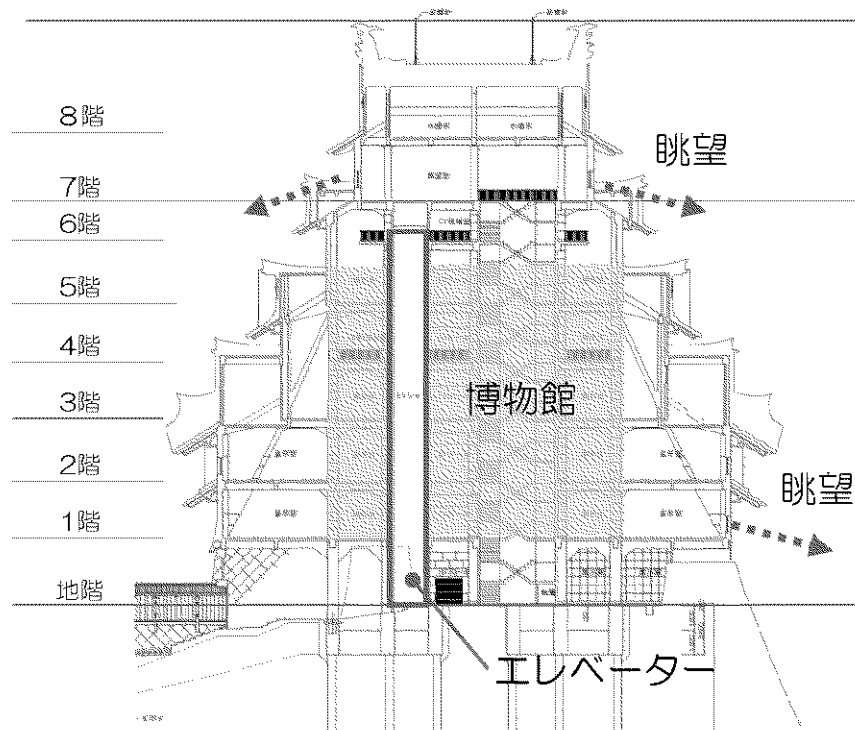
金城温古録

・名古屋城天守の歩み

時 期		内 容
慶長15年	1610年	徳川家康の命により築城に着手
慶長17年	1612年	天守が完成
明治 5年	1872年	陸軍省の所管となる
明治26年	1893年	宮内省に移管され名古屋離宮となる
昭和 5年	1930年	宮内省から名古屋市に名古屋城を下賜 天守等が城郭として国宝第1号に指定 (旧国宝)
昭和 7年	1932年	名古屋城の実測調査開始 (昭和27年(1952年)に「昭和実測図」が完成)
昭和20年	1945年	第二次大戦中の空襲により焼失
昭和34年	1959年	鉄筋コンクリート造天守閣再建
平成21年	2009年	本丸御殿復元に着手
平成30年	2018年	本丸御殿が完成

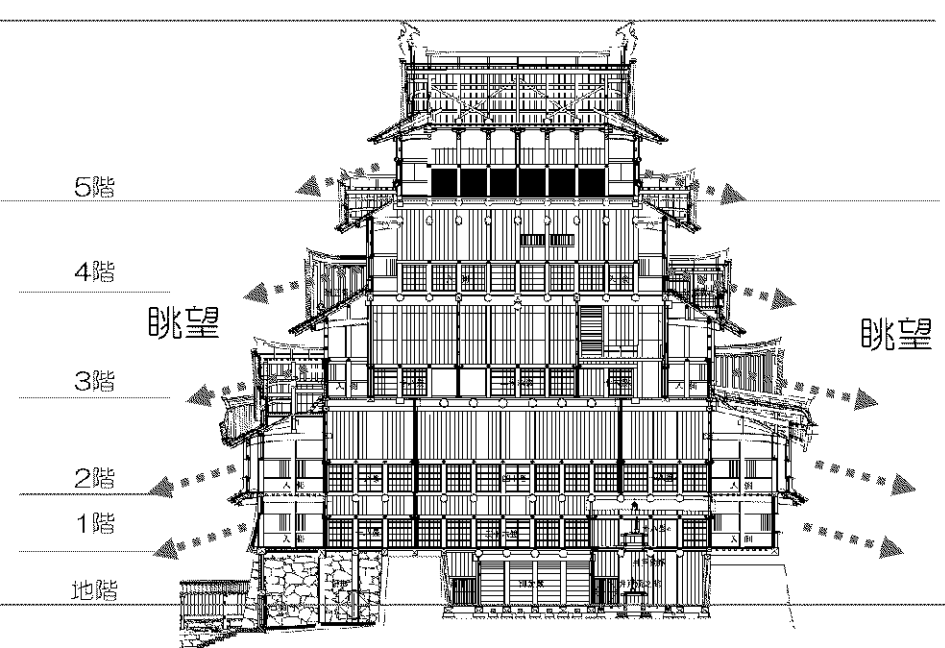
- 現在の天守閣と復元する天守の違い

現在の天守閣
(鉄骨鉄筋コンクリート造)



- 内部は博物館
- 眺望（外を見ることができるの）は
1階北側、東側と7階から
- 地階から5階までエレベーター設置

復元する天守
(木造)



- 往時の姿を復元した内部空間
- 1～5階のすべての階から眺望

- ・復元する天守の階段

地階から5階（最上階）まで階段の段数126段



「名古屋城木造天守閣階段体験館」
に設置されている実物大模型の階段
（木造天守の1階から2階の階段）

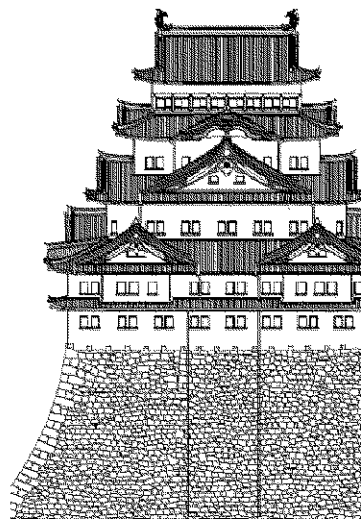


焼失した大天守の最上階の階段
（ガラス乾板写真）

3. 昇降技術の概要

• 昇降技術に関する公募の概要

想定される技術（公募資料より抜粋）



5階	技術例： •大天守の内部を垂直に昇降する技術 •大天守の階段を直接昇降する技術 •外部から直接大天守1階以上に入城できる技術 等 幅広く技術を募集
4階	
3階	
2階	
1階	
地階	地上から大天守地階までのバリアフリーは 株式会社竹中工務店にて対応予定
地上	

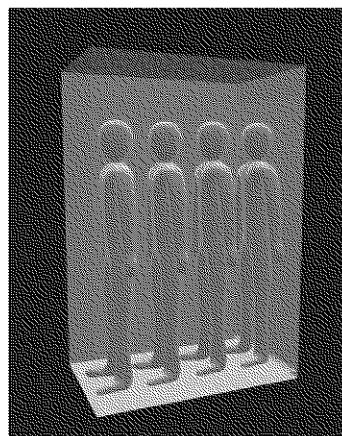
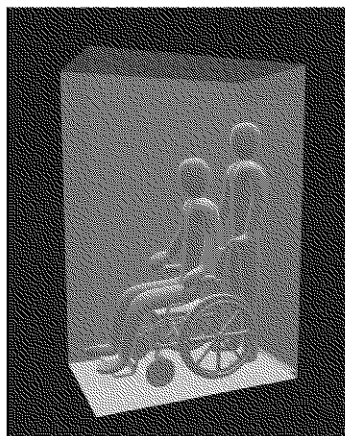
要求水準の主な内容

- 少なくとも大天守1階に昇降ができること
- 柱や梁などの主架構を変更しないこと
- 取り外すことにより、史実に忠実な状態に戻すことができる設置手法とすること

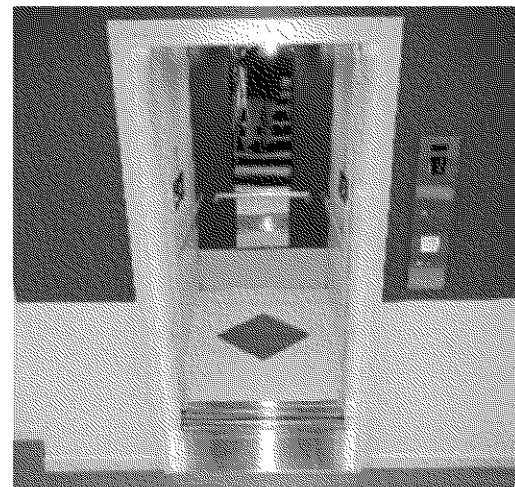
・導入する昇降技術の紹介

最優秀者
株式会社MHIEアロスペースプロダクション

- ・地階から1階、1階から2階といったように、1階ずつ乗り換えて昇降する技術
- ・定員4名または車いす利用者1名と介助者1名が搭乗可能
- ・木造の柱・梁を取り除かずに設置できるよう小型化
- ・取り外すことで、史実に忠実な状態に戻すこと可能



昇降技術の搭乗イメージ



船舶への導入実績

4. 復元する木造天守への昇降技術設置イメージ

- ・ 大天守地階から大天守1階

